

糸魚川市

---

都市計画マスタープラン

【参考資料編】

平成31年3月 改訂版

糸魚川市

# 目 次

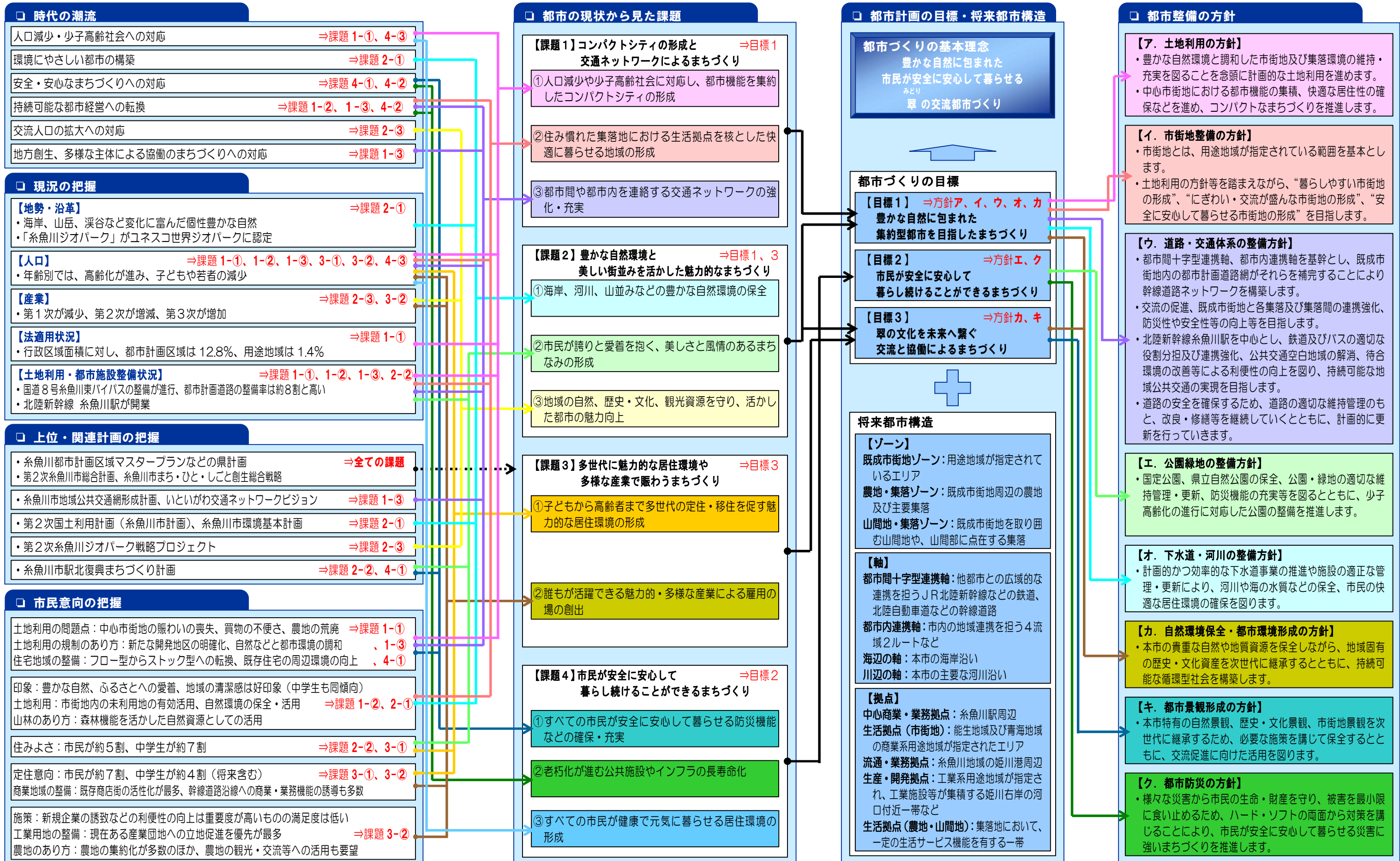
## 全体構想編〔参考〕

- |   |         |      |
|---|---------|------|
| 1 | 計画の流れ   | 参- 1 |
| 2 | 市民意向の把握 | 参- 5 |

## 地域別構想編〔参考〕

- |    |       |      |
|----|-------|------|
| 1  | 能生地区  | 参-20 |
| 2  | 小泊地区  | 参-23 |
| 3  | 西能生地区 | 参-26 |
| 4  | 中能生地区 | 参-29 |
| 5  | 木浦地区  | 参-32 |
| 6  | 浦本地区  | 参-35 |
| 7  | 下早川地区 | 参-38 |
| 8  | 大和川地区 | 参-41 |
| 9  | 西海地区  | 参-44 |
| 10 | 糸魚川地区 | 参-47 |
| 11 | 大野地区  | 参-50 |
| 12 | 今井地区  | 参-53 |
| 13 | 田沢地区  | 参-56 |
| 14 | 青海地区  | 参-59 |

# 1 計画の流れ



※都市の現状から見た課題と、時代の潮流、現況の把握、上位・関連計画の把握、市民意向の把握のつながりは、特に関連性の高い箇所を示している  
 ※都市づくりの目標と都市整備の方針のつながりは、特に関連性の高い箇所を示している





□ 時代の潮流

- 人口減少・少子高齢社会への対応
- 環境にやさしい都市の構築
- 安全・安心なまちづくりへの対応
- 持続可能な都市経営への転換
- 交流人口の拡大への対応
- 地方創生、多様な主体による協働のまちづくりへの対応

□ 現況の把握

- 【地勢・沿革】**
  - ・海岸、山岳、溪谷など変化に富んだ個性豊かな自然
  - ・「糸魚川ジオパーク」がユネスコ世界ジオパークに認定
- 【人口】**
  - ・年齢別では、高齢化が進み、子どもや若者の減少
- 【産業】**
  - ・第1次が減少、第2次が増減、第3次が増加
- 【法適用状況】**
  - ・行政区域面積に対し、都市計画区域は12.8%、用途地域は1.4%
- 【土地利用・都市施設整備状況】**
  - ・国道8号糸魚川東バイパスの整備が進行、都市計画道路の整備率は約8割と高い
  - ・北陸新幹線 糸魚川駅が開業

□ 上位・関連計画の把握

- ・糸魚川都市計画区域マスタープランなどの県計画
- ・第2次糸魚川市総合計画、糸魚川市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・糸魚川市地域公共交通網形成計画、いといがわ交通ネットワークビジョン
- ・第2次国土利用計画（糸魚川市計画）、糸魚川市環境基本計画
- ・第2次糸魚川ジオパーク戦略プロジェクト
- ・糸魚川市駅北復興まちづくり計画

□ 市民意向の把握

- 土地利用の問題点：中心市街地の賑わいの喪失、買物の不便さ、農地の荒廃
- 土地利用の規制のあり方：新たな開発地区の明確化、自然などと都市環境の調和
- 住宅地域の整備：フロー型からストック型への転換、既存住宅の周辺環境の向上
- 印象：豊かな自然、ふるさとへの愛着、地域の清潔感是好印象（中学生も同傾向）
- 土地利用：市街地内の未利用地の有効活用、自然環境の保全・活用
- 山林のあり方：森林機能を活かした自然資源としての活用
- 住みよさ：市民が約5割、中学生が約7割
- 定住意向：市民が約7割、中学生が約4割（将来含む）
- 商業地域の整備：既存商店街の活性化が最多、幹線道路沿線の商業・業務機能の誘導も多数
- 施策：新規企業の誘致などの利便性の向上は重要度が高いものの満足度は低い
- 工業用地の整備：現在ある産業団地への立地促進を優先が最多
- 農地のあり方：農地の集約化が多数のほか、農地の観光・交流等への活用も要望

- 課題1-①人口減少や少子高齢社会に対応し、都市機能を集約したコンパクトシティの形成
- 課題4-③すべての市民が健康で元気に暮らせる居住環境の形成
- 課題2-①海岸、河川、山並みなどの豊かな自然環境の保全
- 課題4-①すべての市民が安全に安心して暮らせる防災機能などの確保・充実
- 課題4-②老朽化が進む公共施設やインフラの長寿命化
- 課題1-②住み慣れた集落地における生活拠点を核とした快適に暮らせる地域の形成
- 課題1-③都市間や都市内を連絡する交通ネットワークの強化・充実
- 課題4-②（再掲）老朽化が進む公共施設やインフラの長寿命化
- 課題2-③地域の自然、歴史・文化、観光資源を守り、活かした都市の魅力向上
- 課題1-③（再掲）都市間や都市内を連絡する交通ネットワークの強化・充実
- 課題2-①（再掲）海岸、河川、山並みなどの豊かな自然環境の保全
- 課題1-①（再掲）人口減少や少子高齢社会に対応し、都市機能を集約したコンパクトシティの形成
- 課題1-②（再掲）住み慣れた集落地における生活拠点を核とした快適に暮らせる地域の形成
- 課題1-③（再掲）都市間や都市内を連絡する交通ネットワークの強化・充実
- 課題3-①子どもから高齢者まで多世代の定住・移住を促す魅力的な居住環境の形成
- 課題3-②誰もが活躍できる魅力的・多様な産業による雇用の場の創出
- 課題4-③（再掲）すべての市民が健康で元気に暮らせる居住環境の形成
- 課題2-③（再掲）地域の自然、歴史・文化、観光資源を守り、活かした都市の魅力向上
- 課題3-②（再掲）誰もが活躍できる魅力的・多様な産業による雇用の場の創出
- 課題1-①（再掲）人口減少や少子高齢社会に対応し、都市機能を集約したコンパクトシティの形成
- 課題1-①（再掲）人口減少や少子高齢社会に対応し、都市機能を集約したコンパクトシティの形成
- 課題1-②（再掲）住み慣れた集落地における生活拠点を核とした快適に暮らせる地域の形成
- 課題1-③（再掲）都市間や都市内を連絡する交通ネットワークの強化・充実
- 課題2-②市民が誇りと愛着を抱く、美しさや風情のあるまちなみの形成
- 課題 全て
- 課題1-③（再掲）都市間や都市内を連絡する交通ネットワークの強化・充実
- 課題2-①（再掲）海岸、河川、山並みなどの豊かな自然環境の保全
- 課題2-③（再掲）地域の自然、歴史・文化、観光資源を守り、活かした都市の魅力向上
- 課題2-②（再掲）市民が誇りと愛着を抱く、美しさや風情のあるまちなみの形成
- 課題4-①（再掲）すべての市民が安全に安心して暮らせる防災機能などの確保・充実
- 課題1-①（再掲）人口減少や少子高齢社会に対応し、都市機能を集約したコンパクトシティの形成
- 課題1-③（再掲）都市間や都市内を連絡する交通ネットワークの強化・充実
- 課題4-①（再掲）すべての市民が安全に安心して暮らせる防災機能などの確保・充実
- 課題1-②（再掲）住み慣れた集落地における生活拠点を核とした快適に暮らせる地域の形成
- 課題2-①（再掲）海岸、河川、山並みなどの豊かな自然環境の保全
- 課題2-②（再掲）市民が誇りと愛着を抱く、美しさや風情のあるまちなみの形成
- 課題3-①（再掲）子どもから高齢者まで多世代の定住・移住を促す魅力的な居住環境の形成
- 課題3-①（再掲）子どもから高齢者まで多世代の定住・移住を促す魅力的な居住環境の形成
- 課題3-②（再掲）誰もが活躍できる魅力的・多様な産業による雇用の場の創出
- 課題3-②（再掲）誰もが活躍できる魅力的・多様な産業による雇用の場の創出

□ 都市の現状から見た課題

- 【課題1】コンパクトシティの形成と交通ネットワークによるまちづくり**
  - ①人口減少や少子高齢社会に対応し、都市機能を集約したコンパクトシティの形成
  - ②住み慣れた集落地における生活拠点を核とした快適に暮らせる地域の形成
  - ③都市間や都市内を連絡する交通ネットワークの強化・充実
- 【課題2】豊かな自然環境と美しい街並みを活かした魅力的なまちづくり**
  - ①海岸、河川、山並みなどの豊かな自然環境の保全
  - ②市民が誇りと愛着を抱く、美しさや風情のあるまちなみの形成
  - ③地域の自然、歴史・文化、観光資源を守り、活かした都市の魅力向上
- 【課題3】多世代に魅力的な居住環境や多様な産業で賑わうまちづくり**
  - ①子どもから高齢者まで多世代の定住・移住を促す魅力的な居住環境の形成
  - ②誰もが活躍できる魅力的・多様な産業による雇用の場の創出
- 【課題4】市民が安全に安心して暮らし続けることができるまちづくり**
  - ①すべての市民が安全に安心して暮らせる防災機能などの確保・充実
  - ②老朽化が進む公共施設やインフラの長寿命化
  - ③すべての市民が健康で元気に暮らせる居住環境の形成

※都市の現状から見た課題と、時代の潮流、現況の把握、上位・関連計画の把握、市民意向の把握のつながりは、特に関連性の高い箇所を示している



都市の現状から見た課題

- 【課題1】コンパクトシティの形成と交通ネットワークによるまちづくり**
  - ①人口減少や少子高齢社会に対応し、都市機能を集約したコンパクトシティの形成
  - ②住み慣れた集落地における生活拠点を核とした快適に暮らせる地域の形成
  - ③都市間や都市内を連絡する交通ネットワークの強化・充実
- 【課題2】豊かな自然環境と美しい街並みを活かした魅力的なまちづくり**
  - ①海岸、河川、山並みなどの豊かな自然環境の保全
  - ②市民が誇りと愛着を抱く、美しさと風情のあるまちなみの形成
  - ③地域の自然、歴史・文化、観光資源を守り、活かした都市の魅力向上
- 【課題3】多世代に魅力的な居住環境や多様な産業で賑わうまちづくり**
  - ①子どもから高齢者まで多世代の定住・移住を促す魅力的な居住環境の形成
  - ②誰もが活躍できる魅力的・多様な産業による雇用の場の創出
- 【課題4】市民が安全に安心して暮らし続けることができるまちづくり**
  - ①すべての市民が安全に安心して暮らせる防災機能などの確保・充実
  - ②老朽化が進む公共施設やインフラの長寿命化
  - ③すべての市民が健康で元気に暮らせる居住環境の形成

- 目標1**  
 豊かな自然に包まれた集約型都市を目指したまちづくり
- 目標1（再掲）**  
 豊かな自然に包まれた集約型都市を目指したまちづくり
- 目標3**  
 翠の文化を未来へ繋ぐ交流と協働によるまちづくり
- 目標3（再掲）**  
 翠の文化を未来へ繋ぐ交流と協働によるまちづくり
- 目標2**  
 市民が安全に安心して暮らし続けることができるまちづくり

都市計画の目標・将来都市構造

**都市づくりの基本理念**  
 豊かな自然に包まれた  
みどり  
 市民が安全に安心して暮らせる 翠の交流都市づくり

---

**都市づくりの目標**

- 【目標1】 豊かな自然に包まれた集約型都市を目指したまちづくり
- 【目標2】 市民が安全に安心して暮らし続けることができるまちづくり
- 【目標3】 翠の文化を未来へ繋ぐ交流と協働によるまちづくり

---

**将来都市構造**

**【ゾーン】**  
 既成市街地ゾーン：用途地域が指定されているエリア  
 農地・集落ゾーン：既成市街地周辺の農地及び主要集落  
 山間地・集落ゾーン：既成市街地を取り囲む山間地や、山間部に点在する集落

**【軸】**  
 都市間十字型連携軸：他都市との広域的な連携を担うJR北陸新幹線などの鉄道、北陸自動車道などの幹線道路  
 都市内連携軸：市内の地域連携を担う4流域2ルートなど  
 海辺の軸：本市の海岸沿い  
 川辺の軸：本市の主要な河川沿い

**【拠点】**  
 中心商業・業務拠点：糸魚川駅周辺  
 生活拠点（市街地）：能生地域及び青海地域の商業系用途地域が指定されたエリア  
 流通・業務拠点：糸魚川地域の姫川港周辺  
 生産・開発拠点：工業系用途地域が指定され、工業施設等が集積する姫川右岸の河口付近一帯など  
 生活拠点（農地・山間地）：集落地において、一定の生活サービス機能を有する一帯





都市計画の目標・将来都市構造

都市づくりの基本理念  
豊かな自然に包まれた  
市民が安全に安心して暮らせる  
みどり  
翠の交流都市づくり

都市づくりの目標

【目標1】  
豊かな自然に包まれた  
集約型都市を目指したまちづくり

【目標2】  
市民が安全に安心して  
暮らし続けることができる  
まちづくり

【目標3】  
翠の文化を未来へ繋ぐ  
交流と協働によるまちづくり

- 方針ア. 土地利用の方針
- 方針イ. 市街地整備の方針
- 方針ウ. 道路・交通体系の整備方針
- 方針オ. 下水道・河川の整備方針
- 方針カ. 自然環境保全・都市環境形成の方針
- 方針エ. 公園緑地の整備方針
- 方針ク. 都市防災の方針
- 方針カ(再掲). 自然環境保全・都市環境形成の方針
- 方針キ. 都市景観形成の方針

都市整備の方針

【ア. 土地利用の方針】

- ・豊かな自然環境と調和した市街地及び集落環境の維持・充実を図ることを念頭に計画的な土地利用を進めます。
- ・中心市街地における都市機能の集積、快適な居住性の確保などを進め、コンパクトなまちづくりを推進します。

【イ. 市街地整備の方針】

- ・市街地とは、用途地域が指定されている範囲を基本とします。
- ・土地利用の方針等を踏まえながら、“暮らしやすい市街地の形成”、“にぎわい・交流が盛んな市街地の形成”、“安全に安心して暮らせる市街地の形成”を目指します。

【ウ. 道路・交通体系の整備方針】

- ・都市間十字型連携軸、都市内連携軸を基幹とし、既成市街地内の都市計画道路網がそれらを補完することにより幹線道路ネットワークを構築します。
- ・交流の促進、既成市街地と各集落及び集落間の連携強化、防災性や安全性等の向上等を目指します。
- ・北陸新幹線系魚川駅を中心とし、鉄道及びバスの適切な役割分担及び連携強化、公共交通空白地域の解消、待合環境の改善等による利便性の向上を図り、持続可能な地域公共交通の実現を目指します。
- ・道路の安全を確保するため、道路の適切な維持管理のもと、改良・修繕等を継続していくとともに、計画的に更新を行っていきます。

【エ. 公園緑地の整備方針】

- ・国定公園、県立自然公園の保全、公園・緑地の適切な維持管理・更新、防災機能の充実等を図るとともに、少子高齢化の進行に対応した公園の整備を推進します。

【オ. 下水道・河川の整備方針】

- ・計画的かつ効率的な下水道事業の推進や施設の適正な管理・更新により、河川や海の水質などの保全、市民の快適な居住環境の確保を図ります。

【カ. 自然環境保全・都市環境形成の方針】

- ・本市の貴重な自然や地質資源を保全しながら、地域固有の歴史・文化資産を次世代に継承するとともに、持続可能な循環型社会を構築します。

【キ. 都市景観形成の方針】

- ・本市特有の自然景観、歴史・文化景観、市街地景観を次世代に継承するため、必要な施策を講じて保全するとともに、交流促進に向けた活用を図ります。

【ク. 都市防災の方針】

- ・様々な災害から市民の生命・財産を守り、被害を最小限に食い止めるため、ハード・ソフトの両面から対策を講じることにより、市民が安全に安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進します。



※都市づくりの目標と都市整備の方針のつながりは、特に関連性の高い箇所を示している



## 2 市民意向の把握

### 2-1 アンケート調査の概要

#### (1) 調査の目的

本市では、「第2次糸魚川市総合計画」を策定するにあたり、市民の意向を計画に反映し、これからのまちづくりに活用するため、平成27年9月、本市に在住する15歳以上の市民、また、市内の中学3年生を対象としたアンケート調査を実施しています。

このアンケート調査は、近年において、まちづくりに対する市民意向を調査したものであり、本計画における都市の将来像、土地利用、道路・公園などの都市整備の方針を定める際にも、十分に反映することが必要であることから、これらアンケート調査結果を活用し、市民意向を踏まえた都市計画を推進するものです。

#### (2) 市民アンケート調査の概要

- 調査地域：糸魚川市全域
- 調査対象：糸魚川市在住の15歳以上の男女
- 抽出方法：平成27年4月1日現在の住民基本台帳から地域ごとに年齢階層別、男女別の抽出率が等しくなるよう無作為抽出（地域ごとの抽出数は人口比で按分）。
- 発送数：3,000人
- 調査方法：調査票の配布・回収とも郵送による自記式アンケート
- 調査期間：平成27年9月10日(水)～9月30日(水)
- 回収率：47.1%（回収数1,412人）

#### (3) 中学生アンケート調査の概要

- 調査地域：糸魚川市全域
- 調査対象：市内中学校に在籍する中学3年生全員（平成27年9月現在）
- 対象数：383人
- 調査方法：自記式アンケート（調査票の配布、回収ともに中学校へ依頼）
- 調査期間：平成27年9月10日(水)～9月25日(金)
- 回収率：94.0%（回収数360人）

# 全体構想編〔参考〕

## 2-2 アンケート調査結果の概要

アンケート調査結果の概要を以下に整理します。

### (1) アンケート調査結果（概要）

#### 1) 糸魚川市に関する印象

- 「豊かな自然」、「ふるさとへの愛着」、「地域の清潔感」については評価が高くなっています。
- 一方で、「働く場」、「物価」、「医療体制」、「買い物の便」、「交通の便」については評価が低くなっています。
- 中学生では、「豊かな自然」、「地域の清潔感」、「ふるさとへの愛着」については評価が高く、一方で、「買い物の便」、「働く場」、「交通の便」については評価がやや低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(92.9%)、「ふるさととして愛着を感じる」(73.4%)、「地域が清潔できれいである」(69.5%)が6割を超えて多くなっています（これら以外は5割以下）。

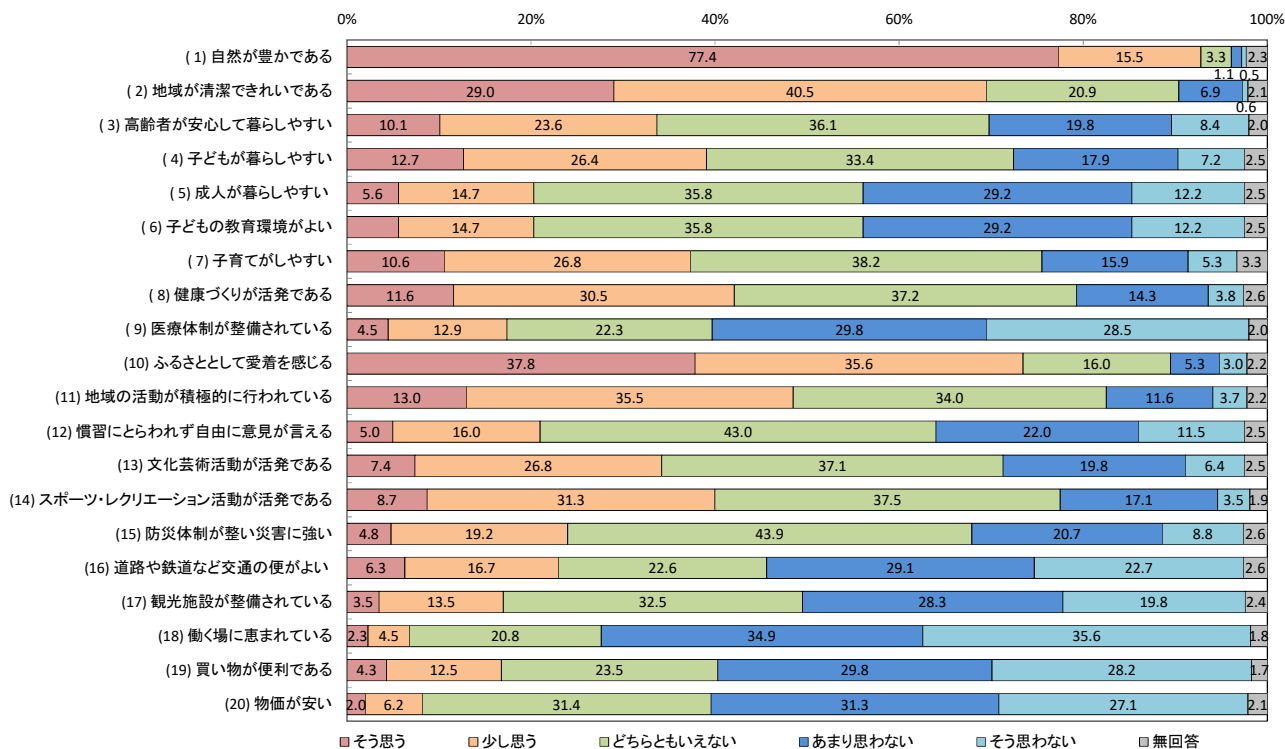
一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「働く場に恵まれている」(70.5%)、「物価が安い」(58.4%)、「医療体制が整備されている」(58.3%)、「買い物が便利である」(58.0%)、「道路や鉄道など交通の便がよい」(51.8%)が半数を超えて多くなっています（これら以外は5割以下）。

また、中学生では、糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(97.8%)、「地域が清潔できれいである」(82.5%)、「ふるさととして愛着を感じる」(80.3%)、が8割を超えて多くなっています。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「買い物が便利である」(36.4%)、「働く場がたくさんある」(30.8%)、「道路や鉄道など交通の便がよい」(30.6%)が3割を超えています。

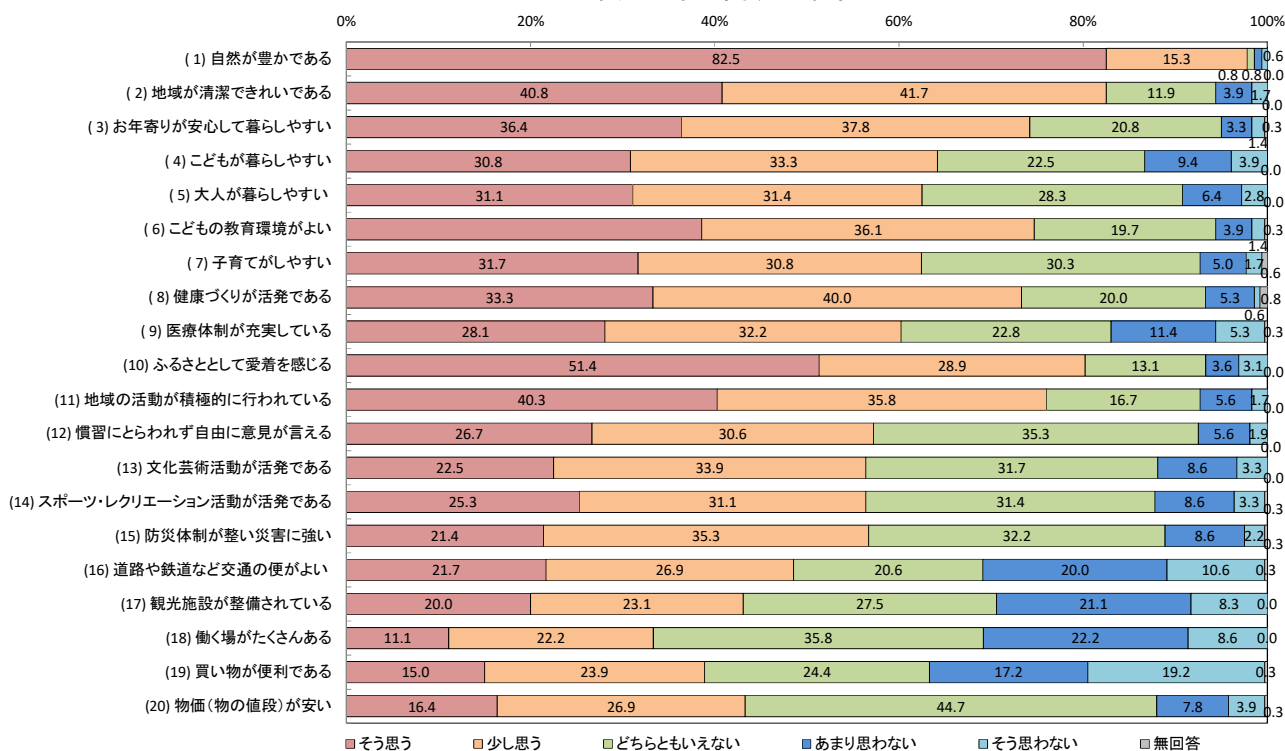
## 糸魚川市に関する印象

(市民)



## 糸魚川市に関する印象

(中学生)



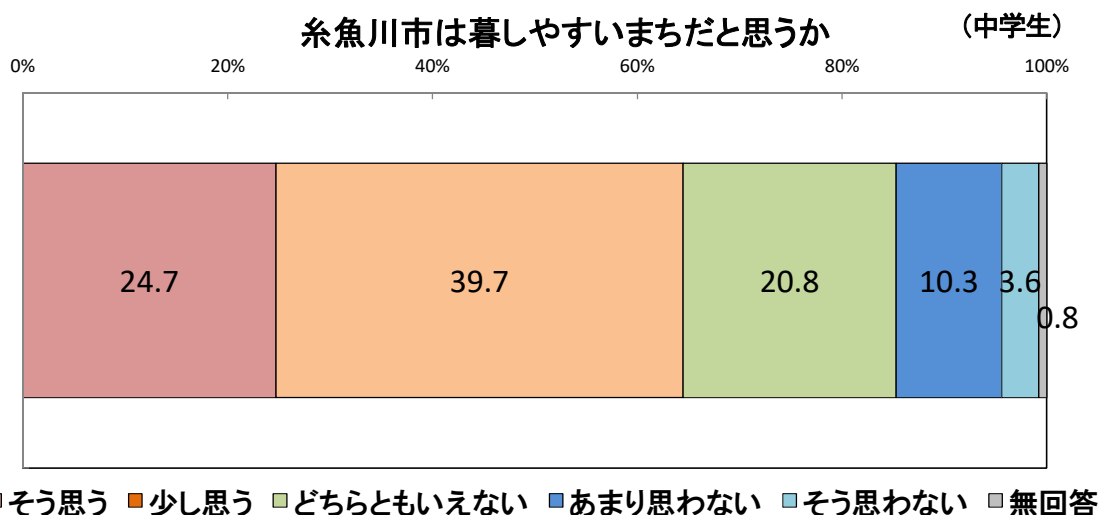
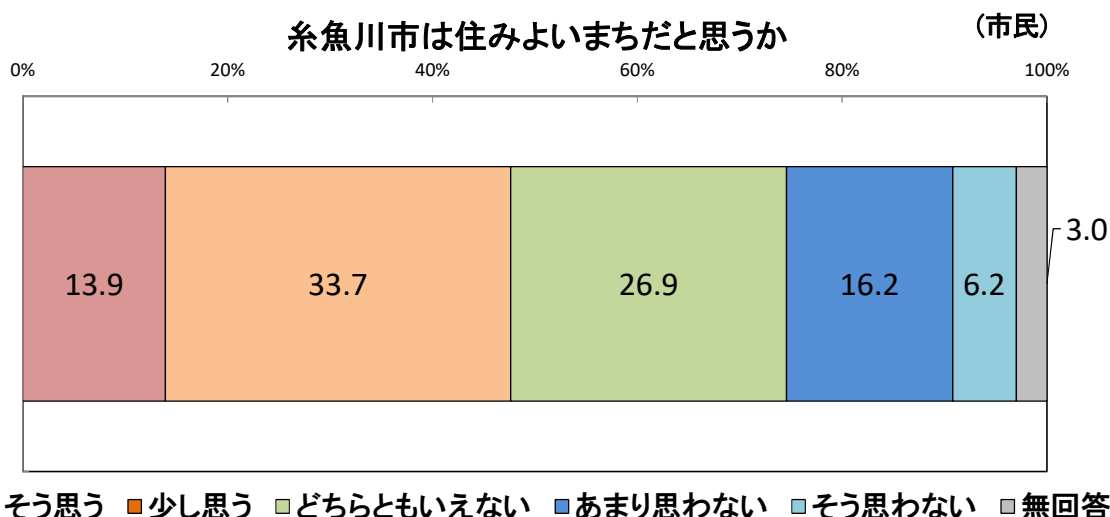


## 2) 糸魚川市の住みよさ・暮らしよさ

- 「住みよい」と思う市民が約5割と多くなっています。
- 一方、「どちらともいえない」と思う市民も約3割と比較的多く、「住みよくない」と思う市民を含め、糸魚川市の住みよさを実感できていない市民も多くなっています。
- 「暮らしよい」と思う中学生が約7割と多くなっています。

糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」（“そう思う”及び“少し思う”の合計）と思う回答者は47.6%であり、「住みよくない」（“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計）と思う回答者は22.4%となっています。また、「どちらともいえない」と思う回答者が26.9%となっています。

また、中学生では、糸魚川市の暮らしよさについて、「暮らしよい」（“そう思う”及び“少し思う”の合計）と思う回答者は64.4%であり、「暮らしよくない」（“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計）と思う回答者は13.9%となっています。このほか、「どちらともいえない」と思う回答者が20.8%います。



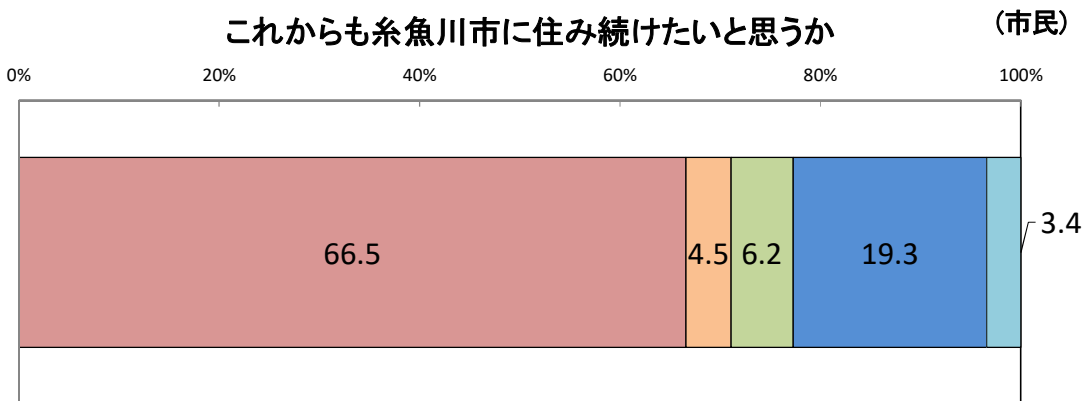
3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と思う市民が約7割と多くなっています。
- 中学生の将来的な定住意向（住み続けたい、戻ってきて住みたい）としては、約4割見られます。

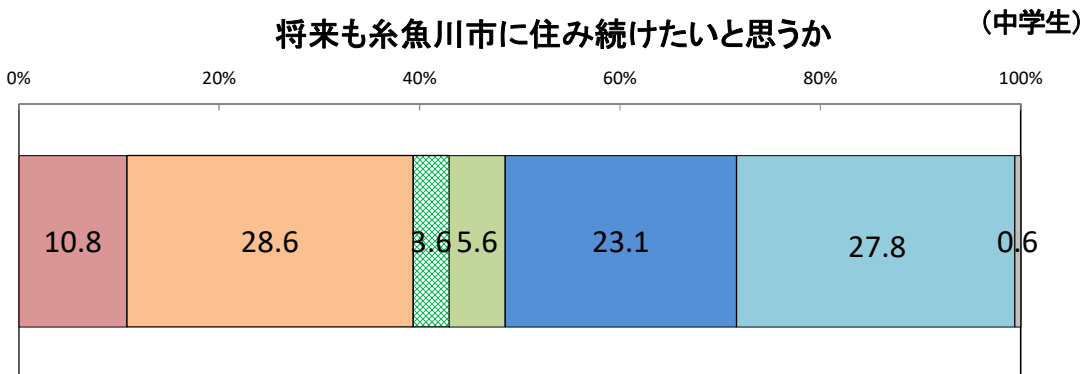
糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」との回答者が66.5%と最も多く、次いで、「わからない」(19.3%)、「糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい」(6.2%)と続いています。

また、中学生では、糸魚川市での定住意向について、「進学などで一時的に糸魚川市を離れても、また戻ってきて住みたい」との回答者が28.6%と最も多く、次いで、「わからない」(27.8%)、「糸魚川市や近くの市町村ではないところに住みたい」(23.1%)と続いています。

ただし、「将来も糸魚川市に住み続けたい」との回答者は10.8%と少ないですが、「進学などで一時的に糸魚川市を離れても、また戻ってきて住みたい」を含めた将来的な定住意向として捉えると39.4%となります。



- これからも糸魚川市に住み続けたい
- 糸魚川市の近隣市町村(上越市・妙高市・小谷村・朝日町等)に移りたい
- 糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい
- わからない
- 無回答



- 1 将来も糸魚川市に住み続けたい
- 2 進学などで一時的に糸魚川市を離れても、また戻ってきて住みたい
- 3 住み続けたいが、事情があって移らざるを得ない
- 4 糸魚川市の近くの市町村(上越市・妙高市・小谷村・朝日町等)に住みたい
- 5 糸魚川市や近くの市町村ではないところに住みたい
- 6 わからない
- 無回答

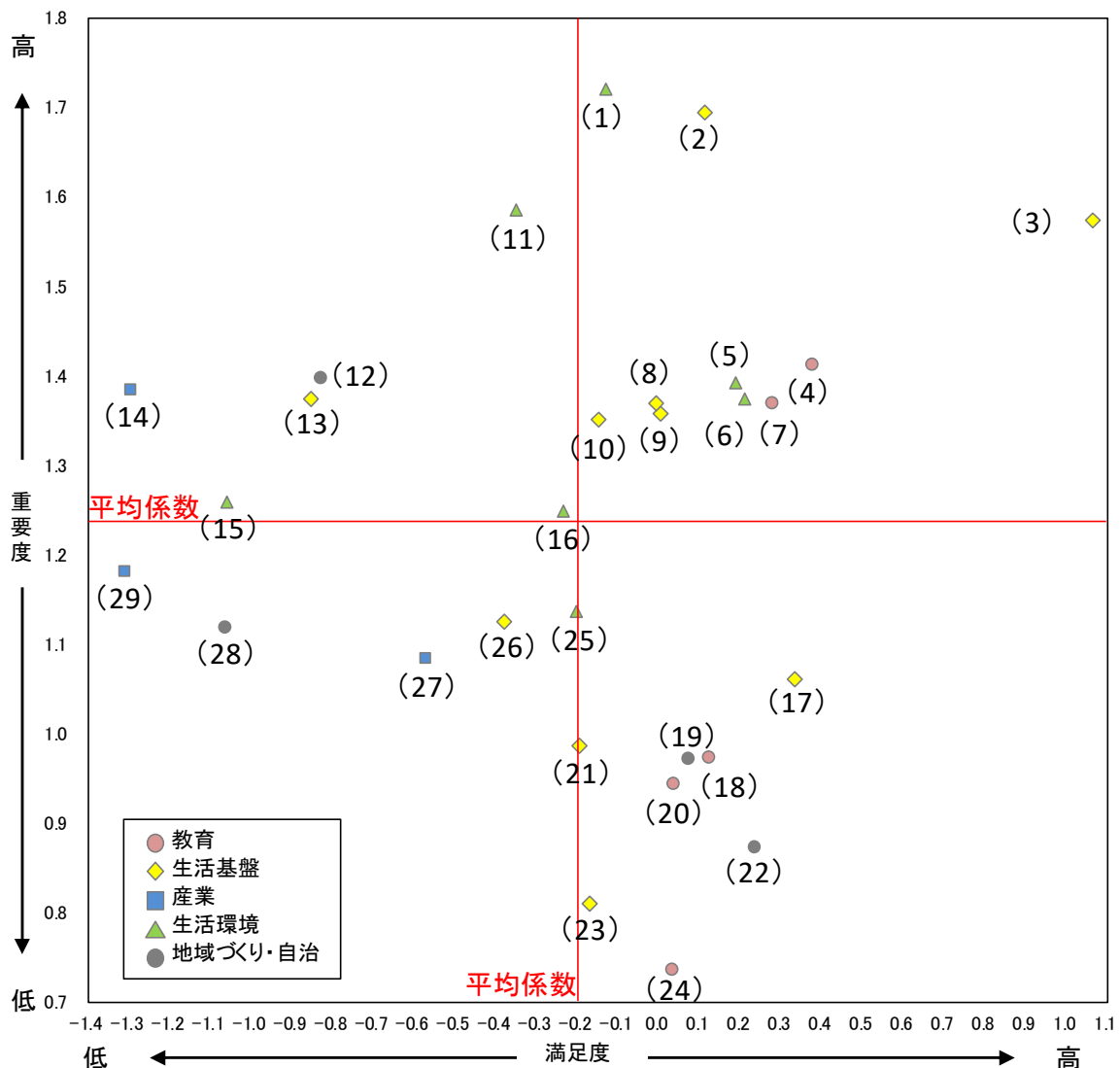
## 4) 糸魚川市の施策の満足度・重要度（相関）

- 「下水道などの生活排水処理施設の整備」、「学校教育施設の整備・充実」は、満足度・重要度ともに高くなっています。
- 「新規企業の誘致」、「空き家安全管理の推進」、「移住やUターン、地元定着の促進」、「鉄道やバスなどの利便性の向上」は重要度が高いものの、満足度は低くなっています。

糸魚川市の施策の満足度及び重要度の相関については、生活基盤に関する「下水道などの生活排水処理施設の整備」、教育に関する「学校教育施設の整備・充実」の満足度・重要度が平均より高くなっています。

一方、産業に関する「新規企業の誘致」、「既存商店街の振興」、生活環境に関する「空き家安全管理の推進」、地域づくり・自治に関する「空き家の利活用の推進」、「移住やUターン、地元定着の促進」、生活基盤に関する「鉄道やバスなどの利便性の向上」の満足度が平均より低く、そのうち、「新規企業の誘致」、「空き家安全管理の推進」、「移住やUターン、地元定着の促進」、「鉄道やバスなどの利便性の向上」は重要度が平均より高くなっています。

満足度と重要度の相関図



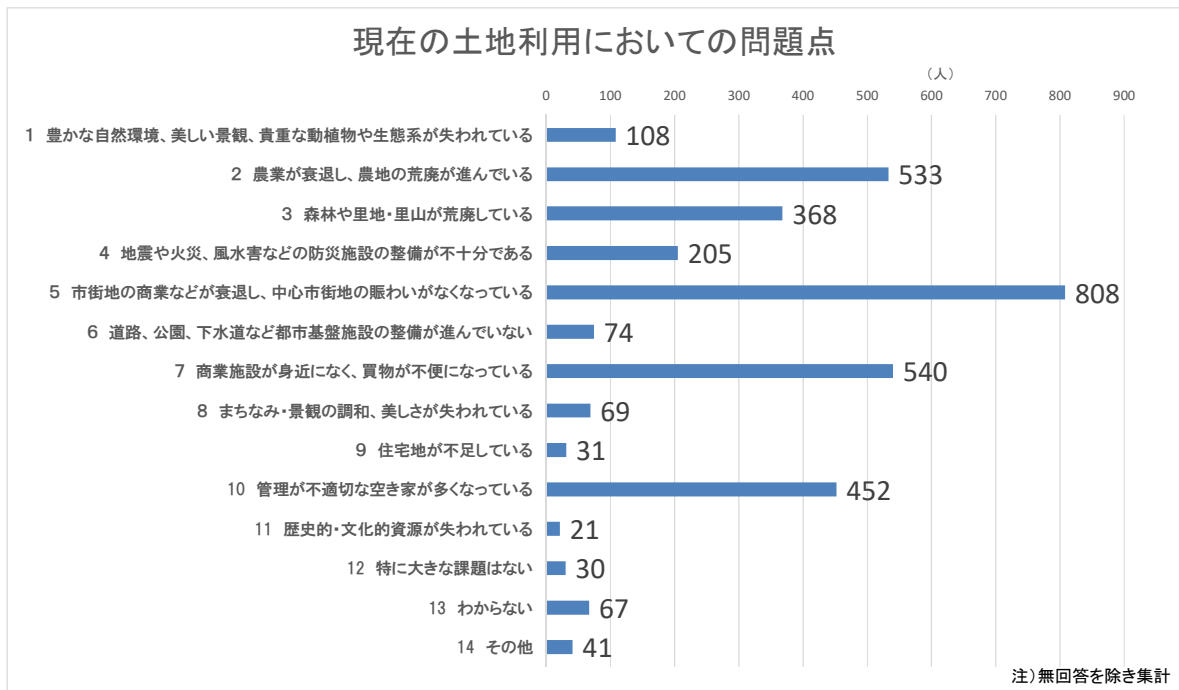
注：満足度を「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点、重要度を「重要」2点、「ある程度重要」1点、「あまり重要ではない」-1点、「重要ではない」-2点、として回答数に乘じ、足し合わせ、当該選択肢の総回答数から「わからない」と「無回答」を除いた値を有効回答数とし、割り返したものをそれぞれの係数として算出。

重要度	満足度	項目
高	高	(1) 災害などへの防災・危機管理の充実
		(2) 災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進
		(3) 下水道などの生活排水処理施設の整備
		(4) 学校教育施設の整備・充実
		(5) ごみの減量化とリサイクルの推進
		(6) 清潔な地域環境の維持
		(7) 保育園、幼稚園施設の整備・充実
		(8) 国道・県道・地域高規格道路などの幹線道路の整備
		(9) きれいな海岸の保全と海辺の活用
		(10) 市道など身近な生活道路の整備
高	低	(11) 雪に強いまちづくりの推進
		(12) 移住やUターン、地元定着の促進
		(13) 鉄道やバスなどの利便性の向上
		(14) 新規企業の誘致
		(15) 空き家安全管理の推進
		(16) 自然環境に配慮したまちづくりの推進
低	高	(17) 新幹線の利便性の向上
		(18) 芸術・文化活動の拠点施設の整備
		(19) 各地区自治会やコミュニティ団体等への活動支援
		(20) 生涯学習施設の整備・充実
		(21) 公営住宅の整備や持家支援など住環境の整備
		(22) 市民参画のまちづくりの推進
		(23) 土地区画整理事業などによる優良な市街地の形成
		(24) スポーツ施設の整備・充実
		(25) 美しい街並みや景観の形成
低	低	(26) 地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備
		(27) ジオパークを活用した観光資源の連携と魅力づくり
		(28) 空き家の利活用の推進
		(29) 既存商店街の振興

## 5) 現在の土地利用における問題点

- 中心市街地の賑わいの喪失、買物の不便さなどの商業に関する問題や、農地の荒廃などの問題点を挙げる市民が多くなっています。

現在の土地利用における問題点については、「市街地の商業などが衰退し、中心市街地の賑わいがなくなっている」との回答者が808人と最も多く、次いで、「商業施設が身近になく、買物が不便になっている」(540人)、「農業が衰退し、農地の荒廃が進んでいる」(533人)と続いています。

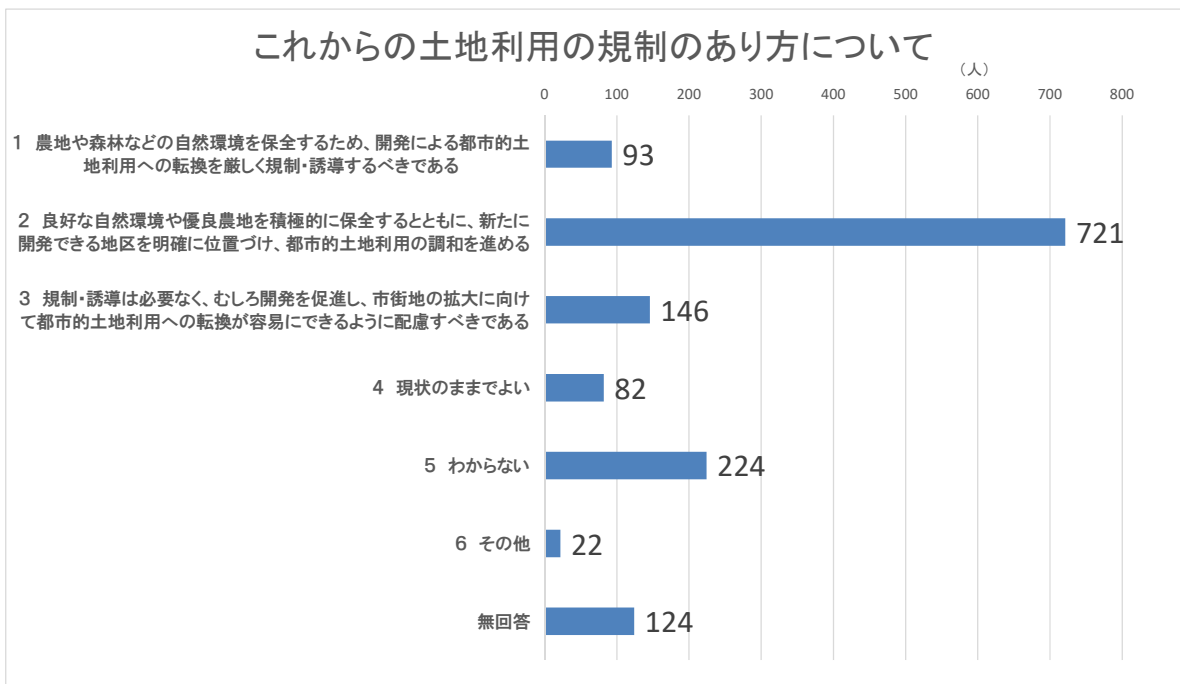




6) これからの土地利用の規制のあり方について

- 新たな開発地区を明確に位置づけながら、自然環境などと都市環境の調和を求める市民が多くなっています。

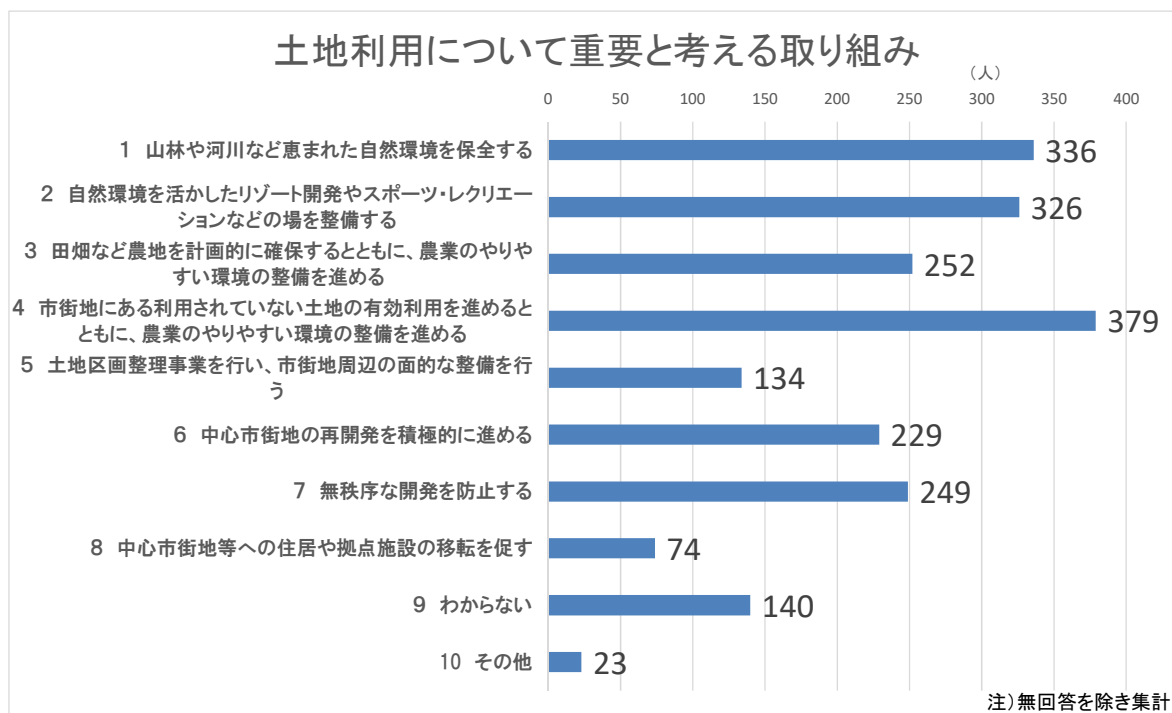
これからの土地利用の規制のあり方については、「良好な自然環境や優良農地を積極的に保全するとともに、新たに開発できる地区を明確に位置づけ、都市的土地利用の調和を進める」との回答者が721人と最も多く、次いで、「わからない」(224人)、「規制・誘導は必要なく、むしろ開発を促進し、市街地の拡大に向けて都市的土地利用への転換が容易にできるように配慮すべきである」(146人)と続いています。



## 7) 土地利用について重要と考える取り組み

- 市街地内の未利用地の有効活用、自然環境の保全・活用を求める市民が多くなっています。

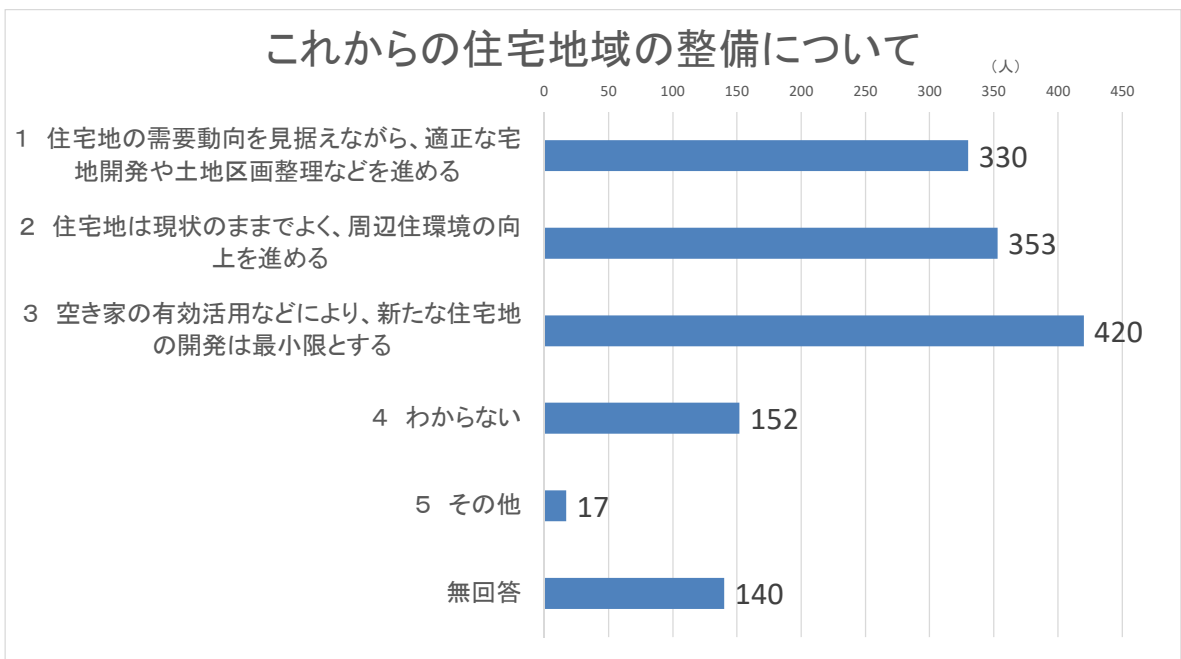
土地利用について重要と考える取り組みについては、「市街地にある利用されていない土地の有効利用を進めるとともに、農業のやりやすい環境の整備を進める」との回答者が379人と最も多く、次いで、「山林や河川など恵まれた自然環境を保全する」(336人)、「自然環境を活かしたリゾート開発やスポーツ・レクリエーションなどの場を整備する」(326人)と続いています。



8) これからの住宅地域の整備について

• 市民の意向は分かれています。生産・消費によるフロー型から空き家などを有効活用するストック型への転換、既存住宅の周辺環境の向上を求める市民が比較的多くなっています。

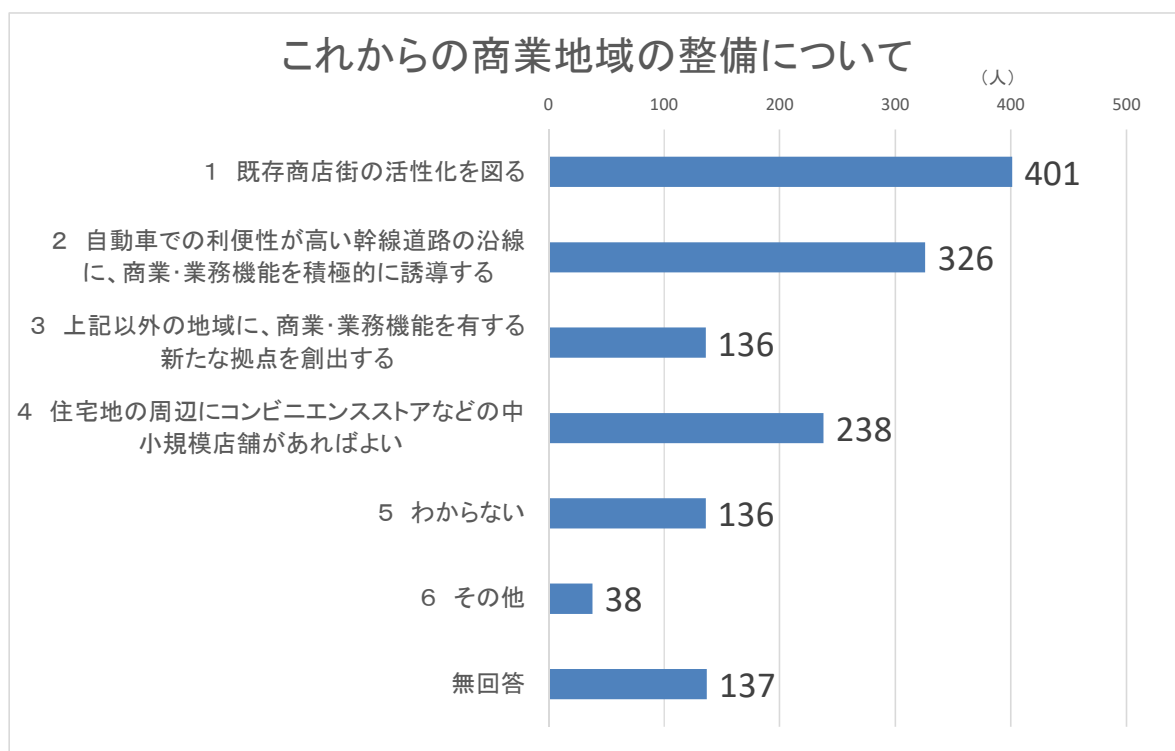
これからの住宅地域の整備については、「空き家の有効活用などにより、新たな住宅地の開発は最小限とする」との回答者が420人と最も多く、次いで、「住宅地は現状のままでよく、周辺住環境の向上を進める」(353人)、「住宅地の需要動向を見据えながら、適正な宅地開発や土地区画整理などを進める」(330人)と続いています。



### 9) これからの商業地域の整備について

- 既存商店街の活性化を求める市民が最も多くなっていますが、幹線道路沿線への商業・業務機能の誘導を求める市民も多くなっています。

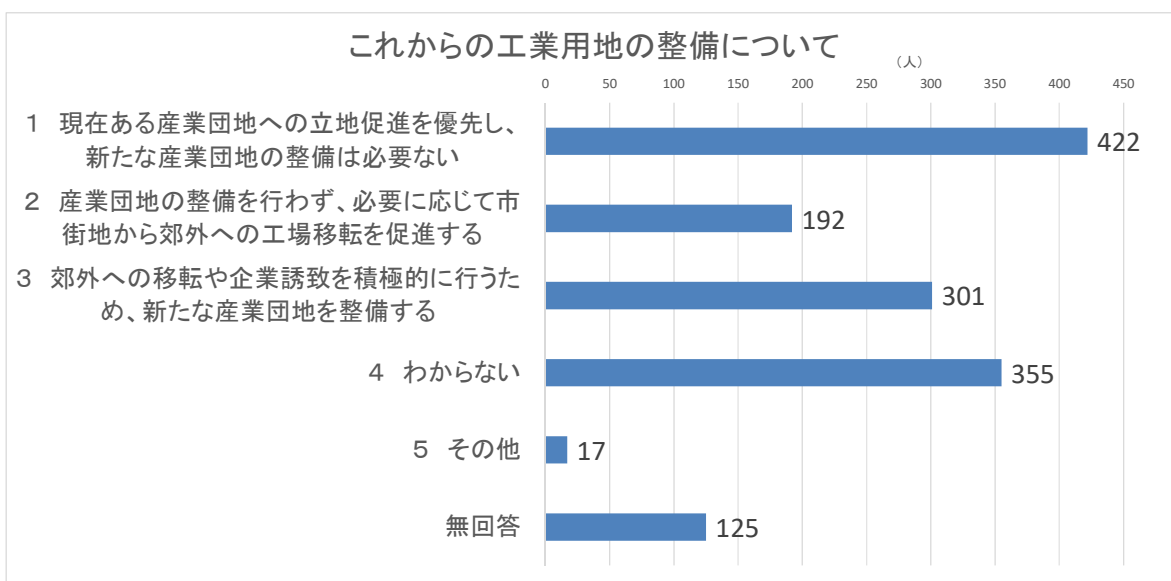
これからの商業地域の整備については、「既存商店街の活性化を図る」との回答者が401人と最も多く、次いで、「自動車での利便性が高い幹線道路の沿線に、商業・業務機能を積極的に誘導する」(326人)、「住宅地の周辺にコンビニエンスストアなどの中小規模店舗があればよい」(238人)と続いています。



10) これからの工業用地の整備について

- 既存の産業団地への誘導により、新たな産業団地の整備は強く求められていませんが、判断に迷う市民も多くなっています。

これからの工業用地の整備については、「現在ある産業団地への立地促進を優先し、新たな産業団地の整備は必要ない」との回答者が422人と最も多く、次いで、「わからない」(355人)、「郊外への移転や企業誘致を積極的に行うため、新たな産業団地を整備する」(301人)と続いています。

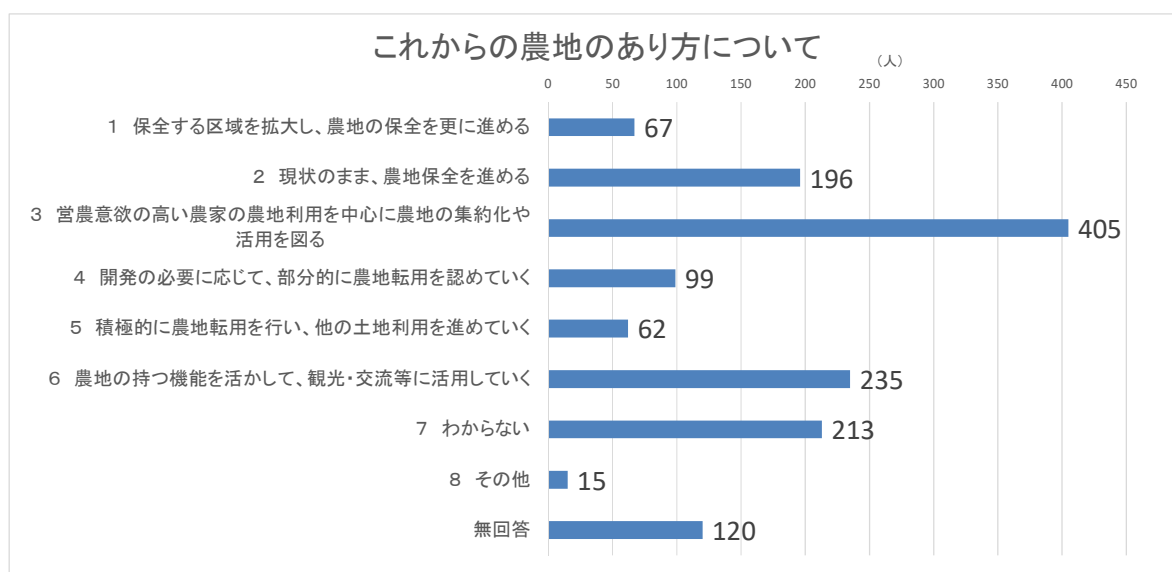




### 11) これからの農地のあり方について

- 農地の集約化を求める市民が多いほか、農地の観光・交流等への活用も求められています。

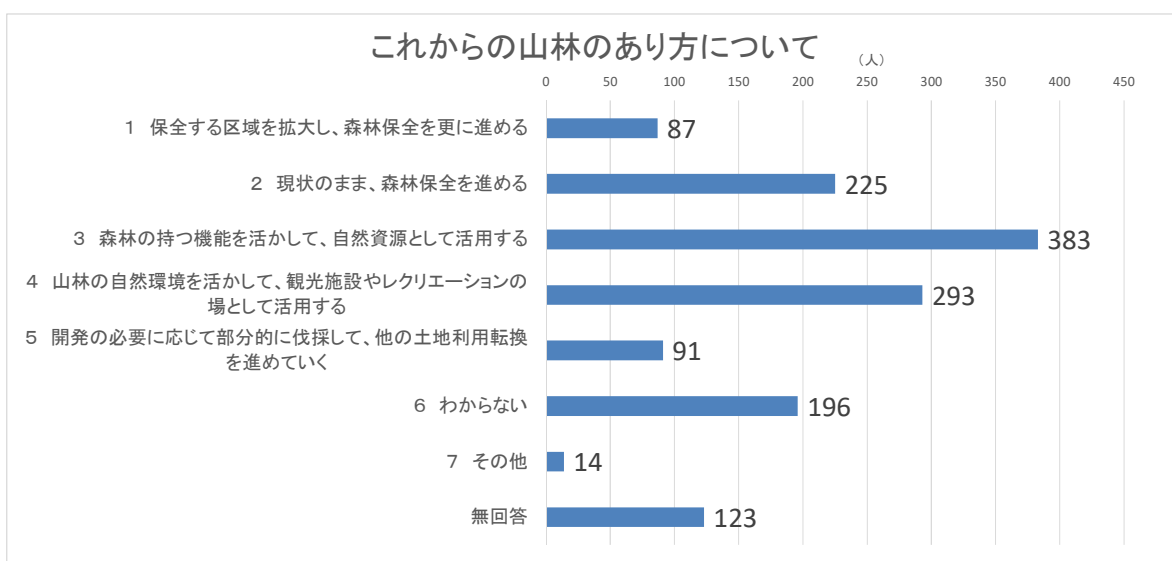
これからの農地のあり方については、「営農意欲の高い農家の農地利用を中心に農地の集約化や活用を図る」との回答者が405人と最も多く、次いで、「農地の持つ機能を活かして、観光・交流等に活用していく」(235人)、「わからない」(213人)と続いています。



## 12) これからの山林のあり方について

- 森林機能を活かした自然資源としての活用、自然環境を活かした観光・レクリエーションの場としての活用を求める市民が多くなっています。

これからの山林のあり方については、「森林の持つ機能を活かして、自然資源として活用する」との回答者が383人と最も多く、次いで、「山林の自然環境を活かして、観光施設やレクリエーションの場として活用する」(293人)、「現状のまま、森林保全を進める」(225人)と続いています。



# 1 能生地区

## (1) 土地利用状況

土地利用状況については、山林が103.2ha(42.5%)と最も多く、次いで、住宅用地が26.3ha(10.8%)、道路用地が21.8ha(9.0%)と続いています。

宅地については、42.4ha(17.4%)となっています。

また、自然的土地利用割合は62.2%、都市的土地利用割合は37.8%となっています。

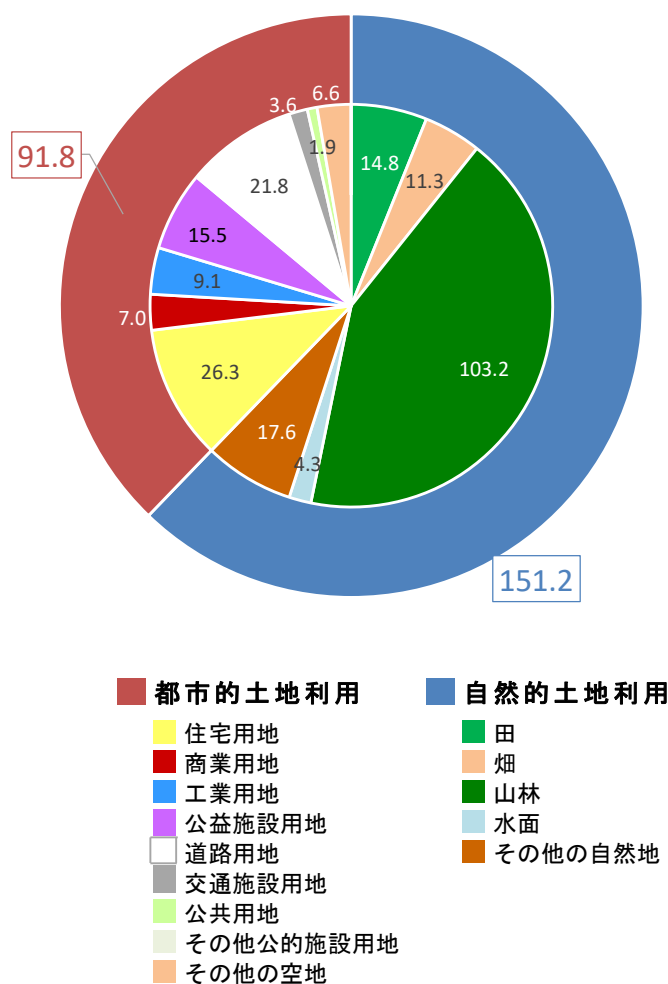


表 土地利用別面積 (都市計画区域内)

市街地区分			合計 (ha)	合計 (%)
自然的土地利用	農地	田	14.8	6.1
		畑	11.3	4.7
		小計	26.1	10.8
	山林	103.2	42.5	
	水面	4.3	1.8	
	その他の自然地	17.6	7.2	
小計			151.2	62.2
都市的土地利用	宅地	住宅用地	26.3	10.8
		商業用地	7.0	2.9
		工業用地	9.1	3.7
		小計	42.4	17.4
	公益施設用地	15.5	6.4	
	道路用地	21.8	9.0	
	交通施設用地	3.6	1.5	
	公共用地	1.9	0.8	
	其他公的施設用地	0.0	0.0	
	其他の空地	6.6	2.7	
小計			91.8	37.8
合計			243.0	100.0

注：小数点以下第二位を四捨五入し小数点第一位までを表示しており、合計比率は必ずしも100.0%とならない場合がある。

図 土地利用別面積

(2) 市民アンケート調査結果 (概要)

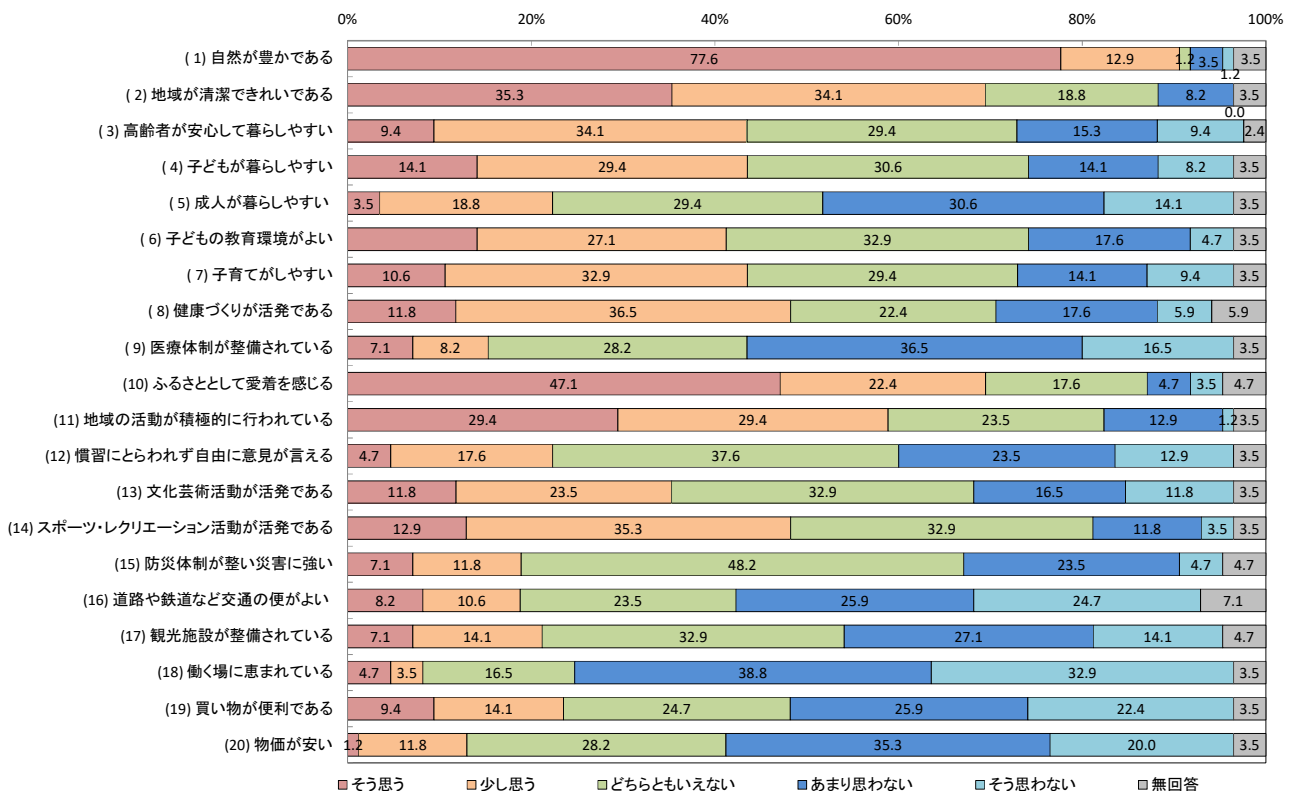
1) 糸魚川市に関する印象

- ・ 「豊かな自然」、「ふるさとへの愛着」、「地域の清潔感」、「積極的な地域活動」については評価が高くなっています。
- ・ 一方で、「働く場」、「物価」、「医療体制」、「交通の便」については評価が低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(90.5%)、「ふるさととして愛着を感じる」(69.5%)、「地域が清潔できれいである」(69.4%)、「地域の活動が積極的に行われている」(58.8%)、が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「働く場に恵まれている」(71.7%)、「物価が安い」(55.3%)、「医療体制が整備されている」(53.0%)、「道路や鉄道など交通の便がよい」(50.6%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

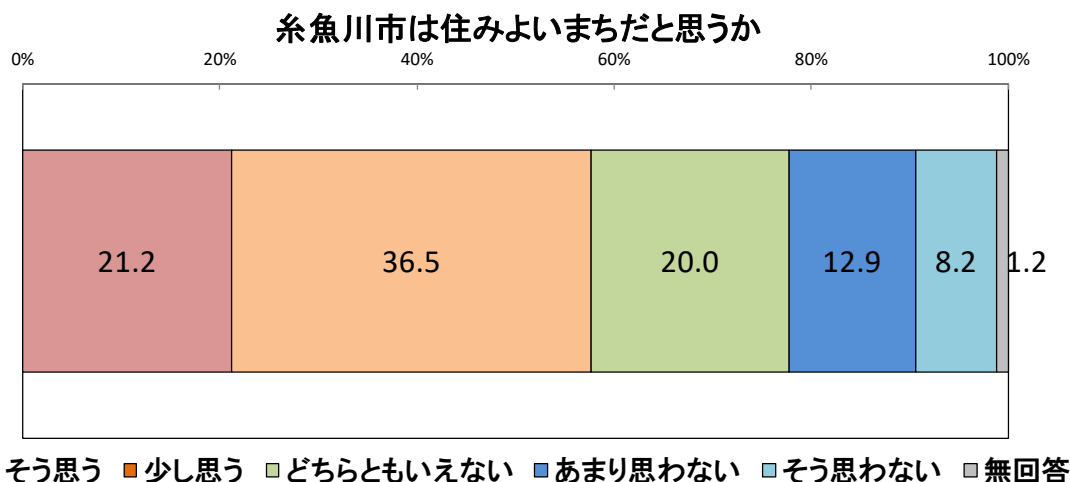
糸魚川市に関する印象



## 2) 糸魚川市の住みよさ

- 「住みよい」と思う市民が約6割と多くなっています。

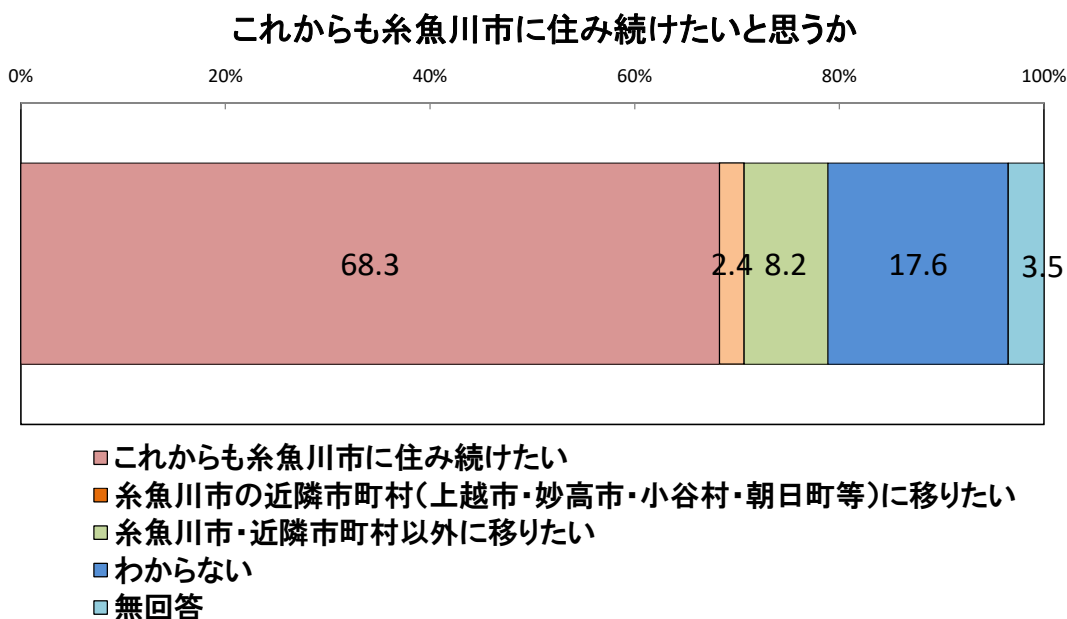
糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」（“そう思う”（21.2%）及び“少し思う”（36.5%）の合計）と思う回答者は約6割であり、「住みよくない」（“そう思わない”（8.2%）及び“あまり思わない”（12.9%）の合計）と思う回答者は約2割となっています。また、「どちらともいえない」と思う回答者が20.0%います。



## 3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と思う市民が約7割と多くなっています。

糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」との回答者が68.3%と最も多く、次いで、「わからない」（17.6%）、「糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい」（8.2%）と続いています。





## 2 小泊地区

### (1) 土地利用状況

土地利用状況については、山林が 93.3ha (72.4%) と最も多く、次いで、道路用地が 6.8ha (5.3%)、農地(畑)が 6.3ha (4.9%) と続いています。

宅地については、8.3ha (6.4%) となっています。

また、自然的土地利用割合は 82.5%、都市的土地利用割合は 17.5% となっています。

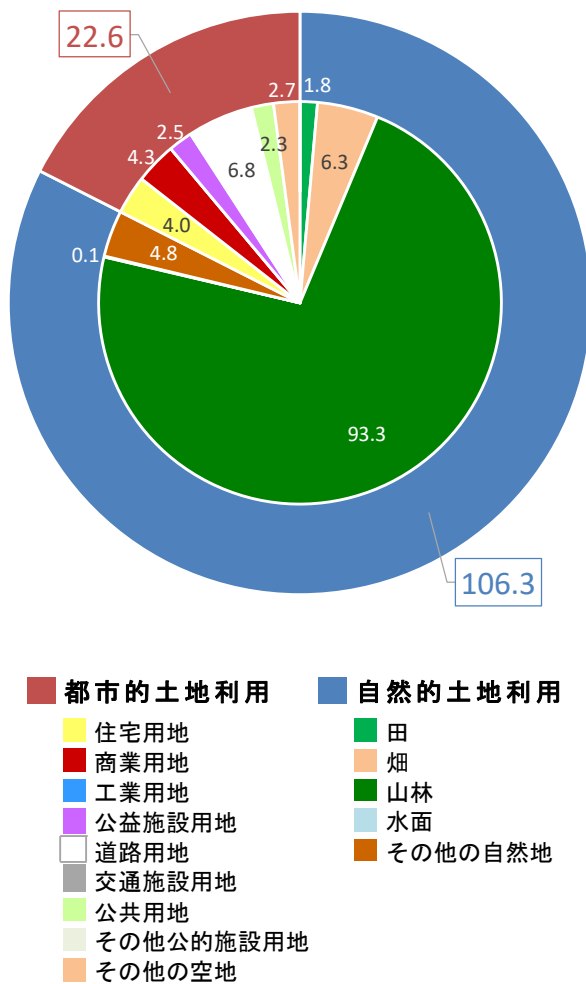


表 土地利用別面積 (都市計画区域内)

市街地区分		合計 (ha)	合計 (%)
自然的土地利用	農地	田	1.8 1.4
		畑	6.3 4.9
		小計	8.1 6.3
	山林	93.3 72.4	
	水面	0.1 0.1	
	その他の自然地	4.8 3.7	
小計		106.3 82.5	
都市的土地利用	宅地	住宅用地	4.0 3.1
		商業用地	4.3 3.3
		工業用地	0.0 0.0
		小計	8.3 6.4
	公益施設用地	2.5 1.9	
	道路用地	6.8 5.3	
	交通施設用地	0.0 0.0	
	公共用地	2.3 1.8	
	その他公的施設用地	0.0 0.0	
	その他の空地	2.7 2.1	
小計		22.6 17.5	
合計		128.9 100.0	

注：小数点以下第二位を四捨五入し小数点第一位までを表示しており、合計比率は必ずしも 100.0% とならない場合がある。

図 土地利用別面積

(2) 市民アンケート調査結果 (概要)

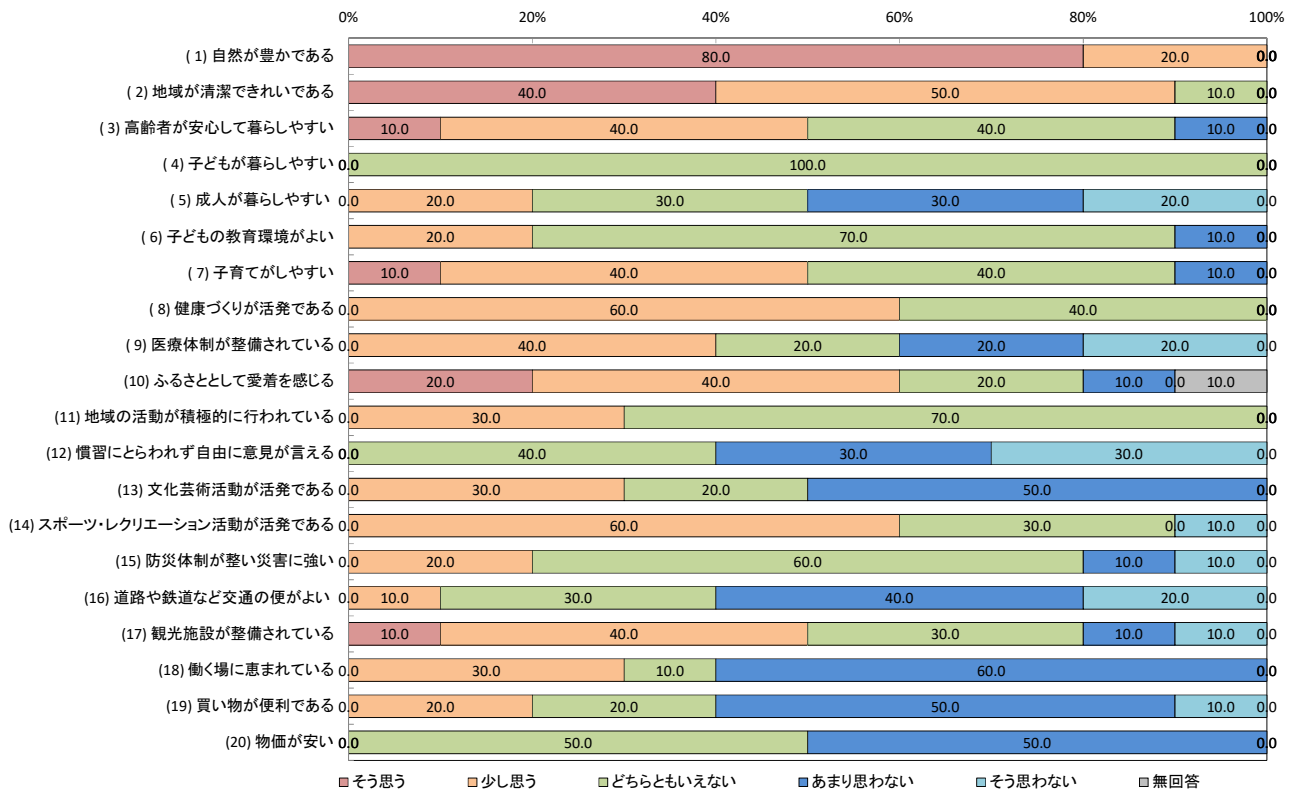
1) 糸魚川市に関する印象

- ・ 「豊かな自然」、「地域の清潔感」、「健康づくりの活発性」、「ふるさとへの愛着」、「スポーツ・レクリエーション活動の活発性」については評価が高くなっています。
- ・ 一方で、「自由に意見が言える」、「交通の便」、「働く場」、「買い物の便」については評価が低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(100.0%)、「地域が清潔できれいである」(90.0%)、「健康づくりが活発である」(60.0%)、「ふるさととして愛着を感じる」(60.0%)、「スポーツ・レクリエーション活動が活発である」(60.0%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「慣習にとらわれず自由に意見が言える」(60.0%)、「道路や鉄道など交通の便がよい」(60.0%)、「働く場に恵まれている」(60.0%)、「買い物が便利である」(60.0%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

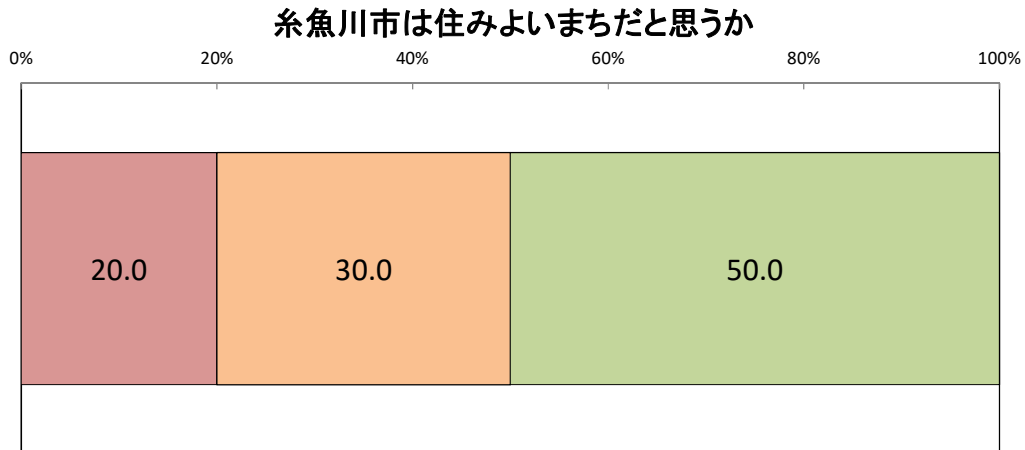
糸魚川市に関する印象



## 2) 糸魚川市の住みよさ

- 「住みよい」と思う市民が5割と多くなっています。

糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」（“そう思う”（20.0%）及び“少し思う”（30.0%）の合計）と思う回答者は5割であり、「住みよくない」（“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計）と思う回答者はなしとなっています。また、「どちらともいえない」と思う回答者が50.0%います。

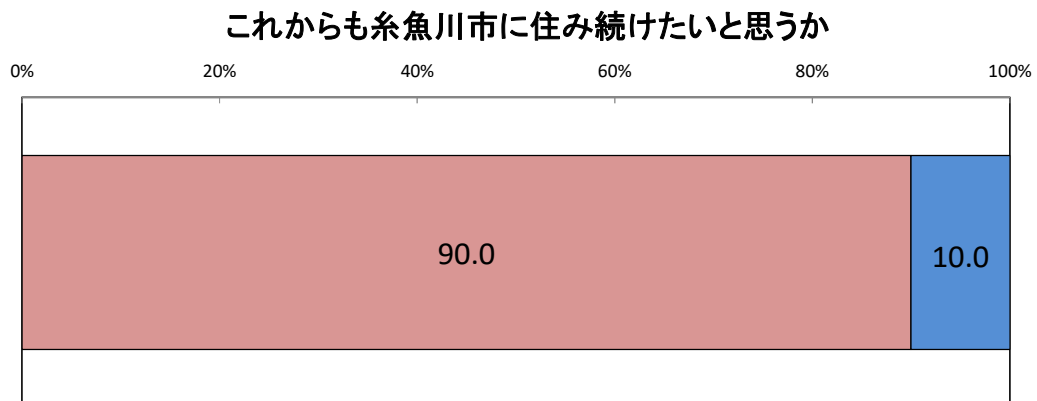


- そう思う ■ 少し思う ■ どちらともいえない ■ あまり思わない ■ そう思わない ■ 無回答

## 3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と思う市民が9割と多くなっています。

糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」との回答者が90.0%と最も多く、次いで、「わからない」（10.0%）と続いています。



- これからも糸魚川市に住み続けたい
- 糸魚川市の近隣市町村(上越市・妙高市・小谷村・朝日町等)に移りたい
- 糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい
- わからない
- 無回答

### 3 西能生地区

#### (1) 土地利用状況

土地利用状況については、山林が699.2ha（77.8%）と最も多く、次いで、農地（田）が72.2ha（8.0%）、道路用地が29.7ha（3.3%）と続いています。

宅地については、25.1ha（2.7%）となっています。

また、自然的土地利用割合は92.1%、都市的土地利用割合は7.9%となっています。

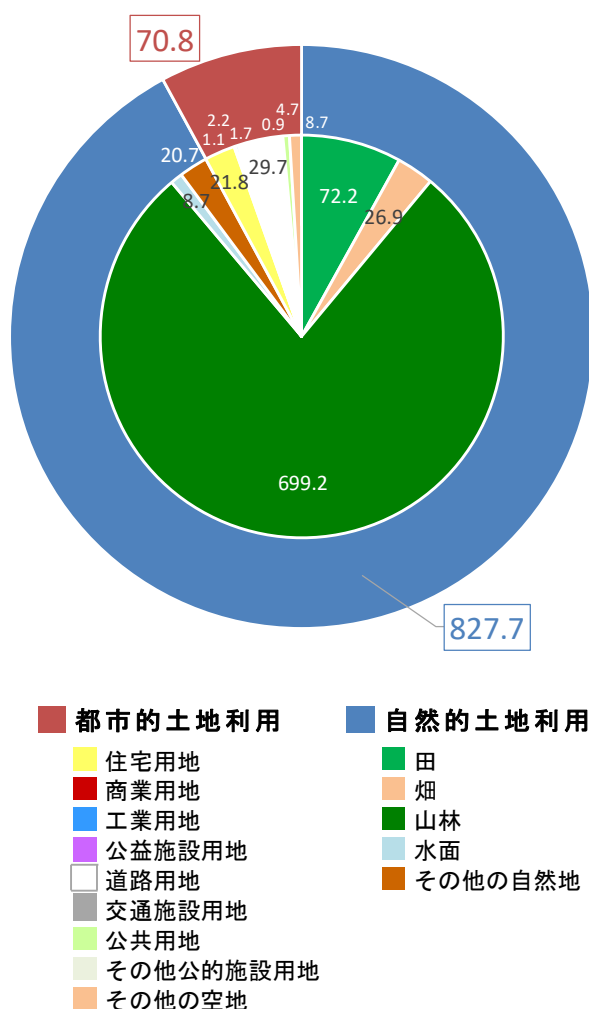


表 土地利用別面積（都市計画区域内）

市街地区分	合計 (ha)	合計 (%)	
自然的土地利用	農地		
	田	72.2	8.0
	畑	26.9	3.0
	小計	99.1	11.0
	山林	699.2	77.8
	水面	8.7	1.0
その他の自然地	20.7	2.3	
小計	827.7	92.1	
都市的土地利用	住宅用地	21.8	2.4
	商業用地	1.1	0.1
	工業用地	2.2	0.2
	小計	25.1	2.7
	公益施設用地	1.7	0.2
	道路用地	29.7	3.3
	交通施設用地	0.9	0.1
	公共用地	4.7	0.5
	その他公的施設用地	0.0	0.0
	その他の空地	8.7	1.0
小計	70.8	7.9	
合計	898.5	100.0	

注：小数点以下第二位を四捨五入し小数点第一位までを表示しており、合計比率は必ずしも100.0%とならない場合がある。

図 土地利用別面積

## (2) 市民アンケート調査結果（概要）

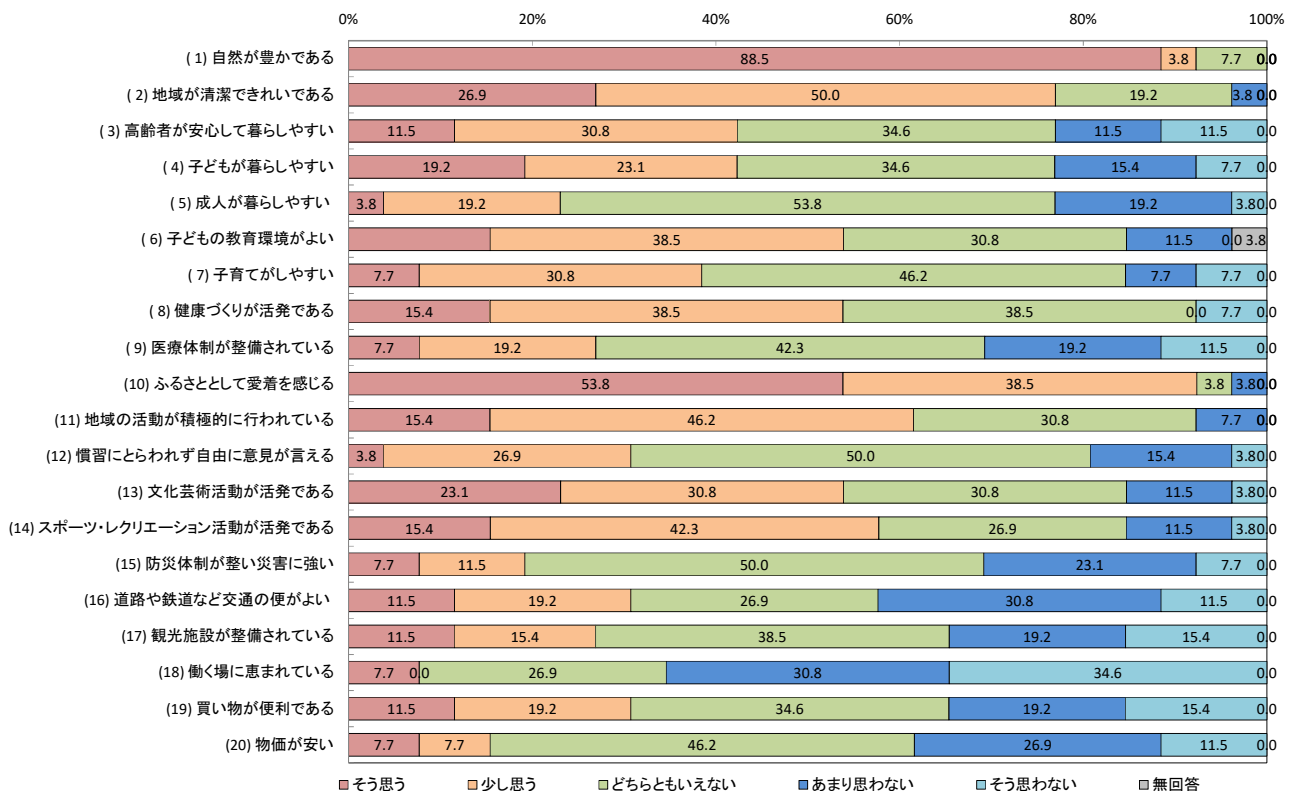
## 1) 糸魚川市に関する印象

- 「豊かな自然」、「ふるさとへの愛着」、「地域の清潔感」、「積極的な地域活動」、「スポーツ・レクリエーション活動の活発性」、「子どもの教育環境」、「健康づくりの活発性」、「文化芸術活動の活発性」については評価が高くなっています。
- 一方で、「働く場」については評価が低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(92.3%)、「ふるさととして愛着を感じる」(92.3%)、「地域が清潔できれいである」(76.9%)、「地域の活動が積極的に行われている」(61.6%)、「スポーツ・レクリエーション活動が活発である」(57.7%)、「子どもの教育環境がよい」(53.9%)、「健康づくりが活発である」(53.9%)、「文化芸術活動が活発である」(53.9%)が半数を超えて多くなっています（これら以外は5割以下）。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「働く場に恵まれている」(65.4%)が半数を超えて多くなっています（これら以外は5割以下）。

糸魚川市に関する印象

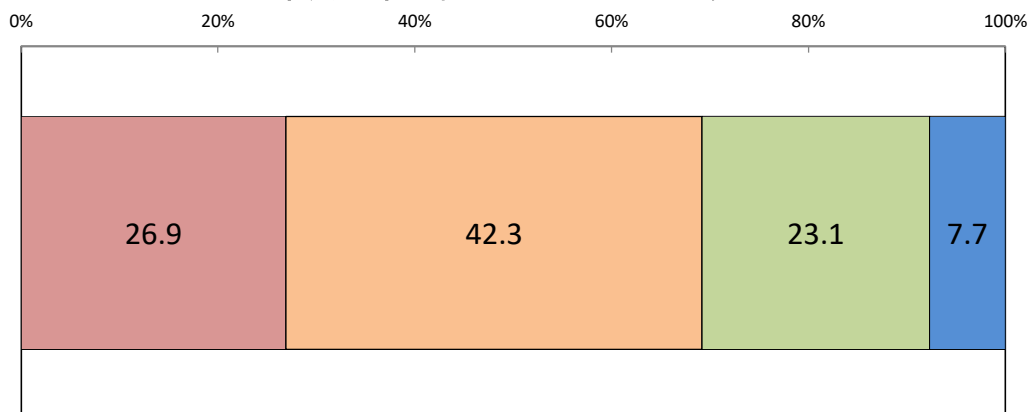


## 2) 糸魚川市の住みよさ

- 「住みよい」と思う市民が約7割と多くなっています。

糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」(“そう思う” (26.9%) 及び “少し思う” (42.3%) の合計) とする回答者は約7割であり、「住みよくない」(“そう思わない” 及び “あまり思わない” (7.7%) の合計) とする回答者は約1割となっています。また、「どちらともいえない」とする回答者が23.1%います。

糸魚川市は住みよいまちだと思うか



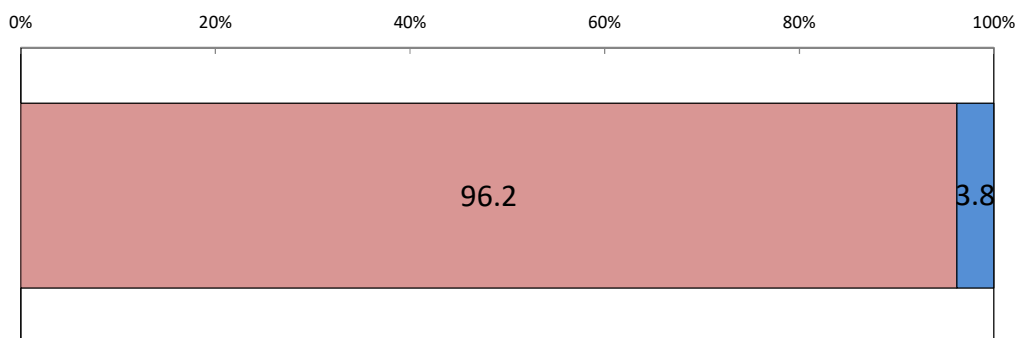
- そう思う ■ 少し思う ■ どちらともいえない ■ あまり思わない ■ そう思わない ■ 無回答

## 3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」とする市民が約9割と多くなっています。

糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」とする回答者が96.2%と最も多く、次いで、「わからない」(3.8%) と続いています。

これからも糸魚川市に住み続けたいと思うか



- これからも糸魚川市に住み続けたい
- 糸魚川市の近隣市町村(上越市・妙高市・小谷村・朝日町等)に移りたい
- 糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい
- わからない
- 無回答

## 4 中能生地区

### (1) 土地利用状況

土地利用状況については、山林が749.0ha（67.9%）と最も多く、次いで、農地（田）が166.2ha（15.1%）、その他の自然地が43.0ha（3.9%）と続いています。

宅地については、38.7ha（3.5%）となっています。

また、自然的土地利用割合は91.4%、都市的土地利用割合は8.6%となっています。

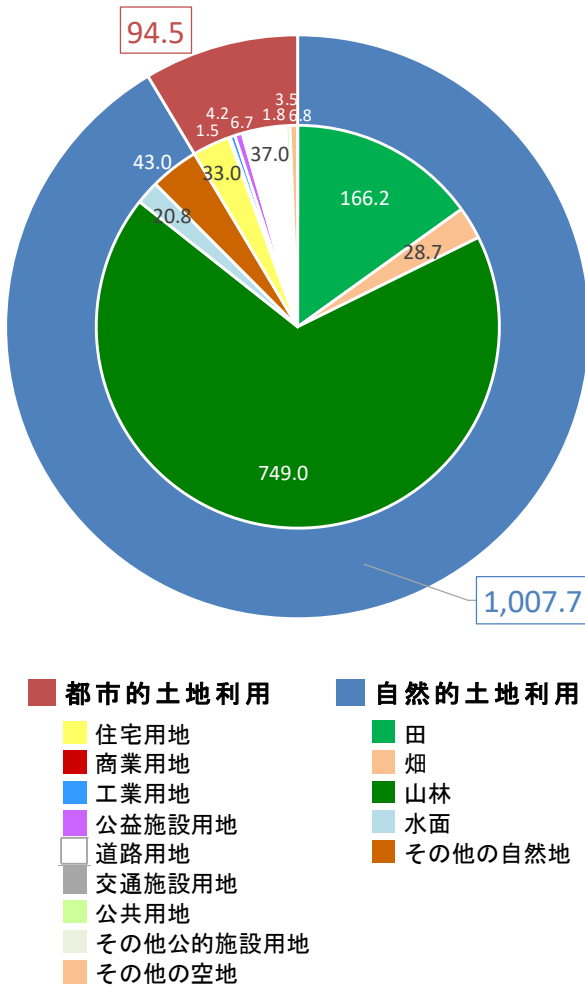


表 土地利用別面積（都市計画区域内）

市街地区分		合計 (ha)	合計 (%)
自然的土地利用	農地		
	田	166.2	15.1
	畑	28.7	2.6
	小計	194.9	17.7
	山林	749.0	67.9
	水面	20.8	1.9
都市的土地利用	その他の自然地	43.0	3.9
	小計	1,007.7	91.4
	宅地		
	住宅用地	33.0	3.0
	商業用地	1.5	0.1
	工業用地	4.2	0.4
	小計	38.7	3.5
	公益施設用地	6.7	0.6
	道路用地	37.0	3.4
	交通施設用地	1.8	0.2
公共用地	3.5	0.3	
その他の公共施設用地	0.0	0.0	
その他の空地	6.8	0.6	
小計	94.6	8.6	
合計	1,102.3	100.0	

注：小数点以下第二位を四捨五入し小数点第一位までを表示しており、合計比率は必ずしも100.0%とならない場合がある。

図 土地利用別面積



(2) 市民アンケート調査結果 (概要)

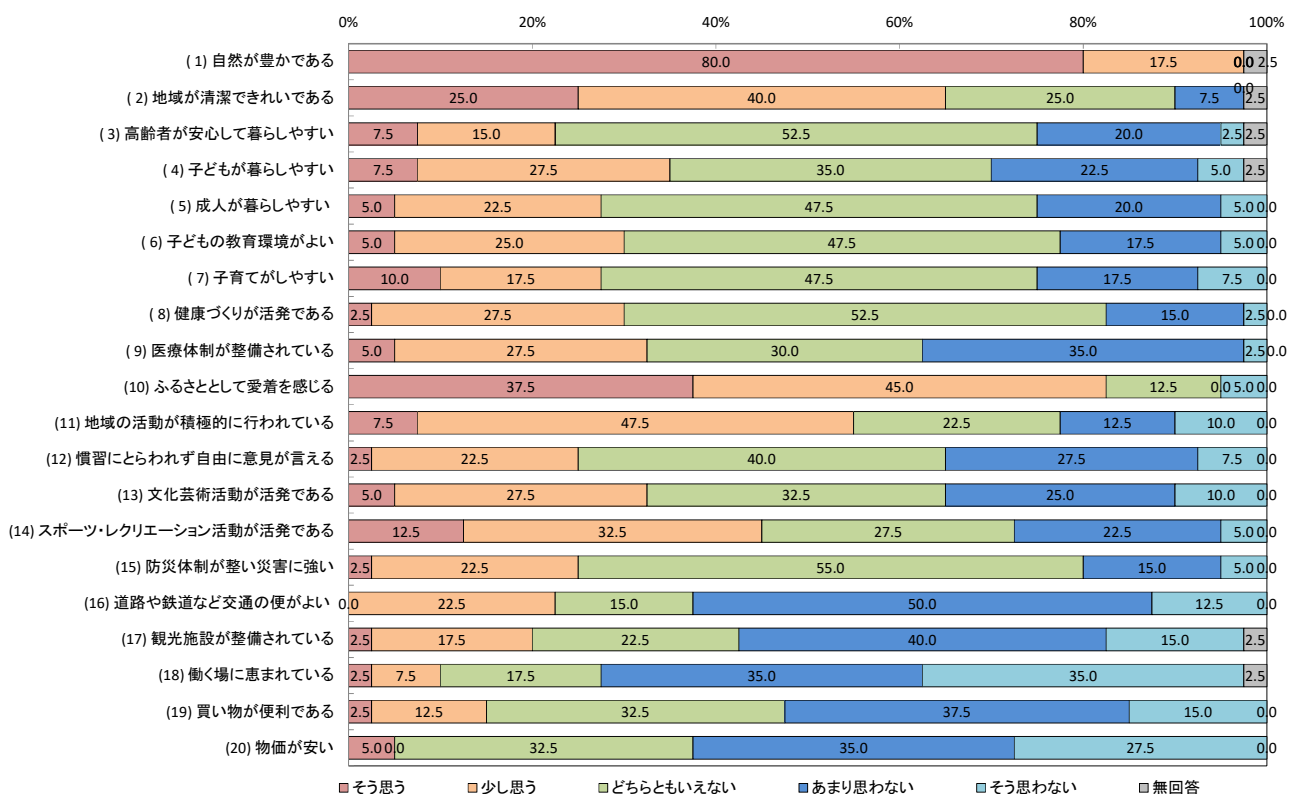
1) 糸魚川市に関する印象

- ・ 「豊かな自然」、「ふるさとへの愛着」、「地域の清潔感」、「積極的な地域活動」については評価が高くなっています。
- ・ 一方で、「働く場」、「交通の便」、「物価」、「観光施設の整備」、「買い物の便」については評価が低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(97.5%)、「ふるさととして愛着を感じる」(82.5%)、「地域が清潔できれいである」(65.0%)、「地域の活動が積極的に行われている」(55.0%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「働く場に恵まれている」(70.0%)、「道路や鉄道など交通の便がよい」(62.5%)、「物価が安い」(62.5%)、「観光施設が整備されている」(55.0%)、「買い物が便利である」(52.5%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

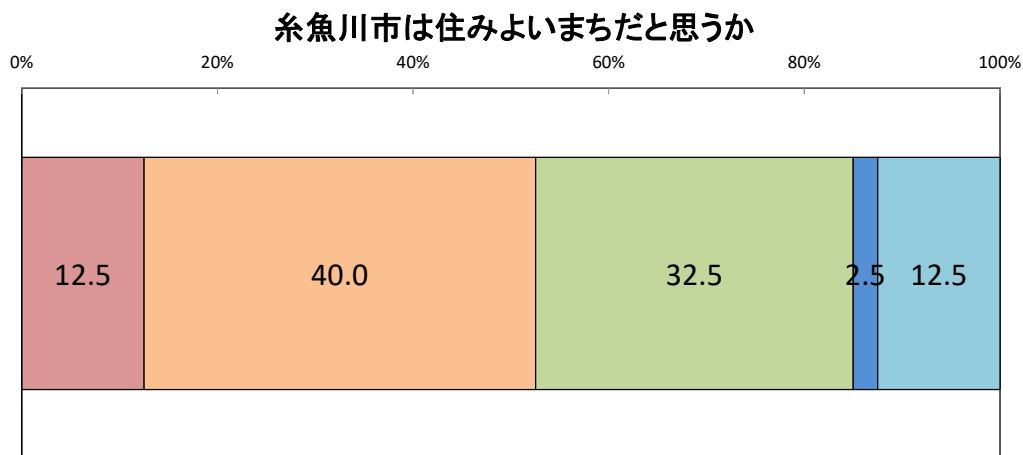
糸魚川市に関する印象



## 2) 糸魚川市の住みよさ

- 「住みよい」と思う市民が約5割と多くなっています。

糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」（“そう思う”（12.5%）及び“少し思う”（40.0%）の合計）と思う回答者は約5割であり、「住みよくない」（“そう思わない”（12.5%）及び“あまり思わない”（2.5%）の合計）と思う回答者は約2割となっています。また、「どちらともいえない」と思う回答者が32.5%います。

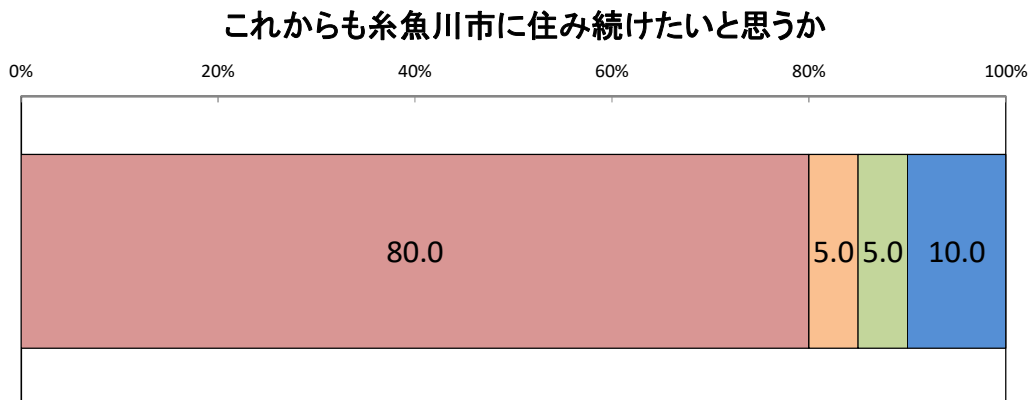


- そう思う ■ 少し思う ■ どちらともいえない ■ あまり思わない ■ そう思わない ■ 無回答

## 3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と思う市民が8割と多くなっています。

糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」との回答者が80.0%と最も多く、次いで、「わからない」（10.0%）、「糸魚川市の近隣市町村に移りたい」（5.0%）及び「糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい」（5.0%）と続いています。



- これからも糸魚川市に住み続けたい
- 糸魚川市の近隣市町村(上越市・妙高市・小谷村・朝日町等)に移りたい
- 糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい
- わからない
- 無回答

## 5 木浦地区

### (1) 土地利用状況

土地利用状況については、山林が774.0ha（77.5%）と最も多く、次いで、農地（田）が76.3ha（7.6%）、農地（畑）が37.4ha（3.7%）と続いています。宅地については、20.2ha（2.0%）となっています。また、自然的土地利用割合は93.9%、都市的土地利用割合は6.1%となっています。

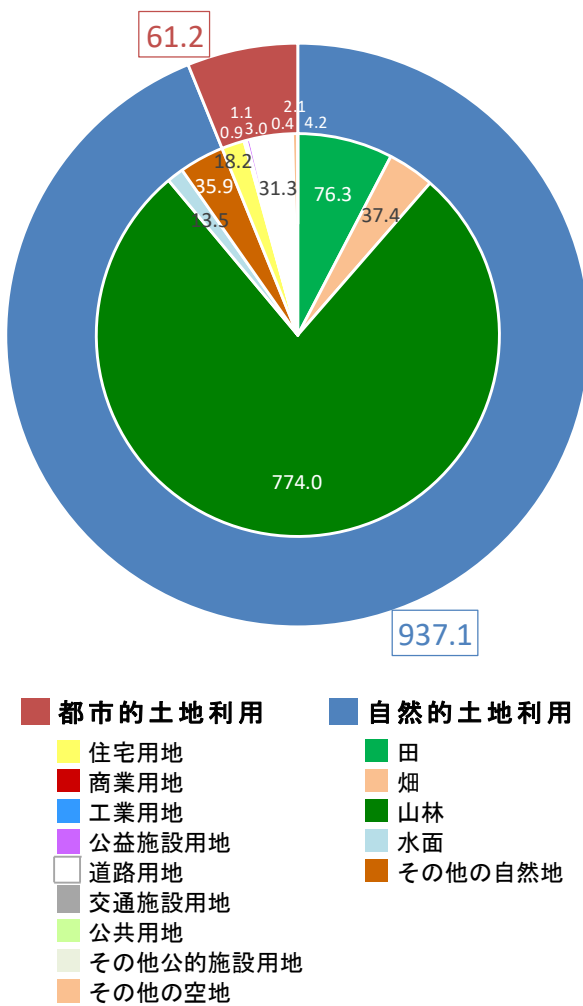


表 土地利用別面積（都市計画区域内）

市街地区分		合計 (ha)	合計 (%)
自然的土地利用	農地	田	76.3 / 7.6
		畑	37.4 / 3.7
		小計	113.7 / 11.3
	山林	774.0 / 77.5	
	水面	13.5 / 1.4	
	その他の自然地	35.9 / 3.6	
小計		937.1	93.9
都市的土地利用	宅地	住宅用地	18.2 / 1.8
		商業用地	0.9 / 0.1
		工業用地	1.1 / 0.1
		小計	20.2 / 2.0
	公益施設用地	3.0 / 0.3	
	道路用地	31.3 / 3.1	
	交通施設用地	0.4 / 0.0	
	公共用地	2.1 / 0.2	
	その他公的施設用地	0.0 / 0.0	
	その他の空地	4.2 / 0.4	
小計		61.2	6.1
合計		998.3	100.0

注：小数点以下第二位を四捨五入し小数点第一位までを表示しており、合計比率は必ずしも100.0%とならない場合がある。

図 土地利用別面積

(2) 市民アンケート調査結果 (概要)

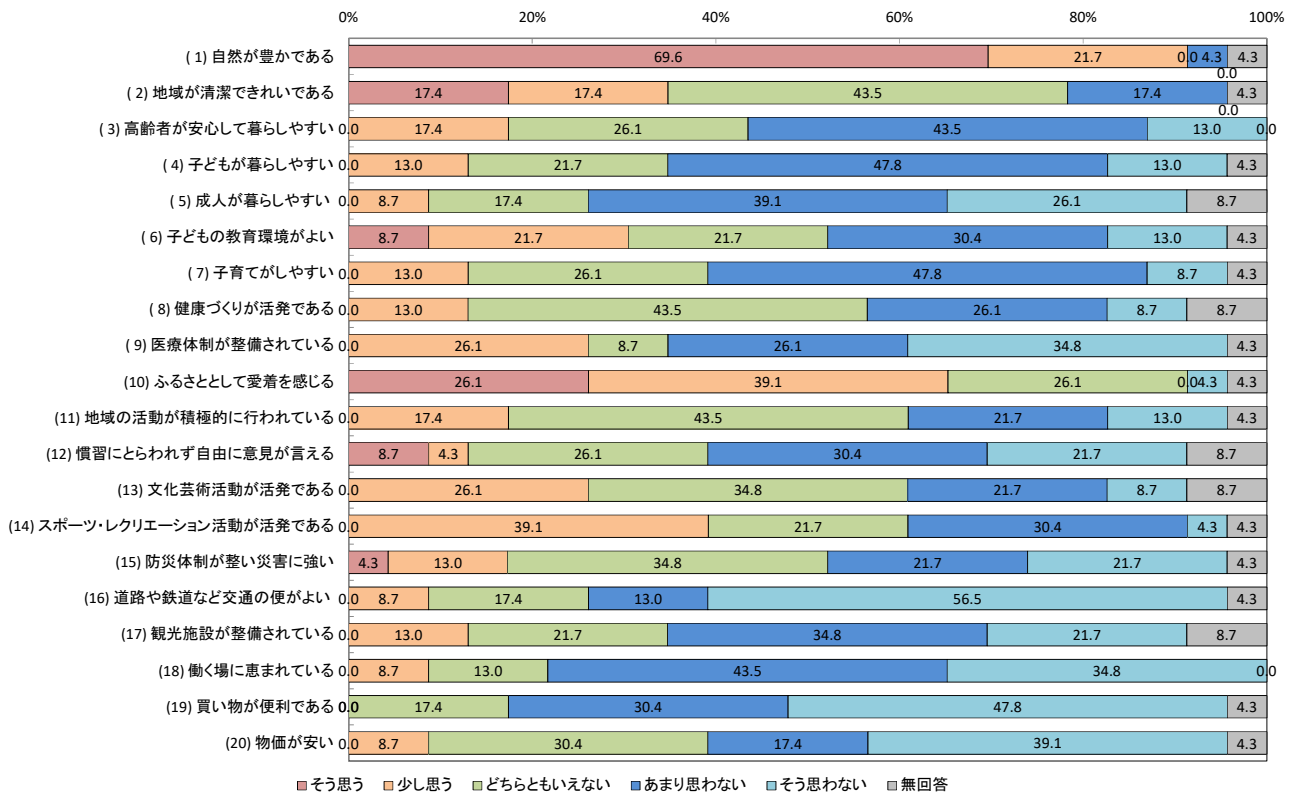
1) 糸魚川市に関する印象

- ・ 「豊かな自然」、「ふるさとへの愛着」については評価が高くなっています。
- ・ 一方で、「働く場」、「買い物の便」、「交通の便」、「成人の暮らしやすさ」、「医療体制」、「子どもの暮らしやすさ」については評価が低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(91.3%)、「ふるさととして愛着を感じる」(65.2%)、が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では「働く場に恵まれている」(78.3%)、「買い物が便利である」(78.2%)、「道路や鉄道など交通の便がよい」(69.5%)、「成人が暮らしやすい」(65.2%)、「医療体制が整備されている」(60.9%)、「子どもが暮らしやすい」(60.8%) が6割を超えて多くなっているほか、11項目が半数を超えています。

糸魚川市に関する印象

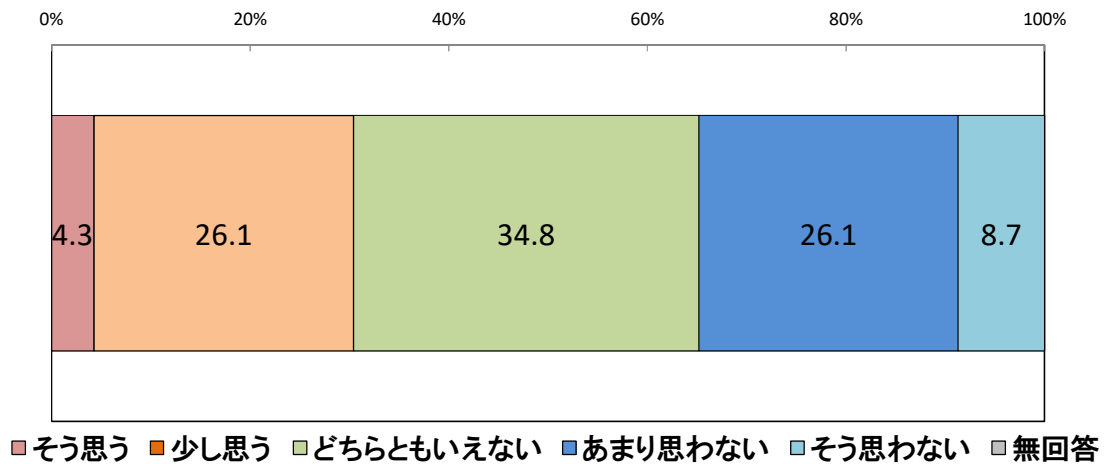


2) 糸魚川市の住みよさ

- 「住みよい」と思う市民が約3割、「住みよくない」と思う市民が4割近くと、「住みよくない」と思う市民がやや多くなっています。

糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」（“そう思う”（4.3%）及び“少し思う”（26.1%）の合計）と思う回答者は約3割であり、「住みよくない」（“そう思わない”（8.7%）及び“あまり思わない”（26.1%）の合計）と思う回答者は4割近くとなっています。また、「どちらともいえない」と思う回答者が34.8%います。

糸魚川市は住みよいまちだと思うか

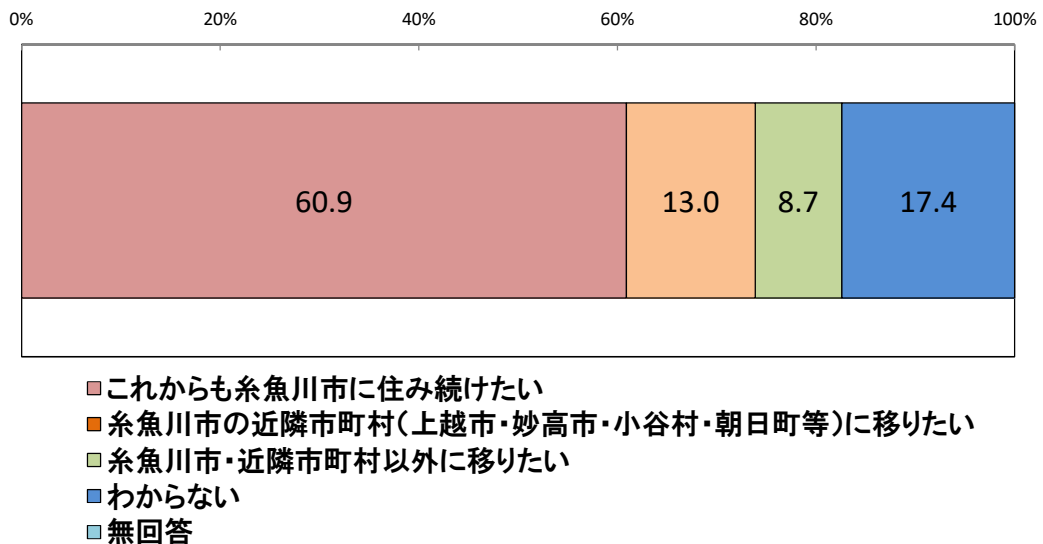


3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と思う市民が約6割と多くなっています。

糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」との回答者が60.9%と最も多く、次いで、「わからない」（17.4%）、「糸魚川市の近隣市町村に移りたい」（13.0%）と続いています。

これからも糸魚川市に住み続けたいと思うか



## 6 浦本地区

### (1) 土地利用状況

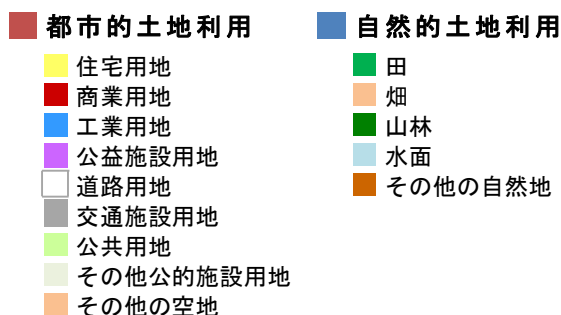
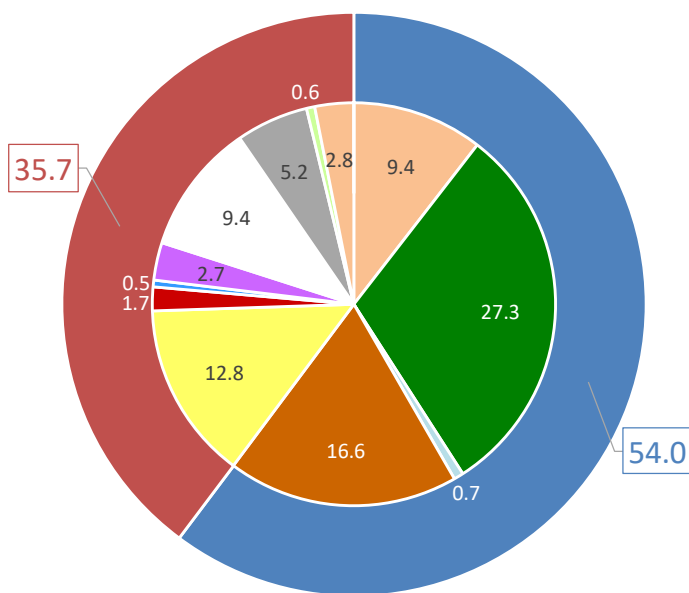
土地利用状況については、山林が 27.3ha (30.4%) と最も多く、次いで、その他の自然地が 16.6ha (18.5%)、住宅用地が 12.8ha (14.3%) と続いています。

宅地については、15.0ha (16.8%) となっています。

また、自然的土地利用割合は 60.2%、都市的土地利用割合は 39.8%となっています。

表 土地利用別面積 (都市計画区域内)

市街地区分			合計 (ha)	合計 (%)
自然的土地利用	農地	田	0.0	0.0
		畑	9.4	10.5
		小計	9.4	10.5
	山林	27.3	30.4	
	水面	0.7	0.8	
	その他の自然地	16.6	18.5	
小計			54.0	60.2
都市的土地利用	宅地	住宅用地	12.8	14.3
		商業用地	1.7	1.9
		工業用地	0.5	0.6
		小計	15.0	16.8
	公益施設用地	2.7	3.0	
	道路用地	9.4	10.5	
	交通施設用地	5.2	5.8	
	公共用地	0.6	0.7	
	その他公的施設用地	0.0	0.0	
	その他の空地	2.8	3.1	
小計			35.7	39.8
合計			89.7	100.0



注：小数点以下第二位を四捨五入し小数点第一位までを表示しており、合計比率は必ずしも 100.0%とならない場合がある。

図 土地利用別面積

(2) 市民アンケート調査結果 (概要)

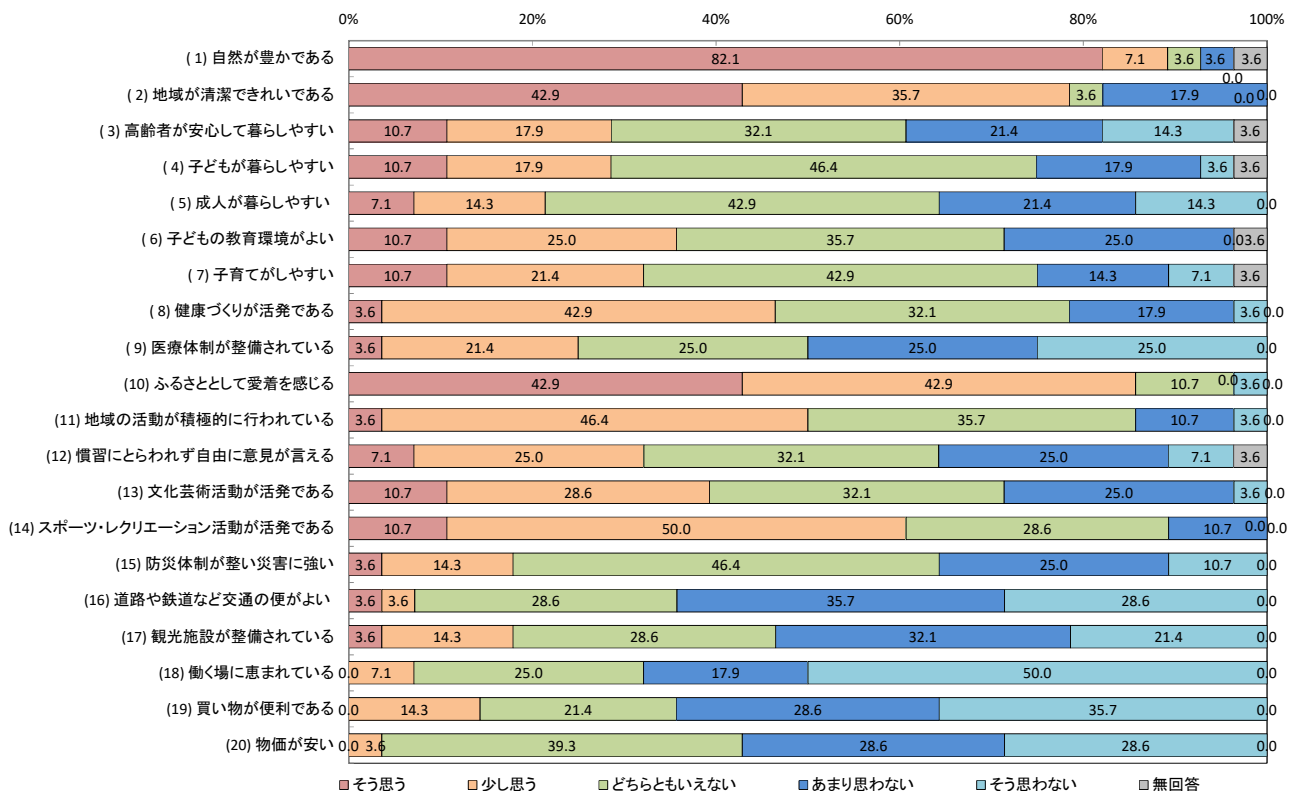
1) 糸魚川市に関する印象

- ・「豊かな自然」、「ふるさとへの愛着」、「地域の清潔感」、「スポーツ・レクリエーション活動の活発性」については評価が高くなっています。
- ・一方で、「働く場」、「交通の便」、「買い物の便」、「物価」、「観光施設の整備」については評価が低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(89.2%)、「ふるさととして愛着を感じる」(85.8%)、「地域が清潔できれいである」(78.6%)、「スポーツ・レクリエーション活動が活発である」(60.7%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「働く場に恵まれている」(67.9%)、「道路や鉄道など交通の便がよい」(64.3%)及び「買い物が便利である」(64.3%)「物価が安い」(57.2%)、「観光施設が整備されている」(53.5%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

糸魚川市に関する印象



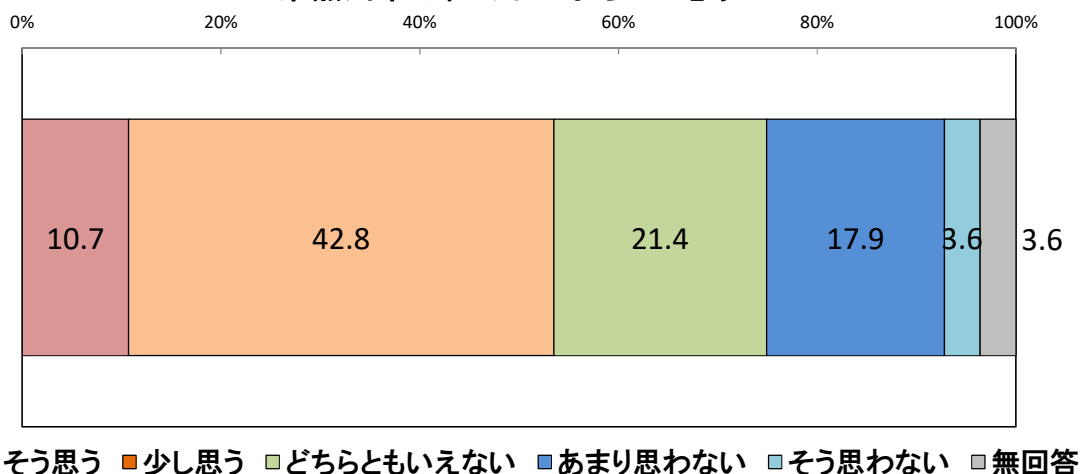


## 2) 糸魚川市の住みよさ

- 「住みよい」と思う市民が約5割と多くなっています。

糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」（“そう思う”（10.7%）及び“少し思う”（42.8%）の合計）と思う回答者は約5割であり、「住みよくない」（“そう思わない”（3.6%）及び“あまり思わない”（17.9%）の合計）と思う回答者は約2割となっています。また、「どちらともいえない」と思う回答者が21.4%います。

糸魚川市は住みよいまちだと思うか

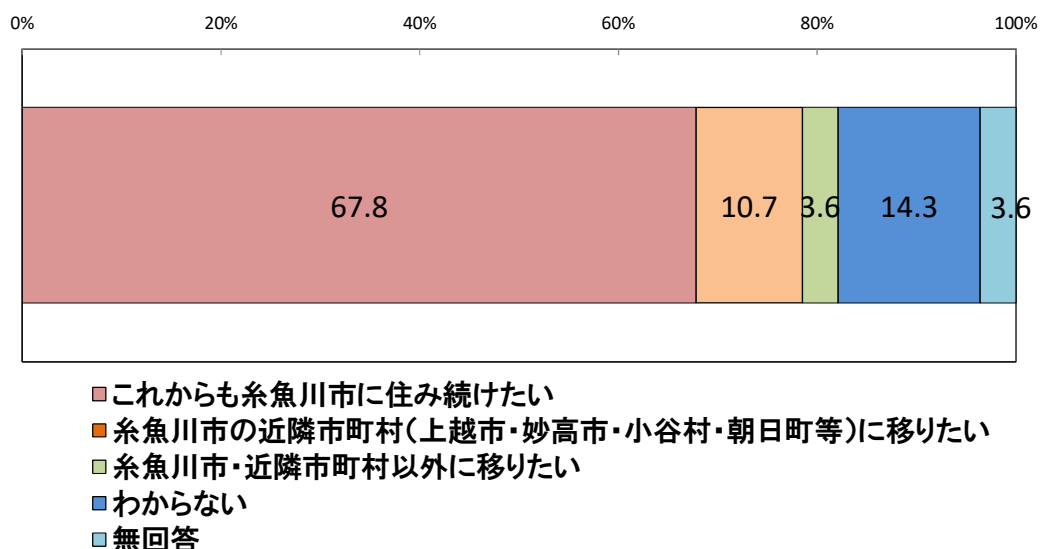


## 3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と思う市民が約7割と多くなっています。

糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」との回答者が67.8%と最も多く、次いで、「わからない」（14.3%）、「糸魚川市の近隣市町村に移りたい」（10.7%）と続いています。

これからも糸魚川市に住み続けたいと思うか



## 7 下早川地区

### (1) 土地利用状況

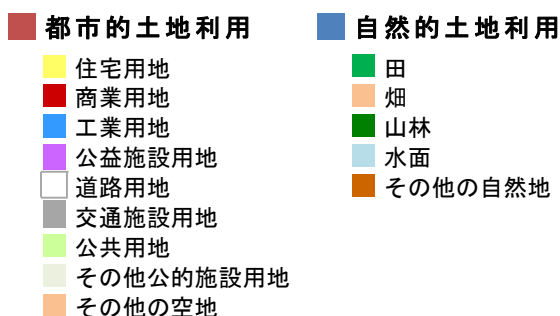
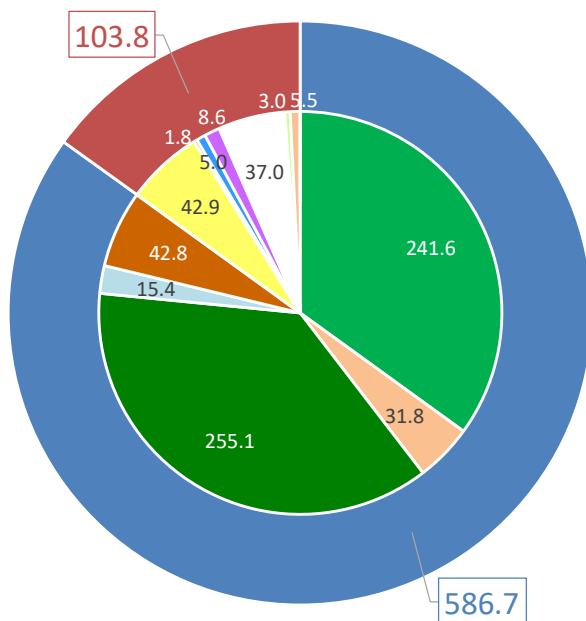
土地利用状況については、山林が 255.1ha (36.9%) と最も多く、次いで、農地(田)が 241.6ha (35.0%)、住宅用地が 42.9ha (6.2%) と続いています。

宅地については、49.7ha (7.2%) となっています。

また、自然的土地利用割合は 85.0%、都市的土地利用割合は 15.0%となっています。

表 土地利用別面積 (都市計画区域内)

市街地区分		合計 (ha)	合計 (%)	
自然的土地利用	農地	田	241.6	35.0
		畑	31.8	4.6
		小計	273.4	39.6
	山林	255.1	36.9	
	水面	15.4	2.2	
	その他の自然地	42.8	6.2	
小計		586.7	85.0	
都市的土地利用	宅地	住宅用地	42.9	6.2
		商業用地	1.8	0.3
		工業用地	5.0	0.7
		小計	49.7	7.2
	公益施設用地	8.6	1.2	
	道路用地	37.0	5.4	
	交通施設用地	0.0	0.0	
	公共用地	3.0	0.4	
	その他公的施設用地	0.0	0.0	
	その他の空地	5.5	0.8	
小計		103.8	15.0	
合計		690.5	100.0	



注：小数点以下第二位を四捨五入し小数点第一位までを表示しており、合計比率は必ずしも 100.0%とならない場合がある。

図 土地利用別面積

(2) 市民アンケート調査結果 (概要)

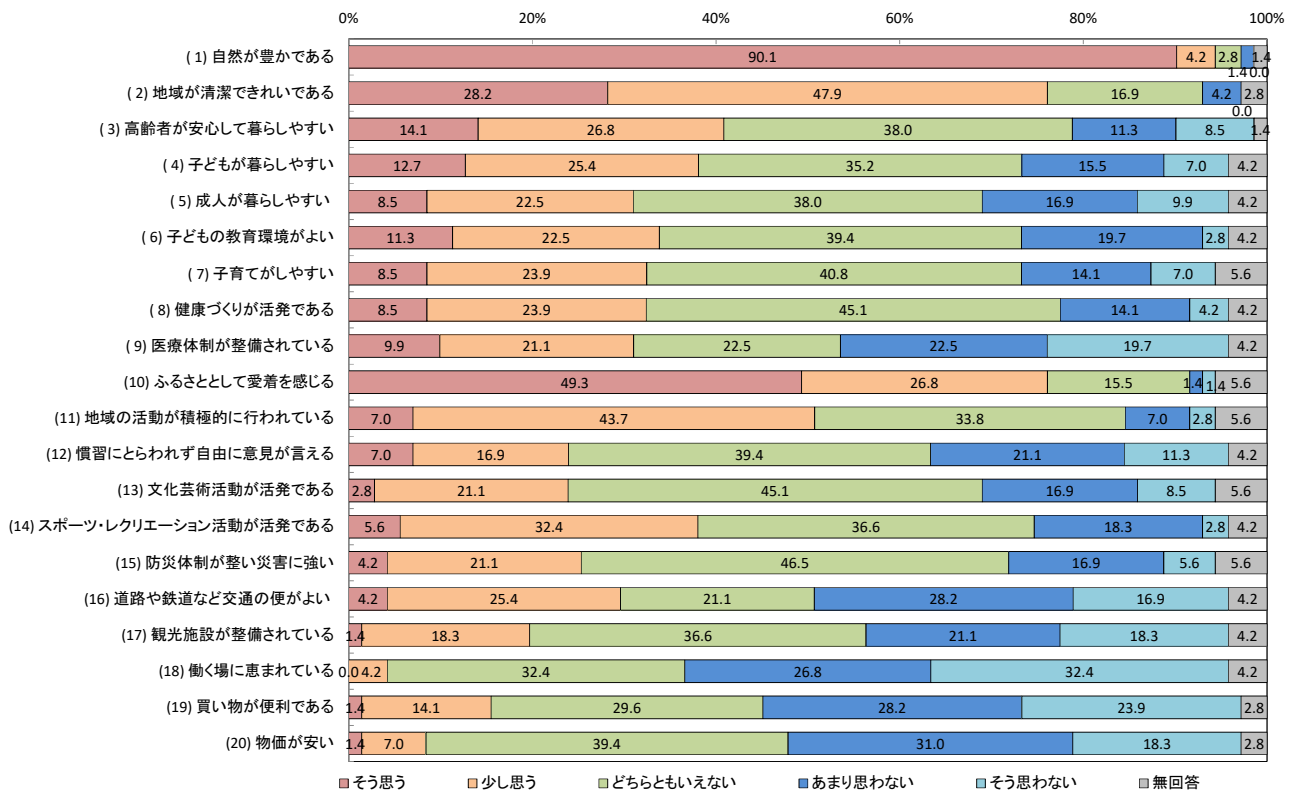
1) 糸魚川市に関する印象

- 「豊かな自然」、「地域の清潔感」、「ふるさとへの愛着」、「積極的な地域活動」については評価が高くなっています。
- 一方で、「働く場」、「買い物の便」については評価が低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(94.3%)、「地域が清潔できれいである」(76.1%)及び「ふるさととして愛着を感じる」(76.1%)、「地域の活動が積極的に行われている」(50.7%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「働く場に恵まれている」(59.2%)、「買い物が便利である」(52.1%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

糸魚川市に関する印象

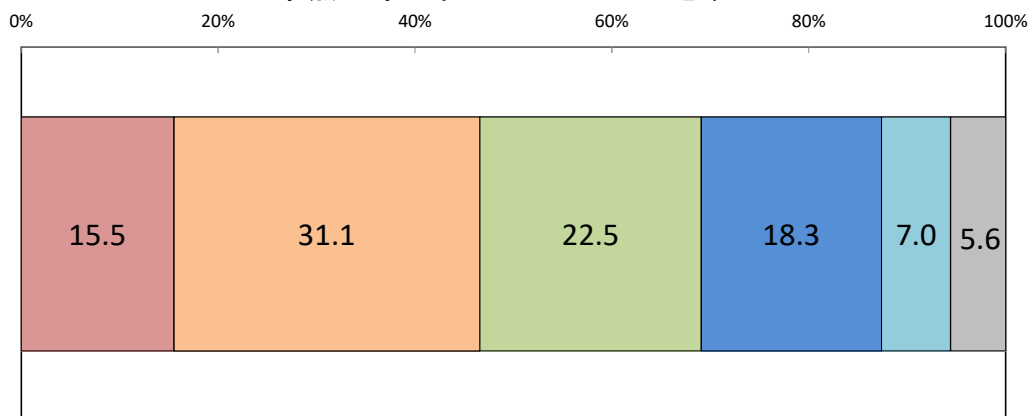


## 2) 糸魚川市の住みよさ

- 「住みよい」と思う市民が約5割と多くなっています。

糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」（“そう思う”（15.5%）及び“少し思う”（31.1%）の合計）と思う回答者は約5割であり、「住みよくない」（“そう思わない”（7.0%）及び“あまり思わない”（18.3%）の合計）と思う回答者は約3割となっています。また、「どちらともいえない」と思う回答者が22.5%います。

糸魚川市は住みよいまちだと思うか



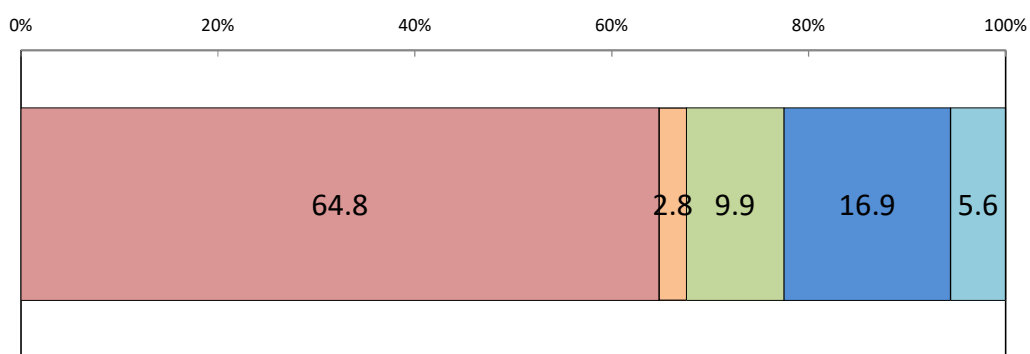
- そう思う ■ 少し思う ■ どちらともいえない ■ あまり思わない ■ そう思わない ■ 無回答

## 3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と思う市民が約6割と多くなっています。

糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」との回答者が64.8%と最も多く、次いで、「わからない」（16.9%）、「糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい」（9.9%）と続いています。

これからも糸魚川市に住み続けたいと思うか



- これからも糸魚川市に住み続けたい
- 糸魚川市の近隣市町村(上越市・妙高市・小谷村・朝日町等)に移りたい
- 糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい
- わからない
- 無回答

## 8 大和川地区

### (1) 土地利用状況

土地利用状況については、山林が 258.9ha (44.6%) と最も多く、次いで、農地(田)が 61.5ha (10.6%)、道路用地が 50.2ha (8.7%) と続いています。

宅地については、67.3ha (11.6%) となっています。

また、自然的土地利用割合は 70.3%、都市的土地利用割合は 29.7%となっています。

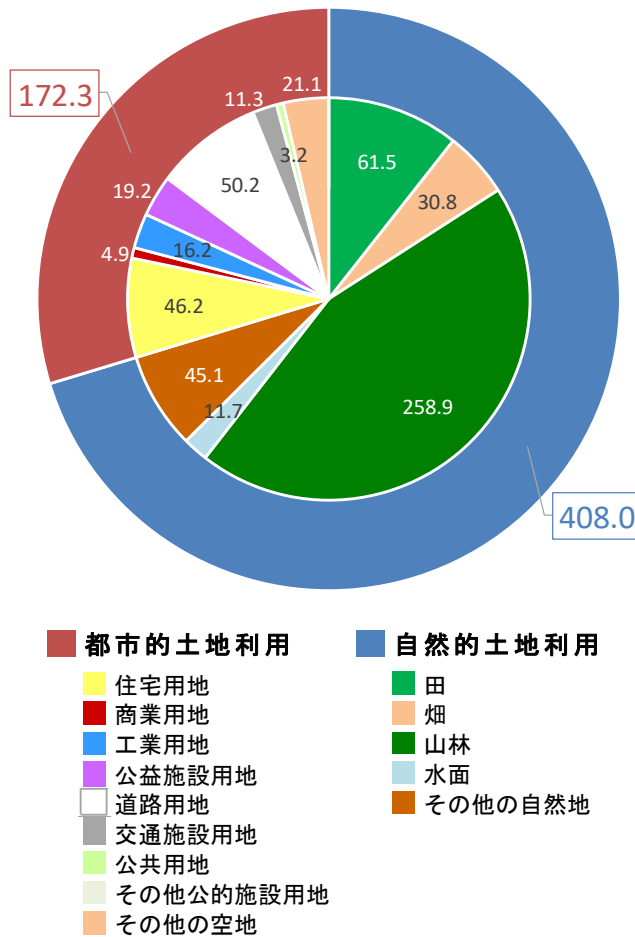


表 土地利用別面積 (都市計画区域内)

市街地区分		合計 (ha)	合計 (%)
自然的土地利用	農地	田	61.5 10.6
		畑	30.8 5.3
		小計	92.3 15.9
	山林	258.9 44.6	
	水面	11.7 2.0	
	その他の自然地	45.1 7.8	
小計		408.0 70.3	
都市的土地利用	宅地	住宅用地	46.2 8.0
		商業用地	4.9 0.8
		工業用地	16.2 2.8
		小計	67.3 11.6
	公益施設用地	19.2 3.3	
	道路用地	50.2 8.7	
	交通施設用地	11.3 1.9	
	公共用地	3.2 0.6	
	その他公的施設用地	0.0 0.0	
	その他の空地	21.1 3.6	
小計		172.3 29.7	
合計		580.3 100.0	

注：小数点以下第二位を四捨五入し小数点第一位までを表示しており、合計比率は必ずしも 100.0%とならない場合がある。

図 土地利用別面積

(2) 市民アンケート調査結果 (概要)

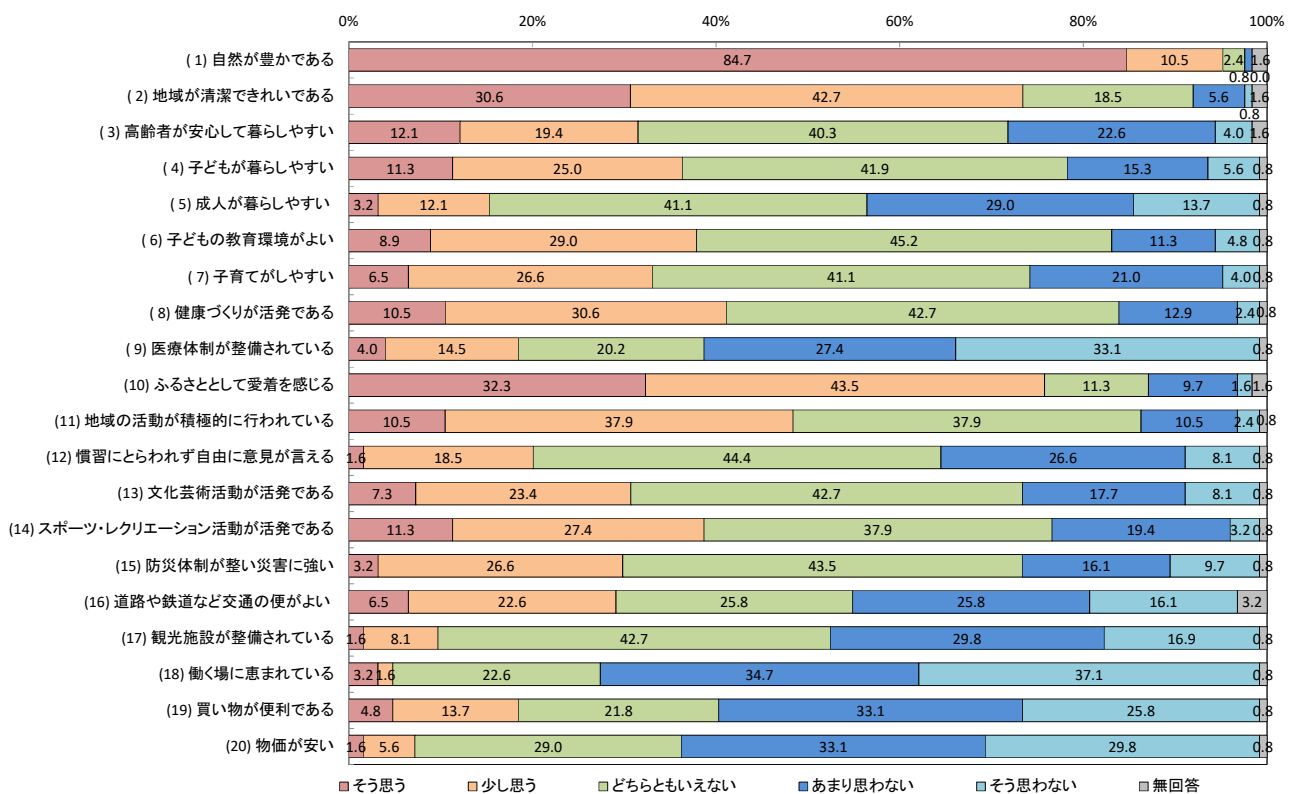
1) 糸魚川市に関する印象

- 「豊かな自然」、「ふるさとへの愛着」、「地域の清潔感」については評価が高くなっています。
- 一方で、「働く場」、「物価」、「医療体制」、「買い物の便」については評価が低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(95.2%)、「ふるさととして愛着を感じる」(75.8%)、「地域が清潔できれいである」(73.3%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「働く場に恵まれている」(71.8%)、「物価が安い」(62.9%)、「医療体制が整備されている」(60.5%)、「買い物が便利である」(58.9%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

糸魚川市に関する印象

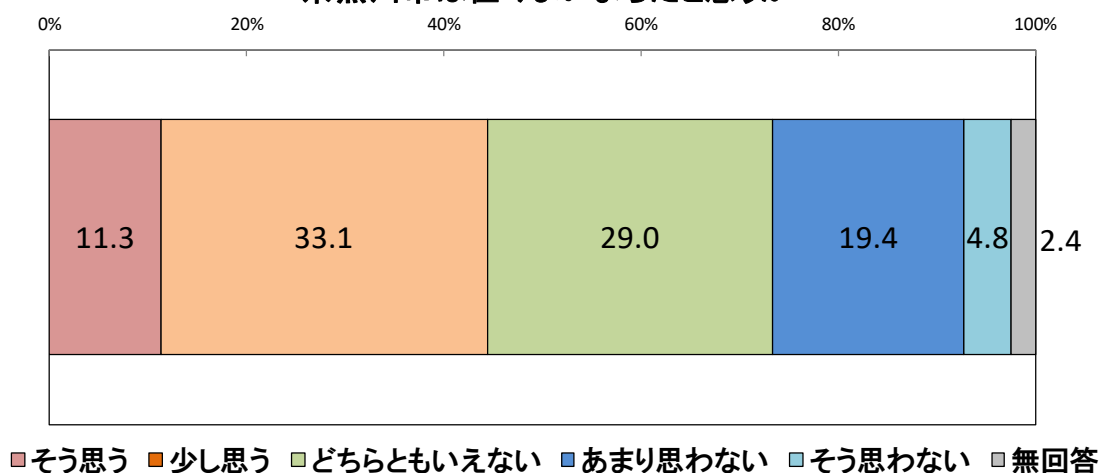


## 2) 糸魚川市の住みよさ

- 「住みよい」と思う市民が約4割、「住みよくない」と思う市民が約2割と、「住みよい」と思う市民が多くなっています。

糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」（“そう思う”（11.3%）及び“少し思う”（33.1%）の合計）と思う回答者は約4割であり、「住みよくない」（“そう思わない”（4.8%）及び“あまり思わない”（19.4%）の合計）と思う回答者は約2割となっています。また、「どちらともいえない」と思う回答者が29.0%います。

糸魚川市は住みよいまちだと思うか

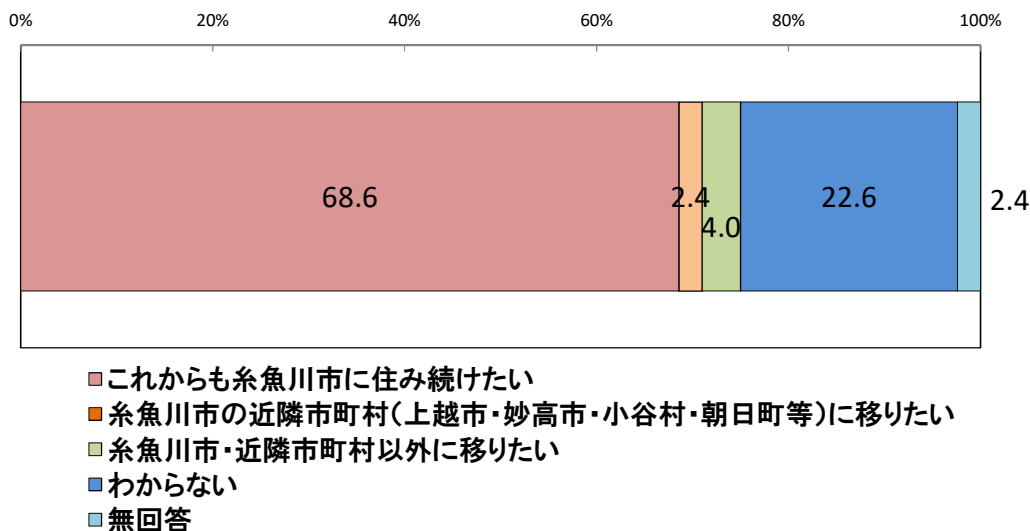


## 3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と思う市民が約7割と多くなっています。

糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」との回答者が68.6%と最も多く、次いで、「わからない」（22.6%）、「糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい」（4.0%）と続いています。

これからも糸魚川市に住み続けたいと思うか



## 9 西海地区

### (1) 土地利用状況

土地利用状況については、山林が254.7ha(60.3%)と最も多く、次いで、農地(田)が69.4ha(16.4%)、住宅用地が24.0ha(5.7%)と続いています。

宅地については、30.0ha(7.1%)となっています。

また、自然的土地利用割合は84.5%、都市的土地利用割合は15.5%となっています。

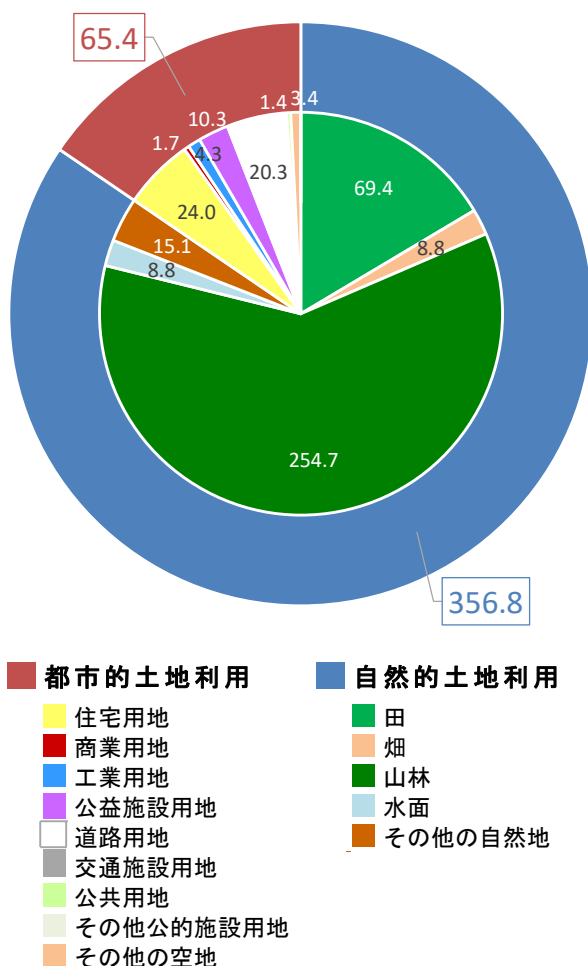


表 土地利用別面積 (都市計画区域内)

市街地区分		合計 (ha)	合計 (%)
自然的土地利用	農地	田	69.4 16.4
		畑	8.8 2.1
		小計	78.2 18.5
	山林	254.7 60.3	
	水面	8.8 2.1	
	その他の自然地	15.1 3.6	
小計		356.8 84.5	
都市的土地利用	宅地	住宅用地	24.0 5.7
		商業用地	1.7 0.4
		工業用地	4.3 1.0
		小計	30.0 7.1
	公益施設用地	10.3 2.4	
	道路用地	20.3 4.8	
	交通施設用地	0.0 0.0	
	公共用地	1.4 0.3	
	その他公的施設用地	0.0 0.0	
	その他の空地	3.4 0.8	
小計		65.4 15.5	
合計		422.2 100.0	

注：小数点以下第二位を四捨五入し小数点第一位までを表示しており、合計比率は必ずしも100.0%とならない場合がある。

図 土地利用別面積



## (2) 市民アンケート調査結果（概要）

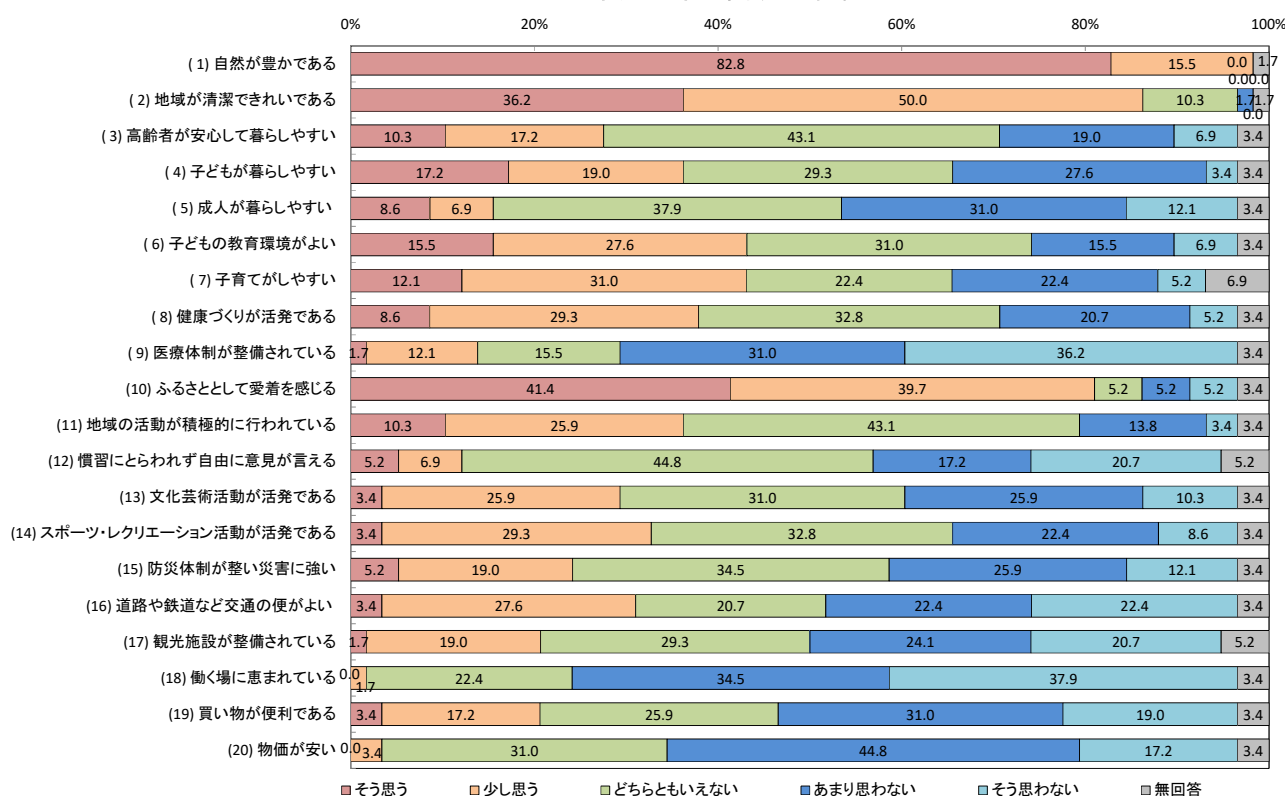
## 1) 糸魚川市に関する印象

- 「豊かな自然」、「地域の清潔感」、「ふるさとへの愛着」については評価が高くなっています。
- 一方で、「働く場」、「医療体制」、「物価」については評価が低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(98.3%)、「地域が清潔できれいである」(86.2%)、「ふるさととして愛着を感じる」(81.1%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「働く場に恵まれている」(72.4%)、「医療体制が整備されている」(67.2%)、「物価が安い」(62.0%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

糸魚川市に関する印象

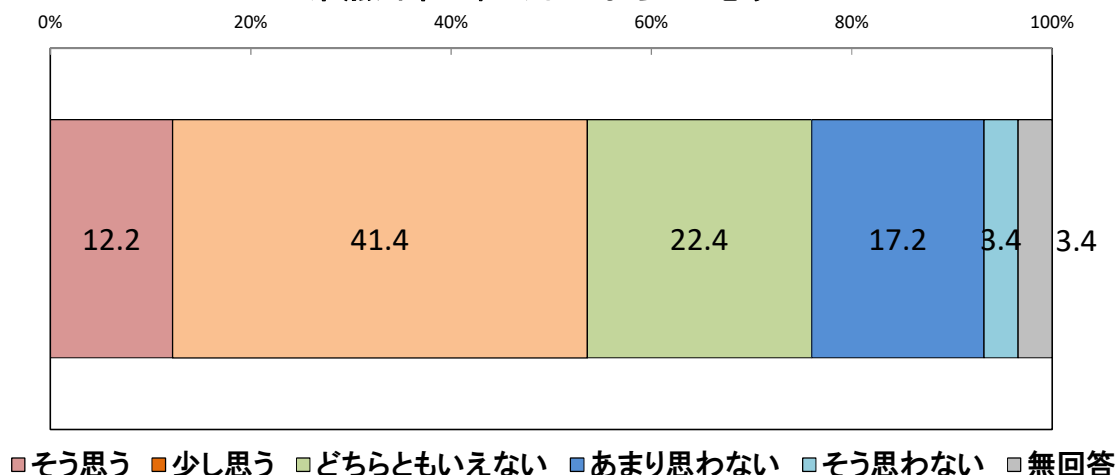


## 2) 糸魚川市の住みよさ

- 「住みよい」と思う市民が約5割と多くなっています。

糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」（“そう思う”（12.2%）及び“少し思う”（41.4%）の合計）と思う回答者は約5割であり、「住みよくない」（“そう思わない”（3.4%）及び“あまり思わない”（17.2%）の合計）と思う回答者は約2割となっています。また、「どちらともいえない」と思う回答者が22.4%います。

糸魚川市は住みよいまちだと思うか

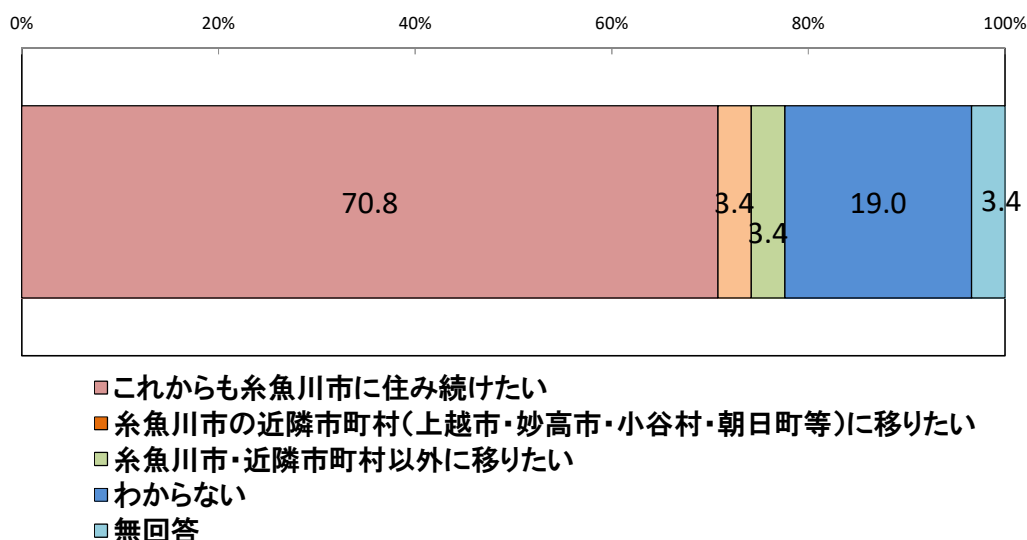


## 3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と思う市民が約7割と多くなっています。

糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」との回答者が70.8%と最も多く、次いで、「わからない」（19.0%）、「糸魚川市の近隣市町村に移りたい」（3.4%）及び「糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい」（3.4%）と続いています。

これからも糸魚川市に住み続けたいと思うか



## 10 糸魚川地区

## (1) 土地利用状況

土地利用状況については、農地（畑）が251.4ha（20.4%）と最も多く、次いで、山林が251.1ha（20.4%）、住宅用地が147.8ha（12.0%）と続いています。

宅地については、279.0ha（22.7%）となっています。

また、自然的土地利用割合は53.1%、都市的土地利用割合は46.9%となっています。

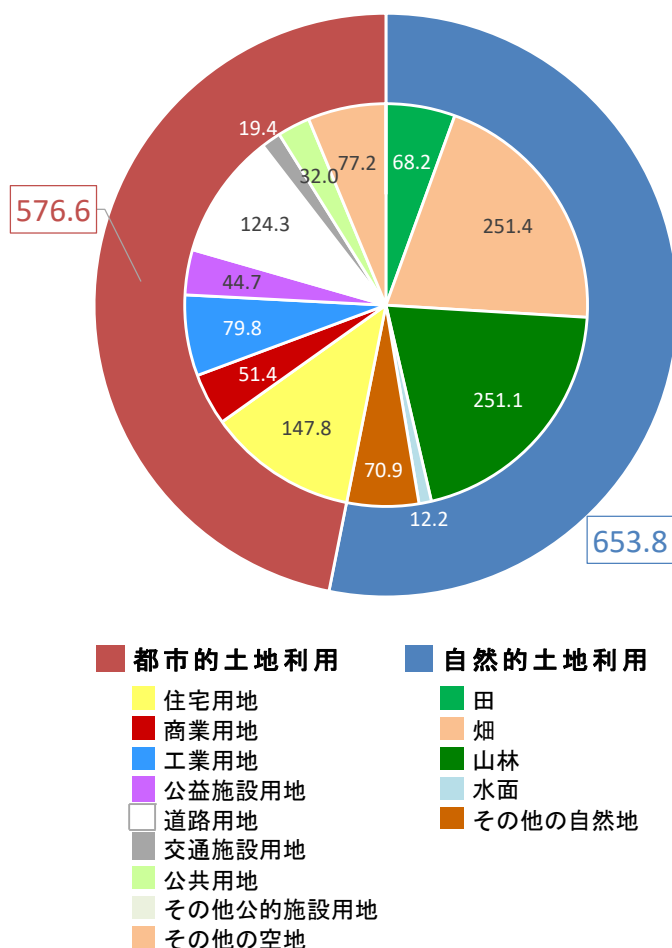


表 土地利用別面積（都市計画区域内）

市街地区分		合計 (ha)	合計 (%)	
自然的土地利用	農地	田	68.2	5.5
		畑	251.4	20.4
		小計	319.6	25.9
	山林	251.1	20.4	
	水面	12.2	1.0	
	その他の自然地	70.9	5.8	
小計		653.8	53.1	
都市的土地利用	宅地	住宅用地	147.8	12.0
		商業用地	51.4	4.2
		工業用地	79.8	6.5
		小計	279.0	22.7
	公益施設用地	44.7	3.6	
	道路用地	124.3	10.1	
	交通施設用地	19.4	1.6	
	公共用地	32.0	2.6	
	其他公的施設用地	0.0	0.0	
	其他の空地	77.2	6.3	
小計		576.6	46.9	
合計		1,230.4	100.0	

注：小数点以下第二位を四捨五入し小数点第一位までを表示しており、合計比率は必ずしも100.0%とならない場合がある。

図 土地利用別面積

(2) 市民アンケート調査結果 (概要)

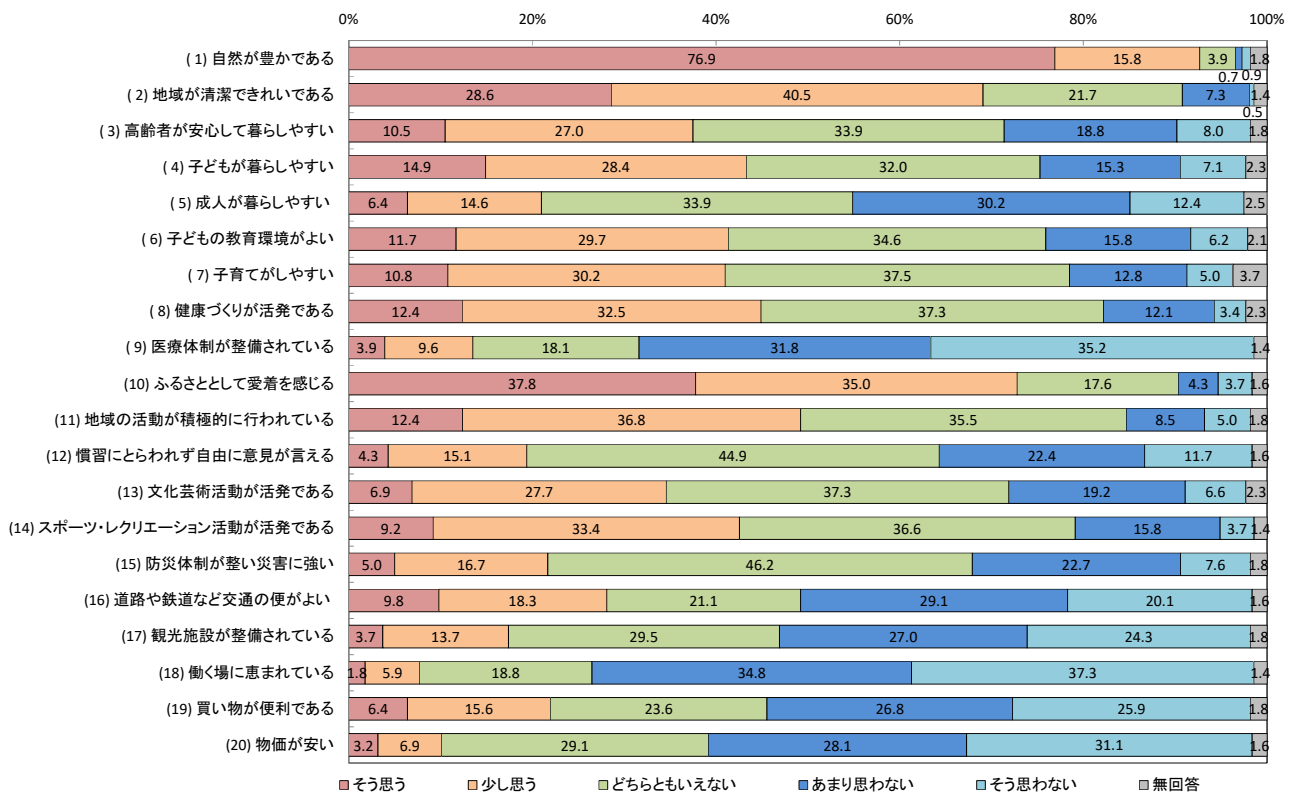
1) 糸魚川市に関する印象

- ・ 「豊かな自然」、「ふるさとへの愛着」、「地域の清潔感」については評価が高くなっています。
- ・ 一方で、「働く場」、「医療体制」、「物価」、「買い物の便」、「観光施設の整備」については評価が低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(92.7%)、「ふるさととして愛着を感じる」(72.8%)、「地域が清潔できれいである」(69.1%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「働く場に恵まれている」(72.1%)、「医療体制が整備されている」(67.0%)、「物価が安い」(59.2%)、「買い物が便利である」(52.7%)、「観光施設が整備されている」(51.3%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

糸魚川市に関する印象

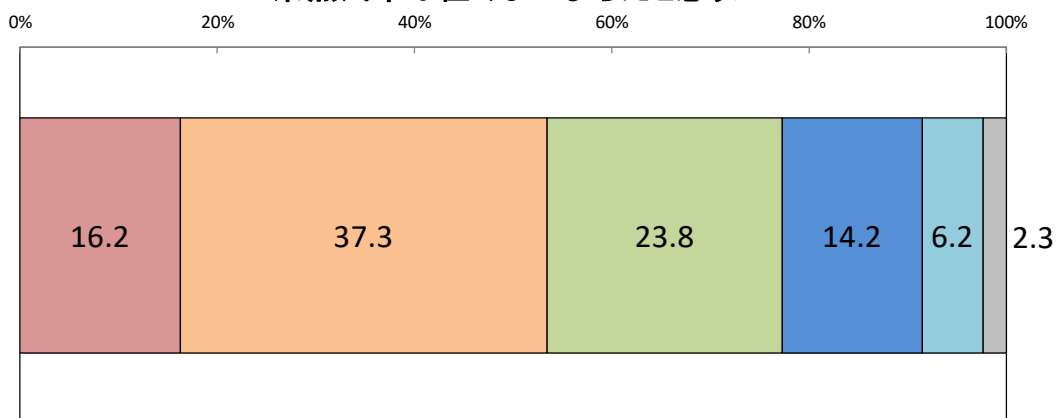


## 2) 糸魚川市の住みよさ

- 「住みよい」と思う市民が約5割と多くなっています。

糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」（“そう思う”（16.2%）及び“少し思う”（37.3%）の合計）と思う回答者は約5割であり、「住みよくない」（“そう思わない”（6.2%）及び“あまり思わない”（14.2%）の合計）と思う回答者は約2割となっています。また、「どちらともいえない」と思う回答者が23.8%います。

糸魚川市は住みよいまちだと思うか



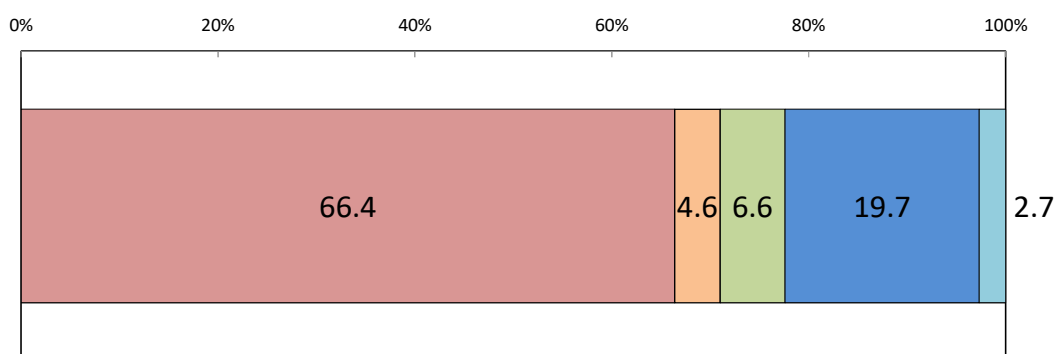
- そう思う ■ 少し思う ■ どちらともいえない ■ あまり思わない ■ そう思わない ■ 無回答

## 3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と思う市民が約7割と多くなっています。

糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」との回答者が66.4%と最も多く、次いで、「わからない」（19.7%）、「糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい」（6.6%）と続いています。

これからも糸魚川市に住み続けたいと思うか



- これからも糸魚川市に住み続けたい
- 糸魚川市の近隣市町村(上越市・妙高市・小谷村・朝日町等)に移りたい
- 糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい
- わからない
- 無回答

## 11 大野地区

### (1) 土地利用状況

土地利用状況については、山林が243.2ha(42.2%)と最も多く、次いで、農地(田)が78.6ha(13.6%)、その他の自然地が57.5ha(10.0%)と続いています。

宅地については、70.2ha(12.2%)となっています。

また、自然的土地利用割合は72.7%、都市的土地利用割合は27.3%となっています。

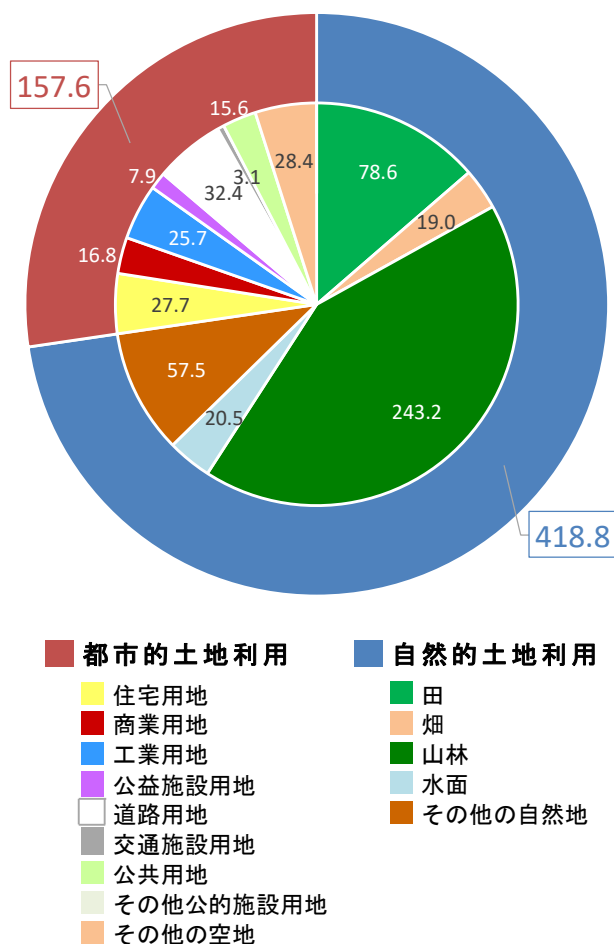


表 土地利用別面積 (都市計画区域内)

市街地区分		合計 (ha)	合計 (%)
自然的土地利用	農地		
	田	78.6	13.6
	畑	19.0	3.3
	小計	97.6	16.9
	山林	243.2	42.2
	水面	20.5	3.6
都市的土地利用	その他の自然地	57.5	10.0
	小計	418.8	72.7
	宅地		
	住宅用地	27.7	4.8
	商業用地	16.8	2.9
	工業用地	25.7	4.5
	小計	70.2	12.2
	公益施設用地	7.9	1.4
	道路用地	32.4	5.6
	交通施設用地	3.1	0.5
公共用地	15.6	2.7	
其他公的施設用地	0.0	0.0	
其他の空地	28.4	4.9	
小計	157.6	27.3	
合計		576.4	100.0

注：小数点以下第二位を四捨五入し小数点第一位までを表示しており、合計比率は必ずしも100.0%とならない場合がある。

図 土地利用別面積

(2) 市民アンケート調査結果 (概要)

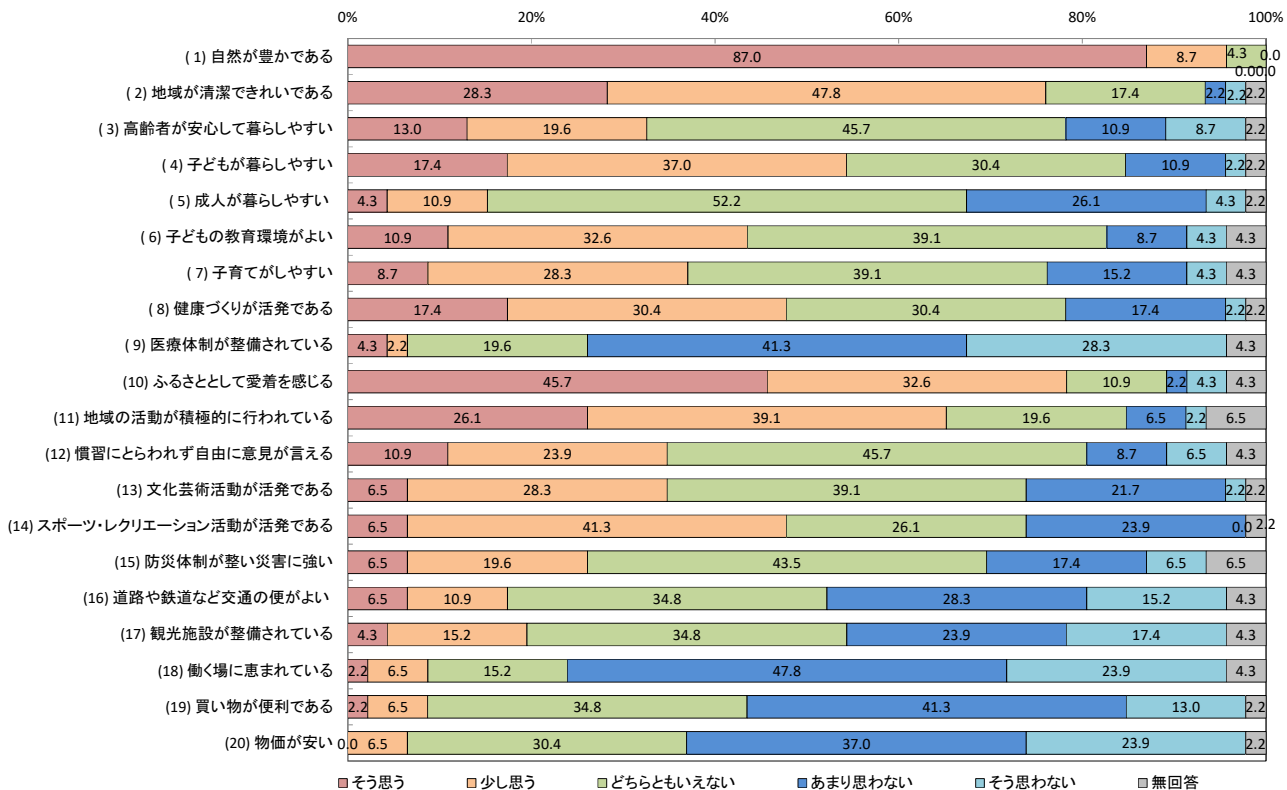
1) 糸魚川市に関する印象

- ・ 「豊かな自然」、「ふるさとへの愛着」、「地域の清潔感」、「積極的な地域活動」、「子供の暮らしやすさ」については評価が高くなっています。
- ・ 一方で、「働く場」、「医療体制」、「物価」、「買い物の便」については評価が低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(95.7%)、「ふるさととして愛着を感じる」(78.3%)、「地域が清潔できれいである」(76.1%)、「地域の活動が積極的に行われている」(65.2%)、「子どもが暮らしやすい」(54.4%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「働く場に恵まれている」(71.7%)、「医療体制が整備されている」(69.6%)、「物価が安い」(60.9%)、「買い物が便利である」(54.3%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

糸魚川市に関する印象

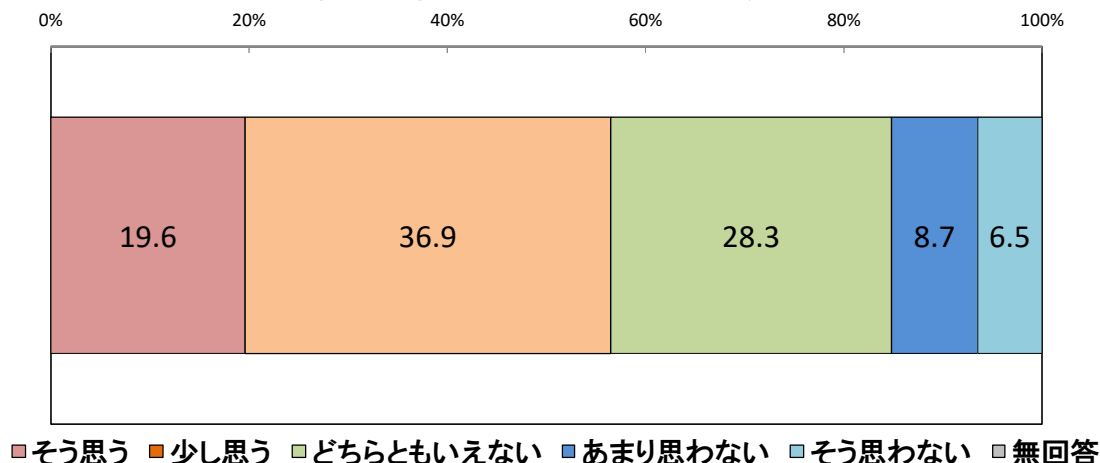


## 2) 糸魚川市の住みよさ

- 「住みよい」と思う市民が約6割と多くなっています。

糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」（“そう思う”（19.6%）及び“少し思う”（36.9%）の合計）と思う回答者は約6割であり、「住みよくない」（“そう思わない”（6.5%）及び“あまり思わない”（8.7%）の合計）と思う回答者は約1割となっています。また、「どちらともいえない」と思う回答者が28.3%います。

糸魚川市は住みよいまちだと思うか

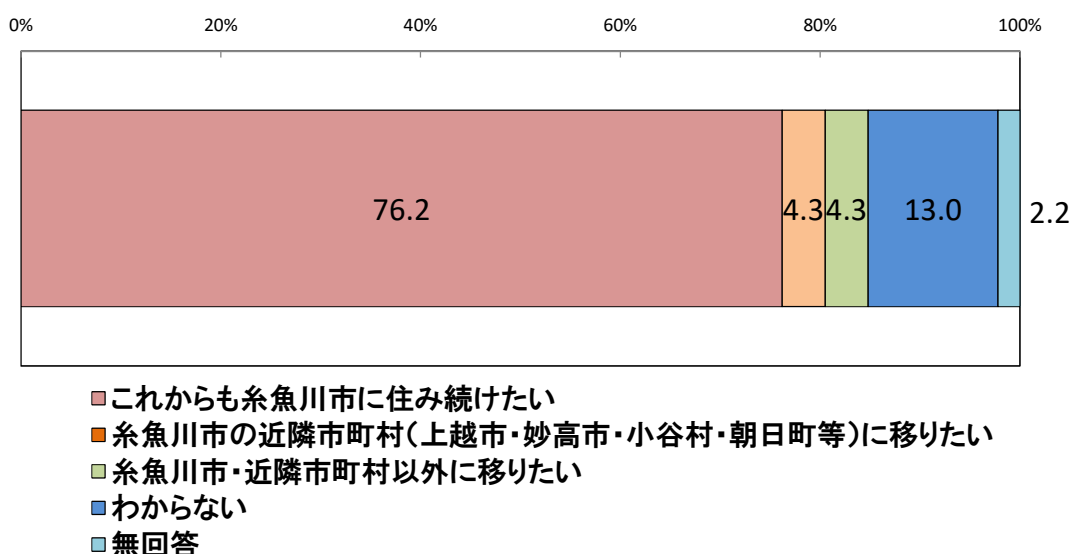


## 3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と思う市民が約8割と多くなっています。

糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」との回答者が76.2%と最も多く、次いで、「わからない」（13.0%）、「糸魚川市の近隣市町村に移りたい」（4.3%）及び「糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい」（4.3%）と続いています。

これからも糸魚川市に住み続けたいと思うか





## 12 今井地区

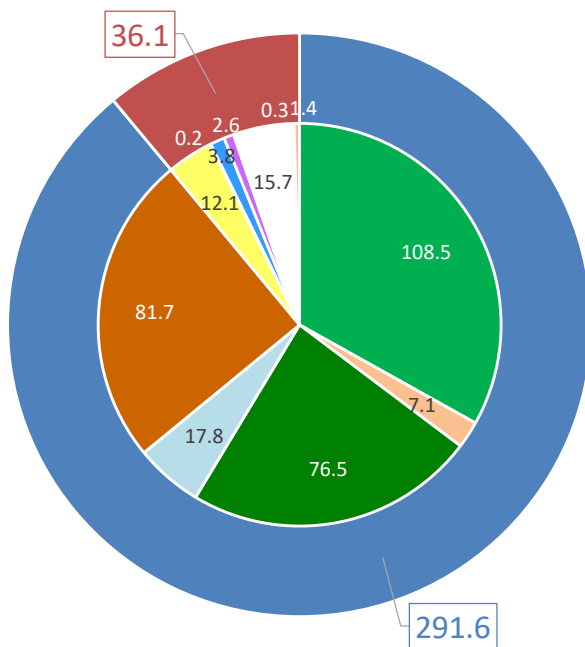
### (1) 土地利用状況

土地利用状況については、農地（田）が 108.5ha（33.1%）と最も多く、次いで、その他の自然地在が 81.7ha（24.9%）、山林が 76.5ha（23.3%）と続いています。宅地については、16.1ha（5.0%）となっています。

また、自然的土地利用割合は 89.0%、都市的土地利用割合は 11.0%となっています。

表 土地利用別面積（都市計画区域内）

市街地区分		合計 (ha)	合計 (%)
自然的土地利用	農地	田	108.5 33.1
		畑	7.1 2.2
		小計	115.6 35.3
	山林	76.5 23.3	
	水面	17.8 5.4	
	その他の自然地在	81.7 24.9	
小計		291.6 89.0	
都市的土地利用	宅地	住宅用地	12.1 3.7
		商業用地	0.2 0.1
		工業用地	3.8 1.2
		小計	16.1 5.0
	公益施設用地	2.6 0.8	
	道路用地	15.7 4.8	
	交通施設用地	0.0 0.0	
	公共用地	0.3 0.1	
	その他公的施設用地	0.0 0.0	
	その他の空地	1.4 0.4	
小計		36.1 11.0	
合計		327.7 100.0	



- 都市的土地利用
- 自然的土地利用
- 住宅用地
- 商業用地
- 工業用地
- 公益施設用地
- 道路用地
- 交通施設用地
- 公共用地
- その他公的施設用地
- その他の空地
- 田
- 畑
- 山林
- 水面
- その他の自然地在

注：小数点以下第二位を四捨五入し小数点第一位までを表示しており、合計比率は必ずしも 100.0%とならない場合がある。

図 土地利用別面積

(2) 市民アンケート調査結果 (概要)

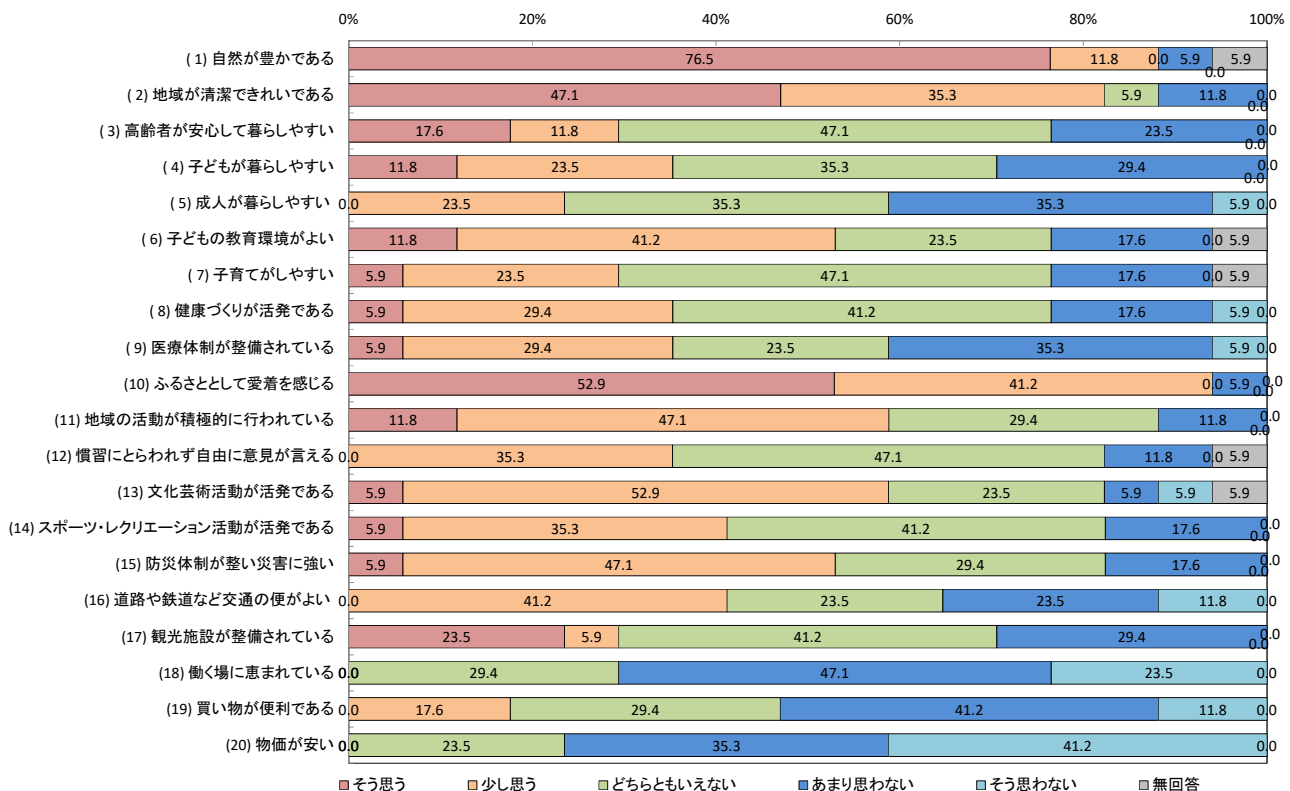
1) 糸魚川市に関する印象

- 「ふるさとへの愛着」、「豊かな自然」、「地域の清潔感」、「積極的な地域活動」、「文化芸術活動の活発性」、「子どもの教育環境」、「防災体制」については評価が高くなっています。
- 一方で、「物価」、「働く場」、「買い物の便」については評価が低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「ふるさととして愛着を感じる」(94.1%)、「自然が豊かである」(88.3%)、「地域が清潔できれいである」(82.4%)、「地域の活動が積極的に行われている」(58.9%)、「文化芸術活動が活発である」(58.8%)、「子どもの教育環境がよい」(53.0%)及び「防災体制が整い災害に強い」(53.0%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「物価が安い」(76.5%)、「働く場に恵まれている」(70.6%)、「買い物が便利である」(53.0%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

糸魚川市に関する印象

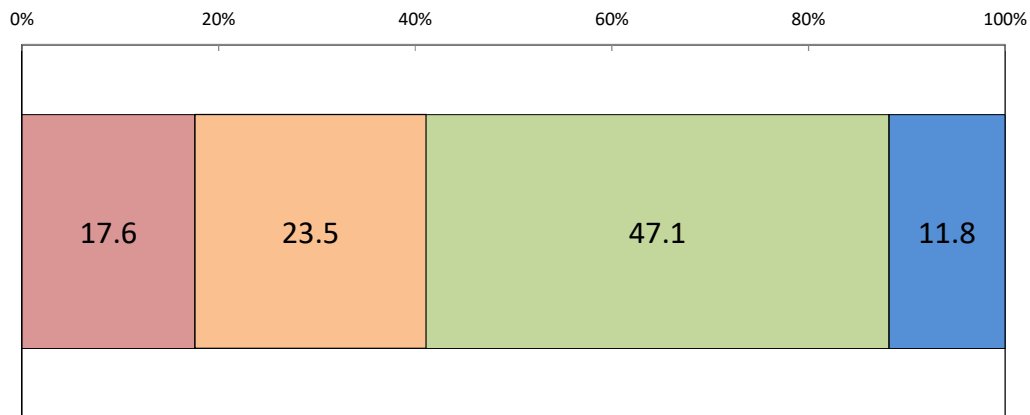


## 2) 糸魚川市の住みよさ

- 「どちらともいえない」と思う市民も約5割と多く、次いで、「住みよい」と思う市民が約4割となっています。

糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」（“そう思う”（17.6%）及び“少し思う”（23.5%）の合計）と思う回答者は約4割であり、「住みよくない」（“そう思わない”及び“あまり思わない”（11.8%）の合計）と思う回答者は約1割となっています。また、「どちらともいえない」と思う回答者が47.1%います。

糸魚川市は住みよいまちだと思うか



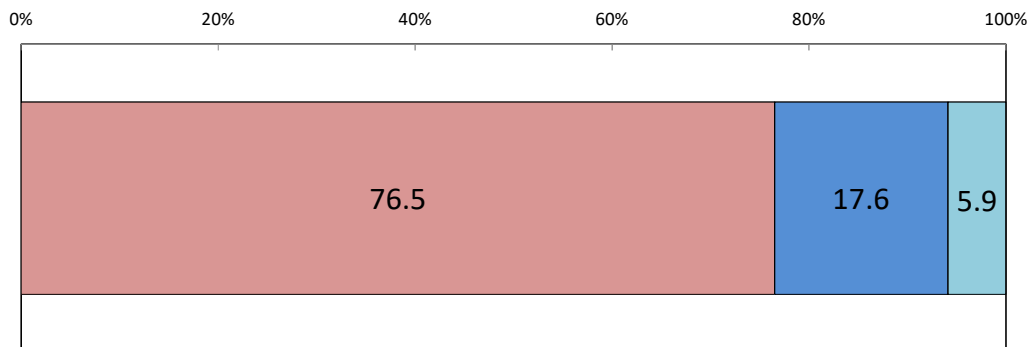
- そう思う ■ 少し思う ■ どちらともいえない ■ あまり思わない ■ そう思わない ■ 無回答

## 3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と思う市民が約8割と多くなっています。

糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」との回答者が76.5%と最も多く、次いで、「わからない」（17.6%）と続いています。

これからも糸魚川市に住み続けたいと思うか



- これからも糸魚川市に住み続けたい
- 糸魚川市の近隣市町村(上越市・妙高市・小谷村・朝日町等)に移りたい
- 糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい
- わからない
- 無回答

### 13 田沢地区

#### (1) 土地利用状況

土地利用状況については、山林が565.2ha（60.8%）と最も多く、次いで、工業用地が70.7ha（7.6%）、その他の自然地为60.8ha（6.5%）と続いています。

宅地については、138.7ha（14.9%）となっています。

また、自然的土地利用割合は74.3%、都市的土地利用割合は25.7%となっています。

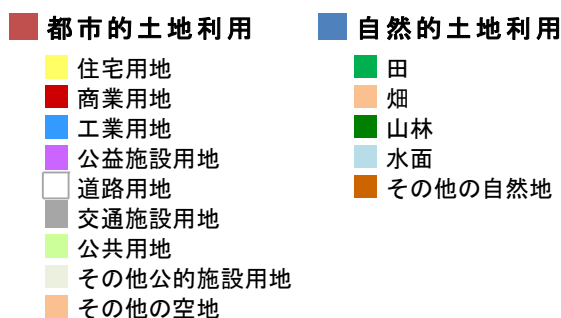
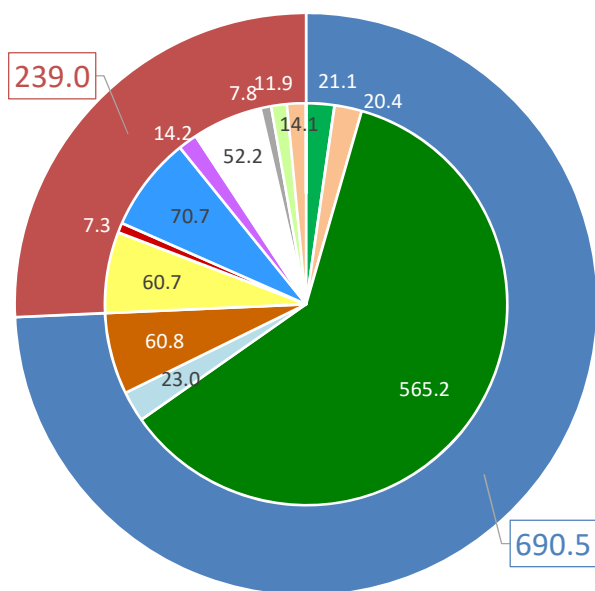


表 土地利用別面積 (都市計画区域内)

市街地区分	合計 (ha)	合計 (%)	
自然的土地利用	農地 (田)	21.1	2.3
	農地 (畑)	20.4	2.2
	農地 (小計)	41.5	4.5
	山林	565.2	60.8
	水面	23.0	2.5
	その他の自然地	60.8	6.5
自然的土地利用 (小計)	690.5	74.3	
都市的土地利用	住宅用地	60.7	6.5
	商業用地	7.3	0.8
	工業用地	70.7	7.6
	宅地 (小計)	138.7	14.9
	公益施設用地	14.2	1.5
	道路用地	52.2	5.6
	交通施設用地	7.8	0.8
	公共用地	11.9	1.3
	その他公的施設用地	0.0	0.0
	その他の空地	14.1	1.5
都市的土地利用 (小計)	238.9	25.7	
合計	929.4	100.0	

注：小数点以下第二位を四捨五入し小数点第一位までを表示しており、合計比率は必ずしも100.0%とならない場合がある。

図 土地利用別面積

(2) 市民アンケート調査結果 (概要)

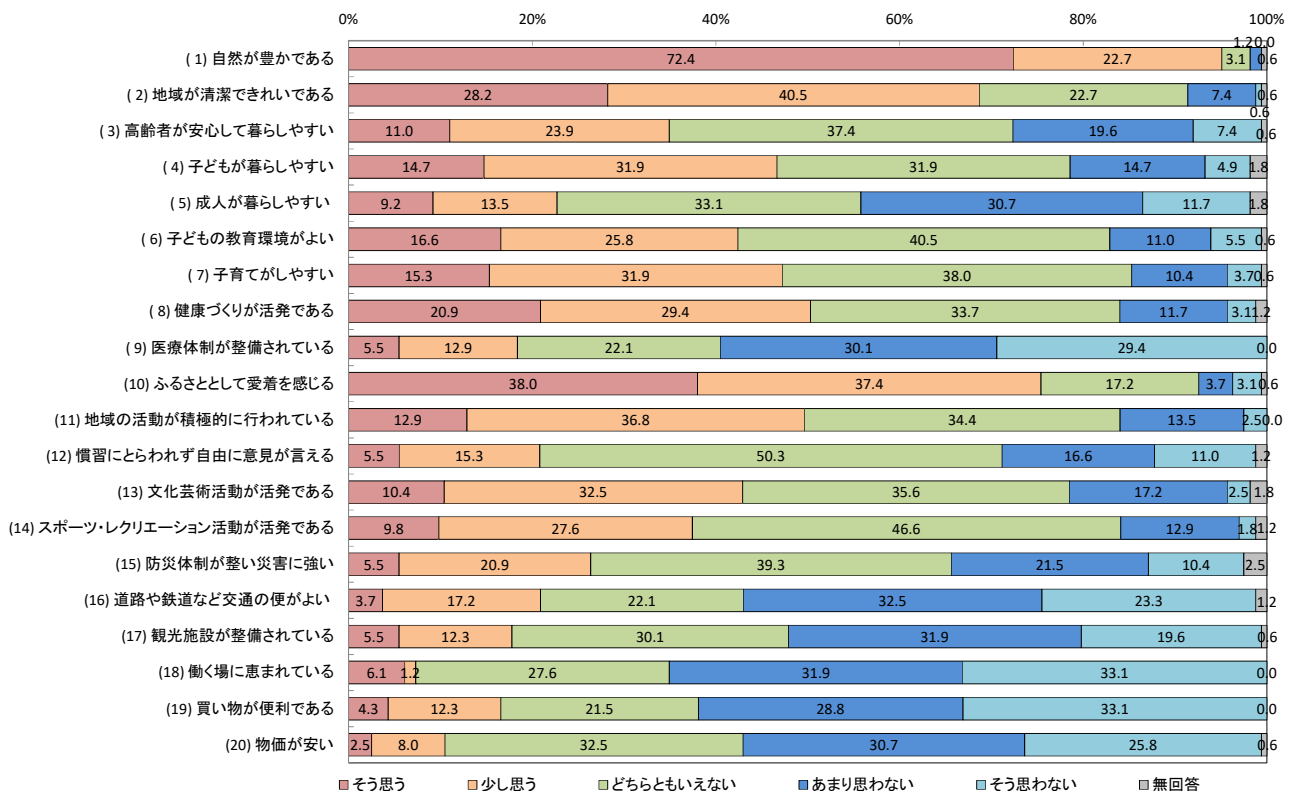
1) 糸魚川市に関する印象

- 「豊かな自然」、「ふるさとへの愛着」、「地域の清潔感」、「健康づくりの活発性」については評価が高くなっています。
- 一方で、「働く場」、「買い物の便」、「医療体制」、「物価」、「交通の便」、「観光施設の整備」については評価が低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(95.1%)、「ふるさととして愛着を感じる」(75.4%)、「地域が清潔できれいである」(68.7%)、「健康づくりが活発である」(50.3%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「働く場に恵まれている」(65.0%)、「買い物が便利である」(61.9%)、「医療体制が整備されている」(59.5%)、「物価が安い」(56.5%)、「道路や鉄道など交通の便がよい」(55.8%)、「観光施設が整備されている」(51.5%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

糸魚川市に関する印象

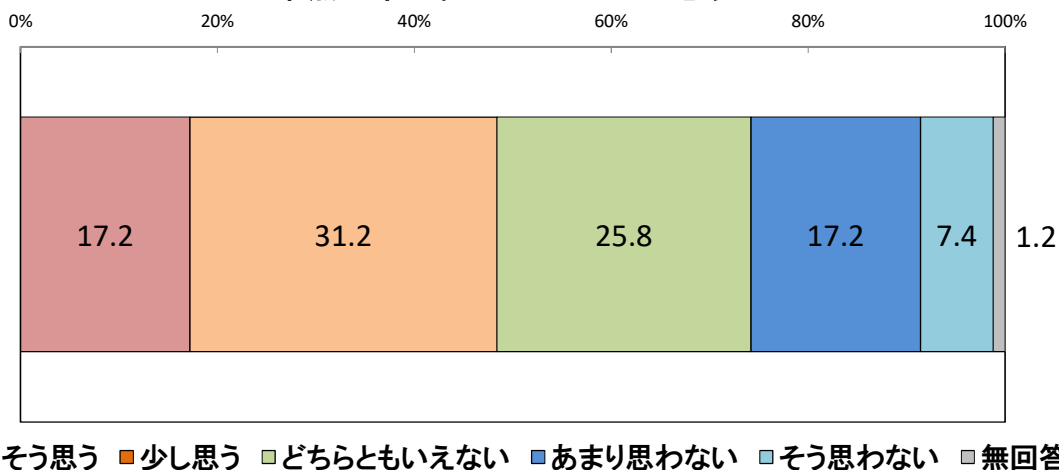


## 2) 糸魚川市の住みよさ

- 「住みよい」と思う市民が約5割と多くなっています。

糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」（“そう思う”（17.2%）及び“少し思う”（31.2%）の合計）と思う回答者は約5割であり、「住みよくない」（“そう思わない”（7.4%）及び“あまり思わない”（17.2%）の合計）と思う回答者は約2割となっています。また、「どちらともいえない」と思う回答者が25.8%います。

糸魚川市は住みよいまちだと思うか

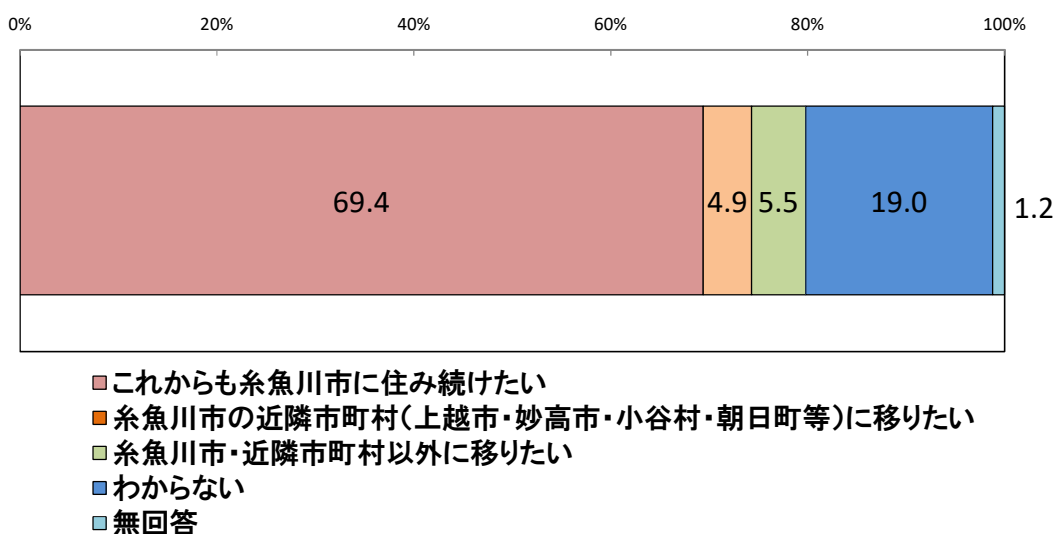


## 3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と思う市民が約7割と多くなっています。

糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」との回答者が69.4%と最も多く、次いで、「わからない」（19.0%）、「糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい」（5.5%）と続いています。

これからも糸魚川市に住み続けたいと思うか



## 14 青海地区

### (1) 土地利用状況

土地利用状況については、山林が 1,063.0ha (74.4%) と最も多く、次いで、工業用地が 95.1ha (6.7%)、その他の空地が 63.2ha (4.4%) と続いています。

宅地については、135.1ha (9.5%) となっています。

また、自然的土地利用割合は 80.2%、都市的土地利用割合は 19.8%となっています。

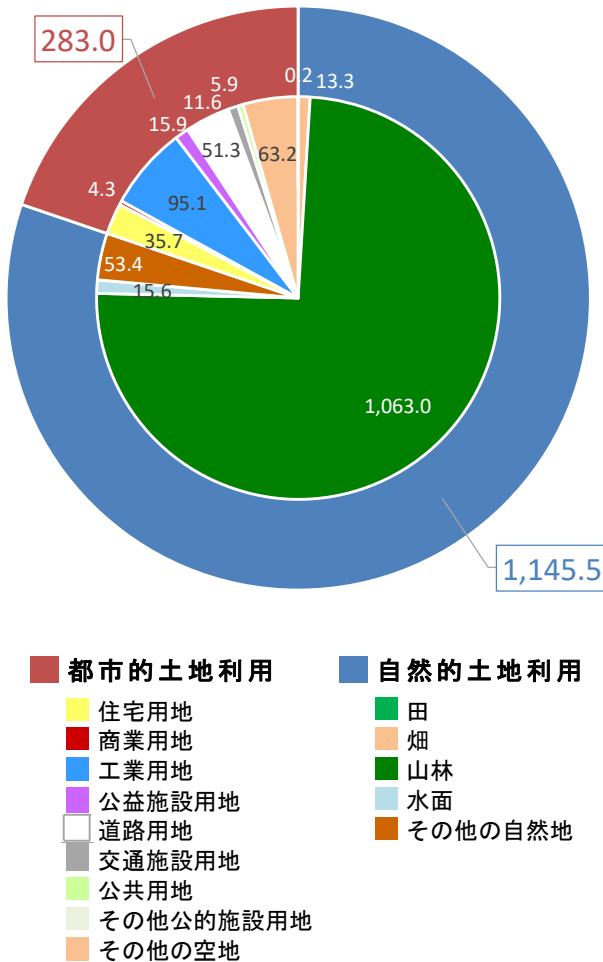


表 土地利用別面積 (都市計画区域内)

市街地区分	合計 (ha)	合計 (%)	
自然的土地利用	農地		
	田	0.2	0.0
	畑	13.3	0.9
	小計	13.5	0.9
	山林	1,063.0	74.4
	水面	15.6	1.1
その他の自然地	53.4	3.7	
小計	1,145.5	80.2	
都市的土地利用	住宅用地	35.7	2.5
	商業用地	4.3	0.3
	工業用地	95.1	6.7
	小計	135.1	9.5
	公益施設用地	15.9	1.1
	道路用地	51.3	3.6
	交通施設用地	11.6	0.8
	公共用地	5.9	0.4
	その他公的施設用地	0.0	0.0
	その他の空地	63.2	4.4
小計	283.0	19.8	
合計	1,428.5	100.0	

注：小数点以下第二位を四捨五入し小数点第一位までを表示しており、合計比率は必ずしも 100.0%とならない場合がある。

図 土地利用別面積

(2) 市民アンケート調査結果 (概要)

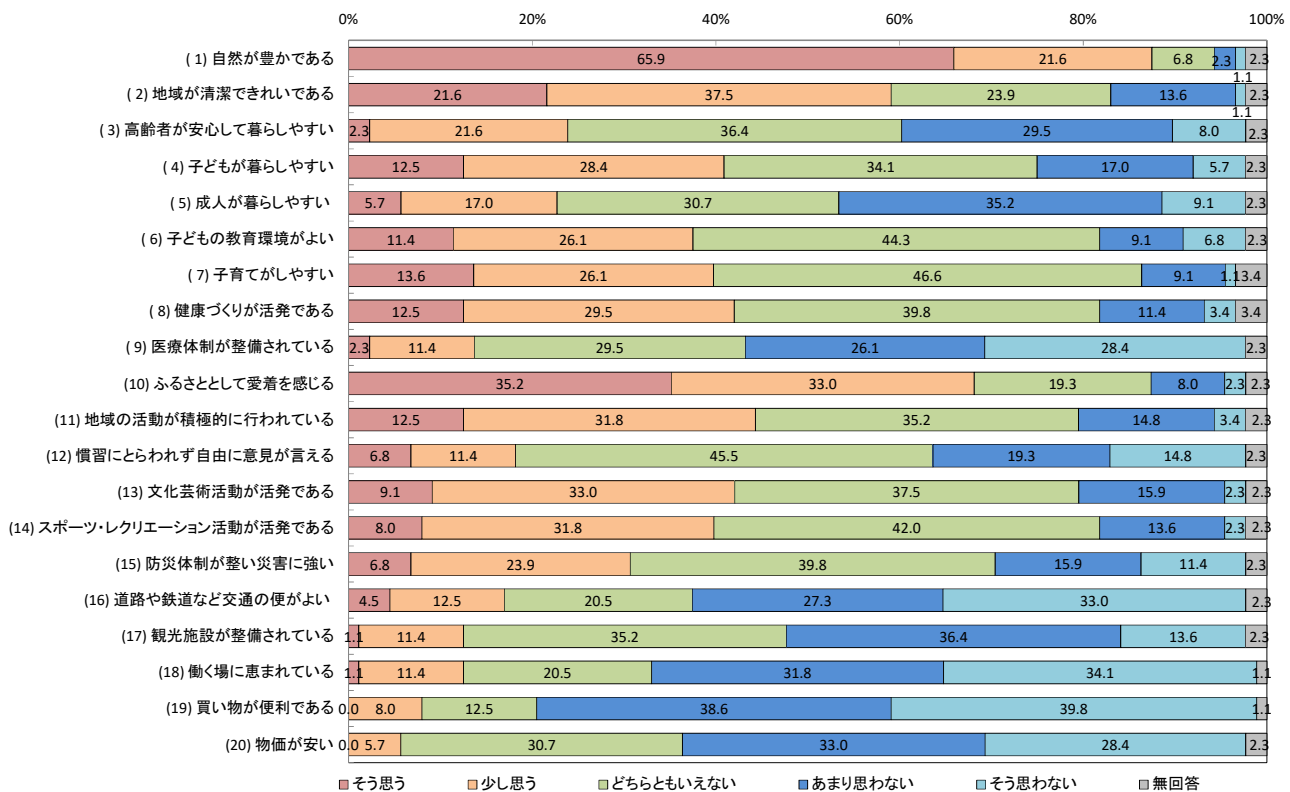
1) 糸魚川市に関する印象

- 「豊かな自然」、「ふるさとへの愛着」、「地域の清潔感」については評価が高くなっています。
- 一方で、「買い物の便」、「働く場」、「物価」、「交通の便」、「医療体制」については評価が低くなっています。

糸魚川市に関する印象について、“そう思う”及び“少し思う”の合計では、「自然が豊かである」(87.5%)、「ふるさととして愛着を感じる」(68.2%)、「地域が清潔できれいである」(59.1%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

一方、“そう思わない”及び“あまり思わない”の合計では、「買い物が便利である」(78.4%)、「働く場に恵まれている」(65.9%)、「物価が安い」(61.4%)、「道路や鉄道など交通の便がよい」(60.3%)、「医療体制が整備されている」(54.5%)が半数を超えて多くなっています(これら以外は5割以下)。

糸魚川市に関する印象

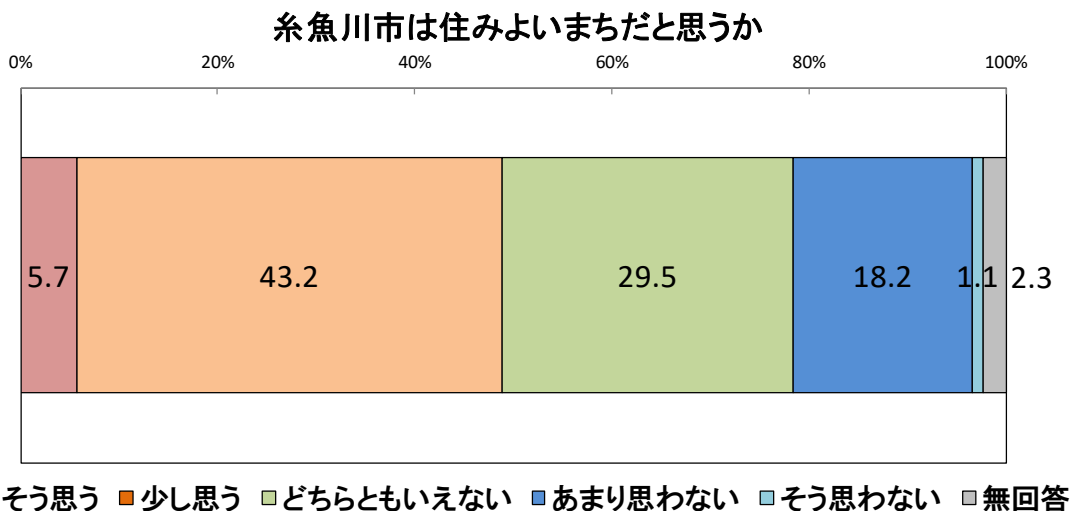




## 2) 糸魚川市の住みよさ

- 「住みよい」と思う市民が約5割と多くなっています。

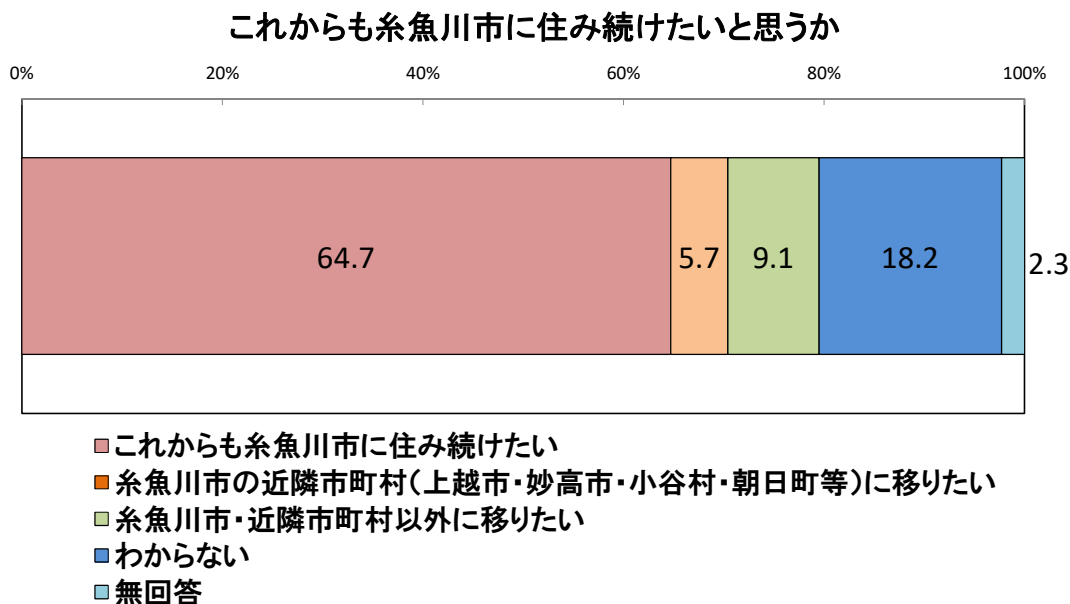
糸魚川市の住みよさについては、「住みよい」（“そう思う”（5.7%）及び“少し思う”（43.2%）の合計）と思う回答者は約5割であり、「住みよくない」（“そう思わない”（1.1%）及び“あまり思わない”（18.2%）の合計）と思う回答者は約2割となっています。また、「どちらともいえない」と思う回答者が29.5%います。



## 3) 糸魚川市での定住意向

- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と思う市民が約6割と多くなっています。

糸魚川市での定住意向については、「これからも糸魚川市に住み続けたい」との回答者が64.7%と最も多く、次いで、「わからない」（18.2%）、「糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい」（9.1%）と続いています。



**糸魚川市都市計画マスタープラン 参考資料編**

平成31年3月 改訂

糸魚川市産業部建設課 編集・発行

所在地／〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮 1-2-5

電話番号／025-552-1511 FAX／025-552-8477

E-mail／kensetsu@city.itoigawa.lg.jp